

can-am®

OUTLANDERおよびOUTLANDER MAX

オペレーターズガイド

安全性、使用およびメンテナンスに関する情報が記載されています

NON

⚠ 警告

このオペレーターズガイドをよくお読みください。重要な安全情報が記載されています。

推奨されるオペレーターの最少年齢：16才以上

このオペレーターズガイドは、常に車両に保管してください。

このOHRVに搭載された蒸発ガス関連部品の取り外しまたは改造は、違法行為となります。

違反した場合、カリフォルニア州法または連邦法によって民事罰または刑罰が科せられる場合があります。

⚠ 警告

運転には危険が伴います。十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

安全のため、このオペレーターズガイドおよび車両上のラベルに示されているすべての警告を読み、これらに従ってください。これらの警告に従わない場合、重傷や死亡事故を招くおそれがあります。
このオペレーターズガイドは、常に車両に保管してください。

⚠ 警告

本オペレーターズガイド、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項や指示を無視すると、死亡事故や負傷の原因となる場合があります。

⚠ 警告

この車両は、運転経験のある他の車両の性能を超えている可能性があります。新しい車両に慣れるまで十分に時間をかけてください。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ 警告

オフロード車両の操作や保守、メンテナンスは、エンジンの排気や一酸化炭素、フタラート、それに鉛などの化学物質の暴露を受ける可能性があります。これらはカリフォルニア州法で発がん性や催奇性、その他の生殖に関する危害の原因となることが知られています。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、

www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

TM®で示される以下の商標は、BRPまたはその関連会社が所有しています。以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社に帰属します：

Can-Am®

D.E.S.S.™

DPST™

Outlander™

ROTAX®

TTI™

XPST™

無断複製転載を禁じます。本書の内容の一部または全部を、Bombardier Recreational Products Inc. の許可なしに無断転載することは禁止されています。

©Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) 2021

BRP Inc.

| | |
|------------|---|
| Deutsch | Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com |
| English | This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com |
| Español | Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com |
| Français | Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com |
| Italiano | Questa guida potrebbe essere disponibile nella propria lingua. Contattare il concessionario o consultare: www.operatorsguides.brp.com |
| 中文 | 本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商询问，或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。 |
| 日本語 | このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com |
| Nederlands | Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com |
| Norsk | Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com |
| Português | Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com |
| Русский | Воспользуйтесь руководством на вашем языке. Узнайте о его наличии у дилера или на странице по адресу www.operatorsguides.brp.com |
| Suomi | Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com |
| Svenska | Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com |

対象モデル

| | |
|---|--|
| Outlander 650 STD Outlander 650 DPS Outlander 650 Mossy Oak Outlander 650 XT Outlander 650 XU | Outlander MAX 650 DPS Outlander MAX 650 XT |
| Outlander 850 STD Outlander 850 DPS Outlander 850 XT Outlander 850 XT-P | Outlander MAX 850 XT Outlander MAX 850 XT-P |
| Outlander 1000R DPS Outlander 1000R XT Outlander 1000R XT-P Outlander 1000R X xc | Outlander MAX 1000R DPS Outlander MAX 1000R Limited Outlander MAX 1000R XT Outlander MAX 1000R XT-P |

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) です。

米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。

欧州経済圏（欧州連合加盟国プラス英国、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタイン）、独立国家共同体（ウクライナおよびトルクメニスタンを含む）、ならびにトルコでは、製品の流通とサービスは BRP European Distribution S.A. および BRP のその他の関連会社または子会社が行います。

製品の流通とサービスは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) または提携機関が行います。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

 **警告**

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

目次

一般的な情報

| | |
|------------------|----|
| 一般情報 | 10 |
| 乗車前に確認すべきこと | 10 |
| 安全メッセージ | 11 |
| このオペレーターズガイドについて | 11 |

安全情報

| | |
|---------------------|----|
| 一般的な注意 | 14 |
| 一酸化炭素中毒の回避 | 14 |
| ガソリンによる火事や他の危険の回避 | 14 |
| 高温部分による火傷の回避 | 14 |
| アクセサリーと改造 | 14 |
| 安全上の特別な警告 | 16 |
| 2-UPモデル - 運転者の責任 | 18 |
| 2-UPモデル - 同乗者の責任 | 18 |
| 運転に関する警告 | 20 |
| 走行前点検 | 38 |
| 走行前点検用チェックリスト | 38 |
| 乗車 | 42 |
| ライディングギア | 43 |
| 同乗者を乗せた運転 | 43 |
| レクリエーション走行 | 44 |
| 環境 | 44 |
| 設計上の制限 | 45 |
| オフロードでの運転 | 45 |
| 走行技術 | 45 |
| 荷物の運搬と作業の実施 | 56 |
| 車両を使用した作業 | 56 |
| 荷物の運搬 | 56 |
| カーゴラックへの搭載 | 58 |
| 貨物のけん引 | 58 |
| トレーラーの牽引 | 59 |
| 重要な製品ラベル (カナダ/米国) | 60 |
| セーフティハングタグ | 60 |
| 安全ラベル | 62 |
| コンプライアンスハングタグ | 76 |
| 適合ラベル | 77 |
| 技術情報ラベル | 79 |
| 重要な製品ラベル (カナダ/米国以外) | 80 |
| 安全ラベル | 80 |
| 適合ラベル | 88 |
| 技術情報ラベル | 89 |
| 安全面での欠陥の報告 | 90 |

車両についての情報

| | |
|----------|----|
| 基本コントロール | 92 |
| ハンドルバー | 93 |
| スロットルレバー | 93 |

| | |
|-----------------------------|------------|
| ブレーキレバー | 93 |
| パーキングブレーキレバー | 93 |
| ブレーキペダル | 94 |
| エンジンストップスイッチ | 94 |
| RF D.E.S.S.キーおよびポスト | 95 |
| イグニッションスイッチおよびキー | 96 |
| 二次コントロール | 97 |
| スロットルレバーコントロールハウジング | 98 |
| シフトレバー | 100 |
| 多機能スイッチ | 102 |
| トリップ/メニュースイッチ | 103 |
| ウィンチコントロールスイッチ | 103 |
| 運転者用グリップヒーター (装備されている場合) | 104 |
| スロットルレバーヒーター (装備されている場合) | 104 |
| クラクションボタン | 104 |
| 装備 | 106 |
| ウィンドシールド (装備されている場合) | 106 |
| 運転席 | 106 |
| 同乗者シート/グローブボックス (2-UPモデル) | 107 |
| フットペグ | 109 |
| クラブハンドル (2-UPモデル) | 109 |
| 同乗席用グリップヒーター (装備されている場合) | 110 |
| 12Vの電源ソケット | 110 |
| バイザーヒーターコネクター (装備されている場合) | 110 |
| リアストレージコンパートメント | 110 |
| カーゴラック | 111 |
| トレーラーヒッチ | 112 |
| 車載工具 | 112 |
| ウィンチ (装備されている場合) | 112 |
| リカバリフック | 113 |
| 車両下部保護プレート | 113 |
| 多機能ゲージ (LCD) | 114 |
| 多機能ゲージの説明 | 114 |
| 多機能ゲージのモード | 115 |
| LCDゲージ内の移動 | 116 |
| ゲージのセットアップ | 117 |
| 4.5インチデジタルディスプレイ | 119 |
| 多機能表示 | 119 |
| インジケーターランプ | 120 |
| 設定 | 122 |
| 7.6インチデジタルディスプレイ | 124 |
| 基本機能 | 124 |
| 設定 | 127 |
| 燃料 | 130 |
| 燃料に関する要件 | 130 |
| 車両への給油手順 | 131 |
| 慣らし運転期間 | 132 |
| 慣らし運転中の運転 | 132 |
| 基本手順 | 133 |
| 電子システムの起動 | 133 |
| エンジンを始動させます | 133 |

| | |
|--|------------|
| 選択したギヤの変更 | 133 |
| エンジンの停止と車両の駐車 | 134 |
| 特殊な手順 | 135 |
| 水を吸い込んだエンジン | 135 |
| CVTに浸入した水 | 135 |
| エアフィルターハウジングへの浸水 | 136 |
| 車両が転覆した場合 | 136 |
| 車両が水没した場合の対処 | 137 |
| 乗り心地の調整 | 138 |
| サスペンションの調整 | 138 |
| ダイナミックパワーステアリング (DPS) のアシストレベル調整 (DPS 装備モデル) | 141 |
| 車両の移送 | 143 |
| 車両の力を利用して牽引装置に載せる | 144 |
| ウィンチを使用して車両を牽引装置上まで引く | 145 |
| 移送時の車両の固定 | 145 |
| トレーラーから車両を降ろす | 146 |

メンテナンス

| | |
|-----------------------|------------|
| メンテナンスのスケジュール | 148 |
| EPA規制 - カナダおよび米国向け車両 | 148 |
| 過酷な粉塵環境 | 148 |
| メンテナンススケジュールの例 | 149 |
| メンテナンスのスケジュール | 149 |
| メンテナンスの手順 | 153 |
| メッセージのリセット：メンテナンスが必要 | 153 |
| エンジンエアフィルター | 153 |
| CVTエアフィルター | 157 |
| エンジンオイル | 158 |
| エンジンオイルフィルター | 160 |
| 蒸発排ガスシステムフィルター | 161 |
| 燃料ベントブリーザーフィルター | 161 |
| ラジエーター | 162 |
| エンジン・クーラント | 163 |
| マフラーおよびスパークアレスター | 165 |
| ギアボックス | 167 |
| スロットルケーブル | 168 |
| スパークプラグ | 170 |
| CVTカバー | 171 |
| 駆動ベルト | 172 |
| ドライブおよびドリブンプーリー | 174 |
| バッテリー | 174 |
| ヒューズ | 175 |
| ライト | 177 |
| ドライブシャフトベローズおよびプロテクター | 178 |
| ホイールベアリング | 179 |
| 車輪およびタイヤ | 179 |
| ステアリング | 183 |
| サスペンション | 183 |
| ブレーキ | 184 |

| | |
|--------------------|-----|
| 車両のお手入れ..... | 186 |
| 使用後のお手入れ..... | 186 |
| 車両の清掃と保護..... | 186 |
| 保管およびシーズン前の準備..... | 187 |

技術情報

| | |
|---|-----|
| 車両識別表示..... | 190 |
| 車両識別番号..... | 190 |
| エンジン識別番号(EIN)..... | 190 |
| 適合ラベル..... | 190 |
| 蒸気ガスエミッションコントロールシステム..... | 192 |
| 無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー)..... | 193 |
| 騒音放出制御システム規制 (カナダ/米国)..... | 194 |
| 騒音放出と振動値 (すべての国、ただしカナダ/米国を除く)..... | 195 |
| EC適合宣言書..... | 196 |
| EAC適合宣言書..... | 197 |

技術仕様

| | |
|-----------|-----|
| 技術仕様..... | 200 |
|-----------|-----|

トラブルシューティング

| | |
|--------------------------|-----|
| トラブルシューティングのガイドライン..... | 210 |
| エンジンが回らない..... | 210 |
| エンジンを回しても始動しない..... | 210 |
| エンジンの加速力やパワーが不足している..... | 211 |
| エンジンのオーバーヒート..... | 212 |
| エンジンバックファイア..... | 212 |
| エンジンの失火..... | 212 |
| 車両が最高速度に達しない..... | 213 |
| シフトレバーが動きにくい..... | 213 |
| 回転数は上昇するが、車両が動かない..... | 213 |
| パワーステアリングアシスト機能の低下..... | 214 |

| | |
|----------------------------|-----|
| 多機能ゲージ (LCD) メッセージ | 215 |
| デジタルディスプレイメッセージ | 217 |

保証

| | |
|--|-----|
| BRP限定保証 米国およびカナダ: 2022 CAN-AM® ATV | 222 |
| 米国EPA排出ガス関連保証 | 225 |
| カリフォルニア州蒸発ガス処理保証規定 | 227 |
| BRP 国際限定保証: 2022 CAN-AM® ATV | 229 |
| 欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証: 2022 CAN-AM® ATV | 233 |
| メンテナンス記録 | 237 |

顧客情報

| | |
|-----------------|-----|
| 個人情報 | 244 |
| お問い合わせ先 | 245 |
| アジア | 245 |
| ヨーロッパ | 245 |
| 北米 | 245 |
| オセアニア | 245 |
| 南米 | 245 |
| 住所と所有権の変更 | 246 |

空白ページ

一般的な情報

一般情報

新しいCan-Am® ATV車をご購入いただきありがとうございます。本製品は、BRPの限定保証および、お客様が必要とされる部品、アクセサリ、そしてサービスを用意している認定Can-Am Off-Roadディーラーのネットワークによって支えられています。

納入時に、お客様には保証範囲をお知らせし、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために納入前チェックリスト(Predelivery Check List)にお客様からご署名を頂いております。

ディーラーはお客様の満足を提供いたします。一般的なサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

乗車前に確認すべきこと

ご自身や同乗者の事故のリスクを減らすために、このオペレーターズガイドを読んでから車両を運転してください。

また、車両に貼付されているすべての警告ラベルを読み、以下のサイトにある安全講習ビデオをご覧ください。

<https://can-am.brp.com/off-road/safety>

または以下のQRコードを使用してください。



この車両はオフロード専用車です。主に一般的なレクリエーションでの使用を意図したものですが、多目的用としても利用できます。

オペレーターズガイドの警告に従わないと、重傷や死亡事故につながる恐れがあります。

推奨年齢

この車両のカテゴリーはGです。必ず推奨年齢に従ってください。

- 16才未満の人は、絶対にこの車両を運転しないでください。
- 2-UPモデルの同乗者は、車両のシートに座っているときに常に足をフットレストに置き、手はグラブハンドルを握ることができなければなりません。

トレーニングコース

適切な説明を受けることなく本車両を絶対に運転しないでください。トレーニングコースを受講してください。どの運転者もはじめは経験豊富な認定インストラクターからの指導を受ける必要があります。

ATVの安全性に関する詳細および受講可能なトレーニングについては、Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

米国内の場合は米国特殊車両協会 (SVIA) (電話: 1 800 887-2887)、カナダの場合はカナダ安全評議会 (CSC) (電話: 1 613 739-1535) にお問い合わせください。

安全メッセージ

本ガイドに記載されている安全に関するメッセージの種類、特長および本ガイドでどのように使用されているかは以下で説明されています。

安全警告記号  は、人が負傷する恐れがあることを示しています。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

注意

指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

注意

指示に従わなかった場合、車両の構成部品などに重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

このオペレーターズガイドは、新しい車両の所有者・運転者に、あらゆる制御、メンテナンス、安全な操作に関する指示を的確に説明するようデザインされています。これは、製品を正しく使用するうえで欠かせないものです。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンスやトラブルシューティングの際、また他の人に指導する際に参照してください。

また本ガイドは各種言語に翻訳されております。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、次のウェブサイトアクセスしてください。

www.operatorsguides.brp.com

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。その後の変更により、製造された製品と本ガイドにおける説明および / または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

 **警告**

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

安全情報

一般的な注意

一酸化炭素中毒の回避

すべてのエンジン排気は、致命的なガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素を吸うと頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱や時には死亡に至ることがあります。

一酸化炭素は、全くエンジン排気を見たり、その匂いを感じないとしても存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に高まることもあり、あっという間に悪影響を受けて、自身を守れなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間あるいは数日も長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ、新鮮な空気を得て、治療を求めてください。

一酸化炭素による重傷または死を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い、または部分的に閉じられたエリアで車両を絶対に運用しないでください。扇風機や窓およびドアを開けたりしてエンジン排気を通気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに速く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口を通してエンジン排気が建物に吸い込まれる恐れがある場所では、決して屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や他の危険の回避

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を低減させるために、以下の指示に従ってください：

- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- 容器をカーゴボックスに置き、転倒しても地面と接触しないようにしっかり固定してください。BRP LinQ容器を強く推奨します。
- 絶対に車両上でガソリン容器にガソリンを補充しないでください。静電気の放電により燃料に着火する恐れがあります。
- 給油については燃料のセクションの指示に必ず従ってください。
- 決して、燃料キャップが正しく取り付けられていない状態で、エンジンを始動、運転しないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 決して、口によりガソリンをサイフォンしないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリンが目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹼と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の回避

ブレーキローターや排気用コンポーネントなど、特定のコンポーネントは運転中に高温になります。火傷を防止するために、運転中や運転直後はこれらにコンポーネントに触らないでください。

アクセサリーと改造

BRPが認定したアクセサリーの改造や追加は、車両のハンドリング性能に影響する場合があります。改造が行われた後は安全のため、車両に慣れる時間をとって、運転挙動に適應する方法を理解することが重要です。

BRPによって車両専用に認定されていない装置の取り付けや、許可されていない改造は行わないでください。これらの改造や装置はBRPによってテストされておらず、危険が生じる場合があります。たとえば、

- 操作不能になったり衝突したりするリスクが高まります
- オーバーヒートや短絡が生じ、火災ややけどのリスクが高まります。
- 車両の保護機能に影響します。

また、その車両の走行が違法になることもあります。

たとえば、GPSや携帯電話サポート部品の取り付けは、車両の走行能力の妨げとなり、操作不能になるリスクを高めます。

所有する車両に適したアクセサリーについては、最寄りのBRP認定ディーラーにお問い合わせください。

安全上の特別な警告

この車両は玩具のような車両ではなく、運転に危険を伴うものです。

- この車両は、バイクや乗用車などの他の車両とは異なる動きをします。十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

以下の指示に従わない場合、重傷または死亡事故につながる可能性があります。

- このオペレーターズガイドと製品に貼付されているすべての警告ラベルをよく読み、記載されている操作手順に従ってください。安全講習ビデオをよく見てから車両を運転してください。
- 必ず推奨年齢に従ってください。16才未満の人は、絶対にこの車両を運転しないでください。
- 使用が認められた適切なサイズのヘルメットや必要とされる他の保護具を着用せずにこの車両に絶対に乗らないでください。詳細は、車両の走行のセクションの保護具を参照してください。
- 2-UPモデルでない限り、この車両で同乗者を運ばないでください。同乗者は車両バランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる恐れがあります。
- 1-UPモデルでは、同乗者を収容するために改造したり、ラックを使用して同乗者を運んだりしないでください。
- この車両は、舗装面を走行するように設計されていません。車両を舗装面で短時間だけ使用しなければならない場合は、ステアリング、アクセルペダルおよびブレーキの急な操作を避けてください。速度を落としてください。
- この車両は、一般道や高速道路を走行するように設計されていません（大半の場合は違法行為となります）。一般道や高速道路でこの車両を走行すると、他の車両との衝突を引き起こす可能性があります。
- 疲れている場合、病気の場、または薬を服用したりアルコールを摂取している場合は絶対にこの車両を使用しないでください。そのような状態は、状況に対する反応時間や判断力に大きな影響を与え大変危険です。
- 絶対にウイリーやジャンプなどのスタント操作を行わないでください。
- 過剰な速度で運転しないでください。必ず地形、視認性、運転条件、およびご自分の経験に適した速度で走行してください。
- 必ずゆっくり走行し、不慣れた地形上を運転するときは十分注意してください。この車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。
- 極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地でこの車両を運転する場合、そのような土地での操作に必要なスキルを学び、練習するまでは絶対に運転しないでください。そのような類の土地では、特に注意を払ってください。
- 走行技術のセクションで説明されている転回時の正しい手順に必ず従ってください。
- 車両や運転者にとって勾配が急すぎる斜面では、絶対にこの車両を運転しないでください。
- 走行技術のセクションで説明されている登坂時の正しい手順に必ず従ってください。斜面を上る前に、地形をよく確認してください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上らないでください。
- 走行技術のセクションで説明されている斜面でのブレーキ操作および降坂時の正しい手順に必ず従ってください。斜面を下る前に、地形をよく確認してください。
- 走行技術のセクションで説明されている斜面を横切るときの正しい手順に必ず従ってください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は避けてください。
- 登坂時にエンストしたり後方に倒れた場合は、必ず正しい手順に従ってください。エンストを避けるには、登坂時に低速ギヤを使用して一定の速度を保

つようにしてください。登坂時にインストしたり後方に倒れた場合は、走行技術のセクションで説明されている走行技術に関する手順に従ってください。

- 新しい土地で運転する前に、障害物がないか必ず確認してください。大きな岩や倒木などの大きな障害物上を走行しようとししないでください。障害物上を運転するときは、走行技術のサブセクションで説明されている正しい手順に必ず従ってください。
- スリップまたは横滑りしているときは十分注意してください。水平で滑らかな場所で低速で練習し、スリップまたは横滑り時の安全操作を学ぶようにしてください。氷など極度に滑りやすい路面ではゆっくり進み、制御不能なスリップの発生を抑えるために十分に気を付けてください。同乗者がいる2-UPモデルを運転している場合は、絶対にスリップや横滑りをしないでください。転覆したり乗客が投げ出されたりする場合があります。
- 水深が深いまたは水の流れが速い場所では絶対に運転しないでください。水がフットレストの高さを超えるような場所は避けてください。ブレーキが濡れている場合は制動能力が低下することを忘れないでください。水、沼地または雪から出た後はブレーキのテストを行ってください。必要に応じて、ブレーキを数回かけてパッドを乾燥させます。
- 制動距離は、天候や地形条件、ブレーキシステムやタイヤの条件、車両速度や姿勢、および牽引物を含む車両の負荷（ただしこれらに限定されません）の影響を受けやすいことを、必ず覚えておいてください。これらの条件に応じて走行を加減するようにしてください。
- 後進するときは、車両後ろ側に障害物や人がいないことを必ず確認してください。後進しても安全なときは、ゆっくり進んでください。2-UPモデルでは、同乗者によって視界が遮られる可能性があることを考慮してください。
- 後進する場合、BRPはATVに座るよう推奨しています。立ち上がらないでください。体が前方に移動してスロットルレバーに体重がかかり、思わぬ加速が生じて制御不能になる場合があります。
- 運転者、同乗者（2-UPモデルの場合）、他のすべての貨物および追加されたアクセサリを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。荷物は均等に載せてしっかり固定してください。速度を下げ、このガイドにある荷物の運搬やトレーラーの牽引に関する指示に従ってください。制動距離を長めに取ってください。
- 必ず車両の安全な動作状態を点検、確認してから走行してください。日常点検のセクションを参照してください。このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。メンテナンスのセクションを参照してください。
- 操作装置類が正常に機能しない場合は、絶対に車両を運転しないでください。
- 必ず適切なタイヤ空気圧を維持してください。タイヤを交換するときは、推奨されているサイズとタイプのタイヤだけを使用してください。タイヤの情報については、このガイドの仕様のセクションを参照してください。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度で走行すると負傷する場合があります。安全に運転を継続できる程度のスロットルを開けるようにしてください。統計から、事故や負傷は高速での転回時によく起きていることが示されています。この車両が重いことを忘れないでください。車両が転倒すると、車両重量が重く、運転者が脱出できず、負傷する場合があります。
- この車両はジャンプするために設計されたものではありません。ジャンプなどの動きの際に発生する大きな衝撃エネルギーを車両が十分に吸収できないため、そのエネルギーが運転者に伝わると危険なことになります。ウィリーを行うと、車両がひっくり返って自身が下敷きになる可能性があります。

ジャンプおよびウイリーの両操作は、自身および同乗者（2-UPモデルの場合）にとっての大きな危険となるため、どのようなときも避ける必要があります。

- この車両のタイヤは、舗装された道路での使用に適していません。
- アクセサリーを不適切に取り付けたり使用することでこの車両を改造しないでください。BRPが使用を認めたアクセサリーのみを使用してください。
- 運転者、他のすべての貨物および追加されたアクセサリーを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。荷物は均等に載せてしっかり固定してください。速度を下げ、このマニュアルにある荷物の運搬やトレーラーのけん引に関する指示に従ってください。制動距離を長めに取ってください。

2-UPモデル – 運転者の責任

運転者は次のことを守ってください。

- 同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。
- 安全走行に関する基本的なルールを同乗者に伝えてください。
- 同乗者には、車両の警告ラベルを読み安全講習ビデオを見るように指導してください。
- オペレーターズガイドに記載されている操作の練習を、同乗者を乗せた状態および乗せていない状態で必ず練習してください。同乗者には高い技量が求められます。
- 走行時に同乗者がいると、車両のハンドリング性能および安定性に影響する場合がありますことを忘れないでください。安全に速度を下げてください。適切な判断を心掛けてください。疑わしい場合は操作しようとせず、同乗者を降ろしてから操作してください。
- 走行時に同乗者がいるときはブレーキ制動距離が長くなる場合がありますことを忘れないでください。制動距離を長めに取ってください。
- 2-UPモデルに同乗席が正しく取り付けられていない場合は、絶対に同乗者を運ばないでください。
- 1名を超える同乗者を運ばないでください。指定された同乗席以外の場所に同乗者を乗せないでください。
- 地形の状況を把握してそれに順応することに集中できる能力や判断力が同乗者に十分備わっていない場合は、絶対にその人を乗せないでください。
- 薬やアルコール類を摂取した状態や、疲れや体調の悪さを感じる人を絶対に乗せないでください。こうした状態では、状況に対する反応が遅くなったり判断力が低下します。

2-UPモデル – 同乗者の責任

同乗者は次のことを守ってください。

- 車両に座っているときは、常に足をフットレストに置いて、手はグラブハンドルを握ることができなければなりません。
- 使用が認められ正しく装着できるヘルメット（チンガードを含む）を着用せずにこの車両に絶対に乗らないでください。また、同乗者は目の保護具（ゴーグルやフェイスシールド）、グローブ、ブーツ、長袖のシャツまたはジャケット、および長ズボンを着用する必要があります。
- 指定された同乗席に座ってください。
- 走行中は、常に足をフットレストに置いて、手はグラブハンドルを握るようにしてください。運転者をつかまないでください。
- 走行中は絶対に立ち上がらないでください。過剰な動きは制御不能な状態を引き起こす可能性があります。

- 車両と運転者の動きに注意してください。
- 何らかの理由で気持ちが悪くなったり安全でないと感じたら、直ちに運転者に伝えて速度を下げてもらってください。

運転に関する警告

下記の警告と様式は米国消費者製品安全委員会によって要求されているものであり、すべてのATVのオペレーターズガイドに掲載する必要があります。

下記の図は参考用です。使用されているモデルは異なる場合があります。

正しい説明を受けずに車両を運転した場合

⚠ 警告



考えられる危険
適切な説明を受けることなくこの車両を運転する。

起こる事象

運転者が各種の状況や地形におけるこの車両の正しい運転方法を知らない場合、事故の危険が非常に高くなります。

危険の回避方法

初心者や経験の浅い運転者はトレーニングコースを受講する必要があります。その後、コースで学んだ技術やオペレーターズガイドに記載されている運転技術を定期的に練習する必要があります。

トレーニングコースに関する詳細は、認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。

推奨年齢

⚠ 警告



考えられる危険

この車両の推奨年齢に従わない。

起こる事象

この推奨年齢に従わないと、未成年が重傷を負ったり死亡する可能性があります。

未成年がこの車両の推奨年齢範囲内であっても、この車両を安全に運転するのに必要な技量、能力、または判断力を有しておらず、重大な事故に巻き込まれる場合もあります。

危険の回避方法

16才未満の人はこの車両を運転しないでください。

同乗の身体的制限

⚠ 警告

2-UPモデルのみ



vim2014.005.100

考えられる危険

2-UPモデルの同乗者の身体的制限を守らない。

起こる事象

凹凸の激しい地形を走行しているときに、足をフットレストに置くことができない同乗者が投げ出される可能性があります。

危険の回避方法

車両のシートに座っているとき、同乗者は常に足をフットレストに置き、手はグラブハンドルを握ることができなければなりません。

同乗者を乗せた運転

⚠ 警告

1-UPモデルのみ



v10a200

考えられる危険

この車両で同乗者を運ぶ。

起こる事象

この車両のバランスを取って制御する運転者の能力が大幅に低下します。事故を起こし、自身や同乗者が負傷する可能性があります。

危険の回避方法

絶対に同乗者を運ばないでください。運転者の動きを制限することのない長いシートであっても、同乗者を運ぶために設計されたものではありません。

1名を超える同乗者の運搬

⚠ 警告

2-UPモデルのみ



W06000

考えられる危険

この車両で1名を超える同乗者を運ぶ。

起こる事象

1名を超える同乗者を運ぶと、この車両のバランスを取って制御する運転者の能力が低下します。

事故を起こし、自身や同乗者が負傷する可能性があります。

危険の回避方法

1名を超える同乗者を運ばないでください。運転者の動きを制限することのない長いシートであっても、この車両は、1名を超える運転者または1名を超える同乗者を運ぶために設計されたものではありません。同乗者は、乗車の際に指定された同乗席を使用し、足をフットレストにしっかり置いてグリップハンドルを必ず握るようにしてください。

フロントまたはリアラックに同乗者を座らせる行為

⚠ 警告



W06000

考えられる危険

同乗者をこの車両のフロントまたはリアに座らせる。

起こる事象

上述のように同乗者を座らせることで：

- 車両の安定性が損なわれ、制御不能になる可能性があります。
- 固い面への衝撃により同乗者が負傷することがあります。
- 事故を起こし、自身や同乗者が負傷する可能性があります。

危険の回避方法

同乗者をこの車両のフロントまたはリアに絶対に座らせないでください。

公道、一般道、または高速道路での走行

⚠ 警告



考えられる危険

公道、一般道、または高速道路を走行する。

起こる事象

他の車両と衝突する可能性があります。

危険の回避方法

土や砂利がある場合でも、この車両を公道、一般道または高速道路上で絶対に運転しないでください。この車両を公道、一般道、または高速道路で走行することは、多くの州で違法とされています。

保護具未着用での運転

⚠ 警告



考えられる危険

使用が認められたヘルメット、ゴーグルおよび保護具を着用することなくこの車を走行させる。2-UPモデルの場合、同乗者は、チンガードを持つ使用が認められたヘルメットを着用していなければなりません。

起こる事象

- 使用が認められたヘルメットを着用せずに走行すると、事故の際に頭部に重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。
- ゴーグルを着用せずに走行すると事故を起こしたり、事故の際に重傷を負う可能性が高まります。
- 保護具を着用せずに走行すると、事故の際に重傷を負う可能性が高まります。

危険の回避方法

正しく装着できる認められたヘルメットを着用してください。また、次のものを着用してください：

- 目の保護具（ゴーグルやフェイスシールド）
- 硬質のチンガード
- グローブとブーツ
- 長袖シャツまたはジャケット
- ロングパンツ

薬物やアルコール

⚠ 警告



V06A270
考えられる危険
薬を服用したりアルコールを摂取した状態でこの車両を使用する。

起こる事象

同乗者が落下する可能性があります（2-UPモデルの場合）。

判断力に深刻な影響を与える可能性があります。

状況に対する反応がより遅くなる可能性があります。

バランスと認識力に影響を与える可能性があります。

事故を起こしたり死亡する可能性があります。

危険の回避方法

運転者と同乗者（2-UPモデルの場合）は、薬を服用したりアルコールを摂取した状態でこの車両を絶対に使用しないでください。

スピードの出しすぎ

⚠ 警告



V06A590
考えられる危険
過剰な速度でこの車両を運転する。

起こる事象

車両が制御不能になる可能性が高まり、事故を起こすことがあります。

危険の回避方法

必ず地形、視認性、運転条件、および自身の経験に適した速度で走行してください。

2-UPモデルでは、走行時に同乗者がいると車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合があります。同乗者を乗せて走行しているときは、安全に速度を下げてください。制動距離を長めに取ってください。

ワイリーやジャンプなどのスタント操作

⚠ 警告



考えられる危険

ワイリーやジャンプなどのスタント操作を行う。

起こる事象

転覆などの事故を起こす可能性が高まります。

危険の回避方法

ワイリーやジャンプなどのスタント操作を絶対に行わないでください。目立とうとする行動はお止めください。

車両の点検

⚠ 警告

考えられる危険

車両の点検を行わずに運転する。

車両を正しく維持しない。

起こる事象

事故を起こしたり装置が損傷する可能性が高まります。

危険の回避方法

走行前に必ず車両を点検し、車両が安全な運転状態にあることを確認してください。

このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。

凍結した水路

⚠ 警告

考えられる危険

凍結した水路上で走行する。

起こる事象

氷の上でブレーキをかけると重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

車両とその荷重、および動く車両によって生じる力を支えるのに氷が十分厚く安定していることを確認するまでは、凍結面上でこの車両を走行させないでください。

車両での適切な姿勢

⚠ 警告



考えられる危険

運転中に、運転者用のハンドルバーや同乗者用のクラブハンドル（2-UPモデルの場合）から手を放す。またはフットレストから足を放す。

起こる事象

一方の手や足を放すだけでも、車両の制御能力が低下したり、バランスを崩して車両から落下する可能性があります。フットレストから足を放すと、足が後輪に当たり、負傷したり事故を起こす可能性があります。

危険の回避方法

オペレーターは常に両手でハンドルバーを、同乗者（2-UPモデル）はクラブハンドルをつかまなければなりません。車両の運転中は、両足（2-UPモデルでは運転者と同乗者の両足）をフットレストに乗せる必要があります。

不慣れな地形

⚠ 警告



考えられる危険

不慣れな地形で車両を運転するときに十分な注意を払わない。

起こる事象

反応するのに十分な時間がない状態で隠れた岩、隆起部、または穴に出くわすことがあります。

車両が転覆する、同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出される、または制御不能になる可能性があります。

危険の回避方法

ゆっくり走行し、不慣れな地形上を運転するときは十分注意してください。

車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。同乗者を乗せて走行しているときは、安全に速度を下げてください。

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ地形では十分に注意してください

⚠ 警告



考えられる危険

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地で運転するときに十分な注意を払わない。

起こる事象

トラクションの喪失または車両が制御不能な状態を引き起こす可能性があります。これにより、転覆したり同乗者が投げ出される（2-UPモデルの場合）などの事故を起こす可能性があります。

危険の回避方法

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地でこの車両を運転する場合、そのような土地での操作に必要なスキルを学び、練習するまでは絶対に運転しないでください。

そのような類の土地では、特に注意を払ってください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてからこれらの地形で運転してください。

不適切な転回

⚠ 警告



考えられる危険

不適切な転回。

起こる事象

車両が制御不能になって衝突や転覆を引き起こしたり、同乗者が投げ出される(2-UPモデルの場合)可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の転回手順に必ず従ってください。低速で転回の練習を行ってから高速で転回するようにしてください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。同乗者がいる場合にこの操作を絶対に行わないでください。同乗者がいると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する可能性があることを忘れないでください。

過剰な速度で転回しないでください。

勾配が急な斜面

⚠ 警告



考えられる危険

勾配が急な斜面での運転。

起こる事象

勾配が急な斜面では、水平面や軽微な斜面に比べて車両がより簡単に転覆する可能性があります。

危険の回避方法

車両や運転者にとって勾配が急すぎる斜面では、絶対にこの車両を運転しないでください。

同乗者を乗せていない状態および乗せた状態(2-UPモデルの場合)で、軽微な斜面で練習してから急な斜面で運転してください。

この車両が急な斜面を上ることができるとしても、2-UPモデルでは、同乗者がいるときにそのような斜面を上ることは推奨しません。必ず同乗者を降ろしてから斜面で運転してください。適切な判断を心掛けてください。

登坂走行

⚠ 警告



考えられる危険
不適切な登坂走行。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の登坂手順に必ず従ってください。

斜面を上る前に、必ず地形をよく確認してください。2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから登坂走行を行ってください。同乗者がいると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合がありますことを忘れないでください。

表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上らないでください。

（運転者および2-UPモデルの場合は同乗者も）体重を前方へ移動してください。

スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。

傾斜地の頂上を高速で走り抜けしないでください。斜面の向こう側に障害物や急な落ち込みがあったり、他の車両や人がいる可能性があります。

降坂走行

⚠ 警告



考えられる危険
不適切な降坂走行。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の降坂手順に必ず従ってください。

注記：

降坂時のブレーキ操作には特殊な技術が必要です。

斜面を下る前に、必ず地形をよく確認してください。2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから降坂走行を行ってください。同乗者がいると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する可能性があることを忘れないでください。（運転者および2-UPモデルの場合は同乗者も）体重を後方へ移動してください。

絶対に高速で斜面を下らないでください。

車両が片側にきつく傾くような傾斜のある斜面を下るのは避けてください。できる限り斜面を真っ直ぐ降りてください。

斜面の横断または斜面での転回

**考えられる危険**

不適切な斜面の横断または斜面での転回。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

2-UPモデルでは、同乗者がいる場合にこの操作を絶対に行わないでください。同乗者を降ろしてから操作してください。

オペレーターズガイドに記載されている転回技術を水平面で習得するまでは、斜面で車両の転回を絶対に行わないでください。斜面で転回するときは十分気をつけてください。

可能な場合は、勾配が急な斜面を横切るのは避けてください。

斜面を横切るときは：

このオペレーターズガイドに記載の正しい手順に必ず従ってください。

表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は避けてください。

運転者および同乗者（2-UPモデルの場合）は、体重を斜面の上方向に移動してください。

登坂中のインスト、後方への転倒、または降車

⚠ 警告



V00A1PQ

考えられる危険

登坂中のインスト、後方への転倒、または不適切な降車。

起こる事象

車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

登坂時に低速ギヤを使用して一定の速度を保つようにしてください。

前進速度を失った場合：

運転者と同乗者（2-UPモデルの場合）は、体重を斜面上方向に維持してください。スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。

ブレーキをかけます。

停止したらパーキングブレーキをロックします。

斜面上側から降車するか、斜面上で車両が真っ直ぐ上を向いている場合は横側から降車します（2-UPモデルでは同乗者を先に降ろします）。

後方に倒れかけている場合：

運転者と同乗者（2-UPモデルの場合）は、体重を斜面上方向に維持してください。スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。

後方にひっくり返ろうとしている間は、絶対にリアブレーキをかけないでください。

フロントブレーキを徐々にかけます。

完全に止まったらリアブレーキをかけてパーキングブレーキをロックします。

斜面上側から降車するか、斜面上で車両が真っ直ぐ上を向いている場合は横側から降車します（2-UPモデルでは同乗者を先に降ろします）。

車両の周りを回って乗車し、このオペレーターズガイドに記載されている手順に従います。

障害物を乗り越えて走行する

⚠ 警告



考えられる危険

障害物の上を誤った方法で運転する。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、衝突する可能性があります。

車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

新しい土地で運転する前に、障害物がないか確認してください。

大きな岩や倒木などの大きな障害物上を走行しようとししないでください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っています。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから障害物上を走行してください。走行時に同乗者がいると、車両のハンドリング性能および安定性に影響する場合がありますことを忘れないでください。

障害物上を走るときは、このオペレーターズガイドに記載の正しい手順に必ず従ってください。

横滑りやスライディング

⚠ 警告



考えられる危険

誤った方法でスリップや横滑りをする。

起こる事象

この車両の制御を失う場合があります。

また、突然トラクションが回復し、車両が転覆したり同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出されたりする場合があります。

危険の回避方法

水平で滑らかな場所で低速で練習し、スリップまたは横滑り時の安全操作を学ぶようにしてください。

2-UPモデルでは、同乗者がいるときにスリップや横滑りをしないでください。走行時に同乗者がいると、車両のハンドリング性能および安定性に影響する場合がありますことを忘れないでください。

氷など極度に滑りやすい路面ではゆっくり進み、制御不能なスリップや横滑りの発生を抑えるために十分に気を付けてください。

水深が深いまたは水の流れが速い場合

⚠ 警告



考えられる危険

水深が深いまたは水の流れが速い場所でこの車両を運転する。

起こる事象

タイヤが浮いてトラクションや制御を失い、事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

水深が深いまたは水の流れが速い場所ではこの車両を絶対に運転しないでください。

水たまりを横切ろうとする前に、水深や流れを確認してください。水面はフットレストよりも下になければなりません。

ブレーキが濡れている場合は制動能力が低下することを忘れないでください。水がら出た後はブレーキのテストを行ってください。必要に応じて、ブレーキを数回かけてパッドを乾燥させます。

リバースでの運転

⚠ 警告



考えられる危険

誤った方法で後進する。

起こる事象

車両後方の障害物や人にぶつかり、重傷を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

リバースギヤを選択したときに、車両後方の障害物や人がないことを確認してください。後進しても安全なときは、ゆっくり進んでください。2-UPモデルでは、同乗者によって視界が遮られる可能性があることを考慮してください。

タイヤ空気圧

⚠ 警告



考えられる危険

不適切なタイヤを使用して、またはタイヤ空気圧が不適切もしくは不均等な状態でこの車両を運転する。

起こる事象

この車両に不適切なタイヤを使用する、またはタイヤ空気圧が不適切もしくは不均等な状態でこの車両を運転すると、制御不能になったり、タイヤが破裂したり、タイヤガリムの周りを動いたり、事故の危険が高まる場合があります。

危険の回避方法

オペレーターズガイドの中でこの車両向けに規定されているサイズおよびタイプのタイヤを必ず使用してください。

このオペレーターズガイドに記載されている適切なタイヤ空気圧を必ず維持してください。

損傷しているホイールまたはタイヤは交換してください。

不適切な改造

⚠ 警告



考えられる危険

不適切な改造をした状態でこの車両を運転する。

起こる事象

この車両にアクセサリーを不適切に取り付けたり、不適切な改造を行うと、ハンドリング性能に変化が生じて場合によっては事故を引き起こすことがあります。

危険の回避方法

アクセサリーを不適切に取り付けたり使用することでこの車両を改造しないでください。この車両に加えられる部品やアクセサリーはすべて、BRPが認めたものでなくてはならず、指示に従って取り付けおよび使用されなければなりません。質問がある場合は、Can-Amディーラーにお問い合わせください。

(1-UPモデルに)同乗席を取り付けたり、ラックを使用して同乗者を運ばないでください。

速度や性能を向上するための車両の改造は、所有する車両の限定保証の条件に違反する場合があります。また、エンジンやエキゾーストコンポーネントの取り外しは、ほとんどの法律の下で違法となります。

荷物の搭載、運搬、牽引

⚠ 警告



考えられる危険

この車両への過積載、不適切な荷物の運搬または牽引。

起こる事象

車両のハンドリング性能に変化が生じて事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

運転者、同乗者（2-UPモデルの場合）、他のすべての貨物および追加されたアクセサリーを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。

荷物は均等に載せてしっかり固定してください。

荷物を運搬したりトレーラーを牽引するときは速度を下げてください。制動距離を長めに取ってください。

オペレーターズガイドに記載されている荷物の運搬またはトレーラーの牽引に関する指示に必ず従ってください。

可燃物または危険物の運搬

⚠ 警告



考えられる危険

可燃物または危険物の運搬で爆発を引き起こす可能性がある。

起こる事象

重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

可燃物または危険物を運搬しないでください。

走行前点検

⚠ 警告

走行前に、必ず走行前点検を実施し、運転中に発生する恐れのある問題を発見します。乗車前の点検により、問題になる前にコンポーネントの摩耗や劣化を確認できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減してください。

この車両を使用する前に、オペレーターは下記の走行前点検用チェックリストを使用して必ず点検を行ってください。

走行前点検用チェックリスト

エンジン始動前にすべきこと (キーはオフの状態)

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|--------------|--|---|
| エンジンオイル | エンジンオイルのレベルを点検します。 | |
| クーラント | クーラントレベルの点検 | |
| ブレーキ液 | ブレーキオイルレベルを点検します。 | |
| 漏れ: | 車両の下に漏れがないか点検します。 | |
| スロットルレバー | スロットルレバーを数回作動させて自由に動くか点検します。レバーを放したときは、レバーがアイドルリング位置に復帰しなければなりません。 | |
| パーキングブレーキ | パーキングブレーキをかけ、ブレーキが正常に動作しているか点検します。 | |
| タイヤ | タイヤの空気圧と状態を確認します。タイヤ圧力と最大荷重のラベルを参照して、荷重を調整します。 | |
| ホイール | 損傷や異常な遊びがないかホイールを点検し、ラグナットが締め付けられていることを確認します。ホイールビードロックを締め付けます (装備されている場合)。トルク仕様については、メンテナンスの手順のセクションのホイールおよびタイヤを参照してください。 | |
| ラジエーター | ラジエーターが汚れていないか点検します。 | |
| ドライブシャフトベローズ | ドライブシャフトベローズとプロテクターの状態を点検します。 | |
| シート | 運転席が所定位置にあって正しく固定されているか点検します。 | |
| | 同乗席またはグローブボックスが所定位置にあって正しく固定されているか点検します (2-UPモデルの場合)。 | |

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|----------------|---|---|
| | 同乗者用のバックレストとグラブハンドルの状態を点検します（2-UPモデルの場合）。 | |
| カーゴ | 荷物を運搬する場合は積載量を守ってください。カーゴラックへの搭載のセクションを参照してください。 荷物がラックに適切に固定されていることを確認します。 | |
| | トレーラーや他の装置を牽引する場合： <ul style="list-style-type: none"> - ヒッチおよびトレーラーボールの状態を点検します。 - ヒッチに貼付されているラベルに記載の（ヒッチにかかる）垂直荷重や牽引荷重を順守してください。技術仕様のセクションを参照してください。 - トレーラーがヒッチに正しく固定されていることを確認します。 | |
| ストレージコンパートメント | リアストレージコンパートメントが正しく固定されているか点検します。 | |
| シャーシおよびサスペンション | 車両の下を確認してシャーシやサスペンションコンポーネントに異物の付着がないか点検し、異物を取り除きます。 | |
| エンジンエアフィルター | エンジンエアフィルターを点検し、清掃します。 | |
| CVTエアフィルター | CVTエアフィルターを点検し、清掃します。 | |

エンジン始動前にすべきこと（キーはオンの状態）

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|--------|--|---|
| デジタル表示 | （キーをオンにして最初の数秒の間に）デジタルディスプレイのインジケータランプの動作を点検します。 | |
| | デジタルディスプレイ上にメッセージがないか点検します。 | |
| ライト | ヘッドライトとテールライトの動作および汚れが付着していないか点検します。 | |
| | ロービームとハイビームの動作を点検します。 | |
| | ブレーキライトの動作を点検します。 | |

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|--------------|-----------------------------|---|
| 燃料レベル | 燃料レベルを確認します。 | |
| Horn (ホーン) | ホーンの機能を確認します (装備されている場合)。 | |

エンジン始動後にすべきこと

| 点検項目 | 実施する点検 | ✓ |
|----------------|--|---|
| ステアリング | ステアリングホイールを左右にいっぱいまで回し、支障なく動作することを確認します。 | |
| シフトレバー | シフトレバー（P、R、N、HおよびL）の動作を点検します。 | |
| 2WD/4WDセクター | 2WD/4WDセクターの動作を点検します。 | |
| ブレーキ | ゆっくりと数フィート前進し、ブレーキレバーおよびブレーキペダルを別々に作動します。ブレーキが十分にかかる必要があります。レバーとペダルを放すと、それらが完全に元の位置に戻らなければなりません。 | |
| エンジンストップスイッチ | エンジンストップスイッチが正常に動作するか確認します。 | |
| RF D.E.S.S.ポスト | D.E.S.S.キーをD.E.S.S.ポストから引いてエンジンを停止することで、D.E.S.S.ポストが正常に動作しているか点検します。 | |
| イグニッションスイッチ | エンジンの再始動および停止を行い、イグニッションスイッチが正常に動作することを確認します。 | |

乗車

この車両を楽しく快適に乗るために、従うべきいくつかの基本的ルールとヒントがあります。これらのルールとヒントは、常識的なものであったりユーザーにとって初めての内容である場合があります。

時間を取って、このオペレーターズガイドおよび製品上のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオ (<https://can-am.brp.com/off-road/safety>) をご覧ください。乗る前にこの車両について知っておくべきことが十分に説明されています。

初心者または経験のある運転者かどうかに関わらず、個人の安全のために、この車両の操作装置と機能について知っておくことが重要です。また、正しい走行方法を知ることも同じように重要です。

本製品は、オフロード専用の高性能ATVです。経験の浅い運転者は危険を見落とし、さまざまな地形条件で見られるこのATV特有の動作に驚く可能性があります。

製品に貼付されている警告ラベルに記載の推奨年齢に従うことを推奨します。ユーザーがこの車両の推奨年齢範囲内であっても、この車両を安全に運転するのに必要な技量、能力、または判断力を有しておらず、重大な事故に巻き込まれる場合もあります。

認知機能障害や身体的障害を持つ方は、転覆や衝突の危険にさらされることが多く、負傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

どの車両も同じものではありません。各車両には固有の性能特性、操作装置および機能があり、それぞれ異なる走りや操作性を発揮します。

オフロード条件で走り出す前に、操作装置や車両の一般的な動きを十分熟知してください。危険がなく各操作の応答を感じることができると適切な場所で、運転の練習を行ってください。練習は低速で行います。高速での走行は、十分な経験、知識、および適した走行条件が必要となります。

走行条件は場所ごとに異なります。それぞれの場所は天候条件の影響を受け、時間や季節によって激しく変化する場合があります。

砂地での走行は、雪上や森林、沼地での走行とは異なります。それぞれの場合では、非常に高い認識力とスキルが必要な場合があります。適切な判断を心掛けてください。常に注意を払いながら走行してください。立ち往生したり負傷する可能性のある危険を不用意に負わないようにしてください。

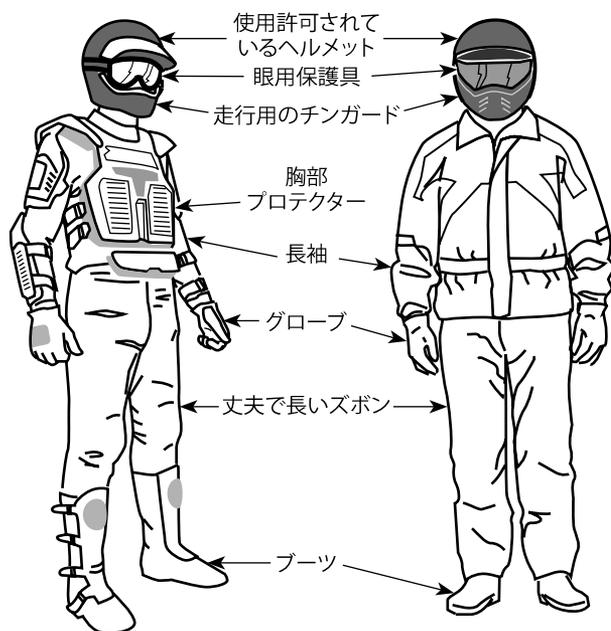
車両はどこでも安全に走行すると思いません。穴、くぼみ、バンク、柔らかいまたは硬い「地面」などの不規則性による突然の地形の変化によって、車両が転倒したり不安定になる場合があります。このような状況を避けるために、速度を下げ必ず前方の地形を確認してください。車両が転倒や横転を始めた場合、倒れる方向とは反対の方向に直ちに降りるのが最善の方法です。

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については、認定Can-Am Off-roadディーラーに相談してください。可能な限り、認定Can-Am Off-roadディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお勧めします。認定Can-Am Off-roadディーラーを訪ねると、ご自身の車両が安全キャンペーンの対象になっているかどうかを確認できます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早く認定Can-Am Off-roadディーラーにお問い合わせいただくようお勧めします。

必要とするアクセサリーが入手できるかどうかについては、正規Can-Am Off-roadディーラーにご相談ください。

ライディングギア

実際の天候条件を確かめて、適切な服装を決めてください。予想される最も寒い天候に適した衣服を着用してください。肌の上に防寒用下着を着用すると、断熱性が高くなります。運転者は、使用が認められたヘルメット、ゴーグル、ブーツ、グローブ、長袖のシャツおよび長ズボンなど、適切な保護具と衣服を常に着用することが重要です。このような衣服によって、走行中に遭遇する軽微な危険から保護されます。運転者は、車両に巻き込まれたり、木の枝や背の低い木々に引っ掛かる恐れのある、スカーフなどのだぶついた衣類を着用しないでください。条件によっては、曇り止めゴーグルやサングラスが必要になる場合があります。ゴーグルやサングラスで利用できるさまざまな色のレンズは、地形の違いを見分けるのに役立ちます。サングラスは日中だけ着用してください。



適切な走行用保護具を着用した運転者

同乗者を乗せた運転

1-UPモデル

この車両は、運転者1人だけを乗せるように設計されています。同乗者を乗せようとして同乗席を取り付けたりラックを使用しないでください。

2-UPモデル

この車両は、運転者と1人の同乗者だけを乗せるように設計されています。同乗者は、指定された同乗席に座りクラブハンドルを常に握るようにしてください。BRP推奨の同乗席以外の同乗席を取り付けしないでください。乗客を乗せようとしてラックやラック用の場所を使用しないでください。1名を超える同乗者を乗せると、安定性や車両の操作に影響する場合があります。グローブボックスが（リアシートの位置に）取り付けられている場合、車両は運転者1名用の車両（1-UPモデル）となるため、同乗者を乗せることはできません。

レクリエーション走行

他の人の権利や限度を考慮してください。他の種類のオフロード用途のために指定されている場所からは離れてください。これには、スノーモービルのトレイル、乗馬コース、スキーのクロスカントリーのコース、マウンテンバイクのトレイルなどがあります。トレイル上に誰もいないと想定しないでください。常にトレイルの右側を維持し、トレイルの片方からもう片方へとジグザグに進まないでください。他のトレイル使用者が前方に現れた場合は、停止するか脇へ寄せる準備をしてください。

地域の4輪バギークラブにご参加ください。このようなクラブでは、地図やアドバイスが提供され、走行できる場所の情報を入手することができます。近隣にクラブがない場合は、クラブの立ち上げにご協力ください。グループでの走行やクラブの活動は楽しいものであり、社会経験が得られます。

他のライダーからの安全離隔距離を保ってください。速度、地形条件、天候、車両の機械的状態の判断、および自分自身が周りの人に対して持っている「判断の信用」は、適切な安全離隔距離をより良く判断するための助けとなります。他の原動機付き車両のように、この車両は「急には」止まれません。制動距離を長めに取ってください。2-UPモデルでは、走行時に同乗者がいると車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合があります。同乗者を乗せて走行しているときは、安全に速度を下げてください。

走行する前に、どこに行くか、帰る予定時間を誰かに伝えましょう。

走行時間の長さに応じて、補助用のツール、飲食品、および非常用装置を搭載してください。ガソリンやオイルを補給できる場所も確認してください。遭遇しうる状況に対処するための準備を行ってください。

| | |
|-----------|-------------|
| 救急箱 | モンキーレンチ |
| 携帯電話 | ナイフ |
| 摩擦テープ | 懐中電灯 |
| ロープ | 色付きレンズのゴーグル |
| 予備の照明用バルブ | トレールマップ |
| 付属の車載工具 | 軽食 |

環境

この車両の長所の1つは、ほとんどの地域から距離のある、人里離れた場所へと向かえることです。しかし、自然そして他の人の楽しむ権利を常に大切する

必要があります。環境保護指定区域には乗り入れないでください。森林でできる作物や低木の上での走行、木の伐採、フェンスの取り壊し、ホイールのスピン、地形の破壊はしないでください。「そっと」走るようにしてください。

ごみや異物などがこの車両のエキゾーストやエンジンの他の高温箇所の近くに堆積して着火し、それが乾燥した草に落下した場合、火事が発生する可能性があります。ごみや異物が堆積するような湿地帯、湿原、背の高い草がある所での走行は避けてください。これらの場所で走行する場合は、エンジンおよび高温箇所を点検し、ごみや異物を取り除いてください。詳細は、車両のお手入れを参照してください。

野生動物を追いかけることは、多くの地域で違法とされています。野生動物は、原動機付き車両に追いかけられた後に、極度の疲労で命を落とすこともあります。トレイル上で動物に出くわした場合は、車両を停止して、注意しながら静かに見守ってください。これは、人生の中の良い思い出の1つとなるでしょう。

「持ち込んだ物は持ち帰る」というルールを守ってください。ごみを散らかさないでください。許可を得ていない限り、キャンプファイヤーは行わないでください。行う場合は、乾燥した地域から離れた場所でのみ行ってください。トレイル上で自身が生み出す危険が、後日であっても他人や自分自身を負傷させる場合があります。

農地を大切にしてください。私有地を走る前に、土地の所有者の許可を必ず得てください。穀物、家畜、土地の境界線を大切にしてください。

最後に、小川や湖、川を汚さないでください。車両の排気ガス量が変わるため、エンジンやエキゾーストシステムを改造したり、それらのコンポーネントを取り外したりしないでください。

設計上の制限

車両は同クラスの中でも非常に丈夫なものですが、軽量の車両として定義されており、その運転も特定の目的に制限されています。

車両の一部に荷重を追加すると、重力的安定性や性能に変化が生じます。

オフロードでの運転

オフロードでの運転特性は危険なものです。車両走行のために特に整備されていない地形には、地面を構成する物質、形状、険しさが予測できない内在的な危険が存在します。地形自体が連続する危険な要素を呈しており、この地形を走破しようとするオペレーターは、このことを承知の上で受け入れなければなりません。

車両をオフロードで走らせるオペレーターは、最も安全な経路を選択し目の前の地形から目を離さないよう、常に最大限の注意を払う必要があります。この車両に適用される走行時の指示に十分慣れていない人にこの車両を運転させたり、険しく不安定な地形で運転するのは絶対に止めてください。

走行技術

このガイドの情報がすべてではありません。認定されたトレーニングコースの指示に従い、知識やスキルを向上させてください。

配慮、注意、経験および運転技術は、車両を運転する際の危険に対する最も良い予防策となります。

トレイル上のすべての標識を厳守してください。標識は、自身や他の人を手助けするために設置されています。

オフロード運転では、速度ではなく、パワーとトラクションが重要になります。視認性や自身の能力に見合わない速い速度での運転はせず、取り得る安全なルートを選択してください。

傾斜、そして岩や切り株などの障害物に突然の変化がないか、目の前の地形を常に確認してください。これらのものにより安定性を損ない、転倒や横転を引き起こす可能性があります。

また、傾斜やバンクの反対側の地形条件を知っておくことも、賢明な考えです。対応や降下が不可能な急激な落ち込みもよくあります。

障害物や一部の地形に車両が安全に対処できることにわずかも疑いがあるときは、必ず別のルートを選択してください。

必ず正しい運転を心掛けて、曲がり道や坂道、粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。

乗車姿勢

正常操作を維持するため、両手をハンドルバーに置き、すべての操作装置類に簡単に手が届くようにすることを強く推奨します。これは、フットペグ上の足についても言えることです。足が負傷する可能性を最小限に抑えるため、足は常にフットペグ上に置いてください。つま先を外側に向けたり転回時の補助として足を伸ばしたりしないでください。そのようにすると、足が障害物に当たったりからんだりして、足がホイールに当たる場合があります。

この車両にはサスペンションがあるものの、不快に感じる「連続した凹凸」のような粗い地形条件があつて、背中に振動が伝わり背中を痛める可能性もあります。かがんだ姿勢で「構えたり」走行することも頻繁に求められます。速度を下げ、足を固定して衝撃エネルギーの一部を吸収できるようにしてください。



2-UPモデル

同乗者は、常に足をフットレストに置き、手はグラブハンドルを握ってなければなりません。

同乗者は、運転者の動きに自分の動きを合わせなければなりません。

道路の横断

道路を横断しなければならない場合は、両側をよく見て接近して来る人や車などがいないか確認し、道路の向こう側にある到達位置を決めます。その位置に向かって真っ直ぐ走行してください。急な針路の変更や急加速はしないでください。横転する状況を引き起こす場合があります。歩道や自転車用レーンは人や自転車用に特別に指定されたものであるため、それらの上を走行しないでください。

旋回

低速で転回の練習を行ってから高速で転回するようにしてください。

両手をハンドルバーに、足をフットペグに置いてください。

転回中は、一定の速度を維持するか若干加速してください。

横転のリスクを減らすために：

- 転回時には注意してください。
 - 速度や環境に対してハンドルバーを大きく回しすぎたり、速く回しすぎたりしないでください。状況に応じて操舵操作を調整してください。
 - カーブにさしかかったら速度を下げてください。曲がっているときは、急ブレーキをかけないでください。
 - 曲がっているときは、たとえ停止した状態からであっても急加速しないでください。
- ドーナツターン、スリップ、横滑り、フィッシュテール、ジャンプなどのスタント操作を行わないでください。車両がスリップまたは横滑りし始めた場合は、スリップまたは横滑りの方向に操舵してください。ブレーキを強くかけないでください。ホイールがロックします。
- 舗装面は避けてください。この車両は舗装面を走行するように設計されていないため、舗装面では横転する恐れがあります。舗装面で走行しなければならない場合は、ゆっくり曲がり、低速で進み、急加速や急ブレーキを避けてください。

転回中にステアリング、スロットル、またはブレーキを急に操作しないでください。

⚠ 警告

過剰な速度で転回しようとししないでください。



横滑りやスリップが発生した場合は、再度コントロールが得られるまでハンドルバーを滑っている方向に回すと役に立つ場合があります。急ブレーキをかけてホイールをロックさせないでください。

⚠ 警告

この車両のタイヤは、舗装された道路での使用に適してしていません。また、この車両にはリアディファレンシャルが装備されていません（リアホイールは常時同じスピードで回っています）。そのため、舗装された道は車両のハンドリング性能や制御に大きな影響を与えます。

ブレーキ

ブレーキをかけるときは、必ず両手をハンドルバーに、足をフットペグに置いてください。

ブレーキの練習を行って、ブレーキの応答に慣れるようにします。

- 最初は低速で練習してから、速度を上げていきます。
- 直線のコースでさまざまな速度で走り、さまざまな制動力をかけることで、ブレーキの練習を行います。
- 非常ブレーキの練習を行います。最適なブレーキは、直線コースにおいて、高い力をかけてホイールがロックしない状態のときに得られます。

制動距離は車両速度、負荷、および路面のタイプによって異なることを忘れないでください。また、タイヤおよびブレーキの状態は重要な役割を果たします。

注記：

前進の場合、ブレーキをかけると車重がフロントホイールに移動します。より高い停止効率を得るために、ブレーキシステムはより多くの制動力をフロントホイールに分配します。これは、強くブレーキをかけたときの車両のハンドリング性能や操舵制御に影響します。ブレーキをかけるときはこのことを考慮してください。

後進走行

後進走行の際は、車両後ろ側の経路に人や障害物がないことを確認してください。ゆっくりと進み、急旋回は避けてください。

2-UPモデルで走行しているときは、同乗者によって視界が遮られる可能性があることを考慮してください。必要に応じて同乗者を降ろしてください。

後進する場合、当社はATVに座るよう推奨しています。立ち上がらないでください。運転者の体重が前方に移動してスロットルレバーにかかると、不意に加速するおそれがあります。

⚠ 警告

ATVを後退させているときに突然加速すると、操作不能になる恐れがあります。

障害物

「トレイル」上の障害物は、注意して乗り越える必要があります。障害物には、ぐらついた岩、倒木、滑りやすい路面、フェンス、ポスト、盛り土、およびくぼみなどがあります。可能なかぎり、これらを避けるようにしてください。障害物には、乗り越えるのに大きすぎるまたは危険すぎるため、避けなければならない場合があることを覚えておいてください。小さな岩や倒木は、そ

れらに対して直角の方向から近づくことで安全に乗り越えることができます。ひざを曲げた状態でフットレストの上に立つようにしてください。勢いを失わないように速度を調整して、急に加速しないでください。ハンドルバー（運転者の場合）またはグラブハンドル（2-UPモデルの同乗者の場合）をしっかりと持ってください。（2-UPモデルの運転者と同乗者の場合は）体重を後方に移動して進みます。車両のフロントホイールを地面から浮かせようとしないでください。障害物は滑りやすく、乗り越えているときに移動する可能性があることに気を付けてください。

2-UPモデルを運転するとき、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っています。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから走行してください。

登坂走行

1-UPモデル

登坂走行の前に、下記の内容を念頭に置いてください。登坂走行は、経験のある運転者だけが行ってください。傾斜の緩やかな場所から発進します。上り坂に対して真っ直ぐ進み、体重は坂の頂上側に維持します。足はフットレストの上に置き、ATVを低速ギヤに入れてから加速して、登坂を始めます。一定の速度を保つよう心掛け、スロットルは控えめにして加速は避けます。急な傾斜や地形の変化、または1つのホイールが障害物に乗った状態は、車両前方が浮いた状態になるため安定性に大きな影響を与え、転倒する危険が高まります。また、斜面が急すぎて安全に停止できない、または上るのに失敗した後で回復できない場合もあります。急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、登坂時に転倒する可能性があります。斜面が急すぎて進めないまたは車両が後退し始めた場合は、横滑りしないよう注意しながらブレーキをかけ、パーキングブレーキをかけます。左側に降車して「K」ターンを行います（ブレーキレバーに手をかけた状態で車両の横（車両よりも頂上側）に立ち、後進方向にゆっくり歩きながらハンドルを切って、車両後方が頂上側を向いてから降坂します）。必ず車両よりも頂上側に降りて、車両に近づきすぎないようにしてハンドルバーを回しながら歩いてください。転倒し始めた場合は、車両をつかもうとせず離れてください。高速で頂上を走り抜けないでください。急な落ち込みや障害物などがある場合があります。



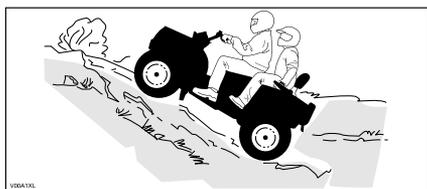
2-UPモデル

同乗者は、運転者の動きに自分の動きを合わせなければなりません。同乗者は、常に着座していなければなりません。

運転者は、同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから登坂走行を行ってください。

登坂走行の前に、下記の内容を念頭に置いてください。登坂走行は、経験のある運転者だけが行ってください。傾斜の緩やかな場所から発進します。必ず上

り坂に対して真っ直ぐ進んでください。運転者および同乗者は、体重を前方（斜面の頂上側）に維持する必要があります。足はフットレストの上に置き、ATVを低速ギヤに入れてから加速して、登坂を始めます。一定の速度を保つよう心掛け、スロットルは控えめにして加速は避けます。急な傾斜や地形の変化、または1つのホイールが障害物に乗った状態は、車両前方が浮いた状態になるため安定性に大きな影響を与え、転倒する危険が高まります。また、斜面が急すぎて安全に停止できない、または上るのに失敗した後で回復できない場合もあります。急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、登坂時に転倒する可能性があります。斜面が急すぎて進めないまたは車両が後退し始めた場合は、横滑りしないよう注意しながらブレーキをかけます。同乗者を先に降ろしてから「K」ターンを行います（ブレーキレバーに手をかけた状態で車両の横（車両よりも頂上側）に立ち、後進方向にゆっくり歩きながらハンドルを切って、車両後方が頂上側を向いてから降坂します）。必ず車両よりも頂上側に降りて、車両に近づきすぎないようにしてハンドルバーを回しながら歩いてください。転倒し始めた場合は、車両をつかもうとせず離れてください。高速で頂上を走り抜けないでください。急な落ち込みや障害物などがある場合があります。同乗者は、車両が安全な位置に戻った場合にのみ車両に乗ってください。



車両の挙動

構成によって、この車両は非常に優れた登坂能力を備えているために、トラクションを失う前に転倒する可能性があります。例えば、坂道の頂上がある程度侵食されて、先端が急激に盛り上がっているという地形状況に遭遇するのはよくあることです。車両はそのような状況にすばやく対応できるものの、動作している間に車両前部が車両のバランスが後方に移るポイントまで達すると、転倒する可能性があります。

搭載している物が原因で車両前部が想定よりも高い位置になると、同じような状況が発生する場合があります。転倒の可能性が発生した場合は、別のルートを通ってください。斜面を横方向に走行する際の危険に注意してください。後述の斜面の横断のセクションを参照してください。



降坂走行

1-UPモデル

体重を後方に保ち、座った状態を維持します。スリップしないようにブレーキを徐々にかけます。エンジン圧縮の状態またはニュートラルに入れた状態で、斜面を「惰性」で下らないでください。

滑りやすい下り坂に対処しながら下ると、車両が滑り下りようになります。着実な速度を維持して、若干加速するなどして、コントロールを得るようにしてください。急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、降坂時に転倒する可能性があります。



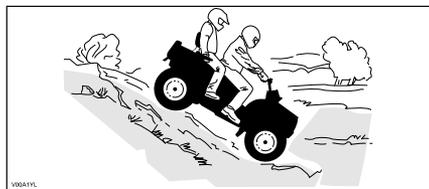
2-UPモデル

運転者は、同乗者の安全に関する責任を負っています。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから走行してください。

同乗者がいると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合がありますことを忘れないでください。

同乗者は、運転者の動きに自分の動きを合わせなければなりません。同乗者は、常に着座していなければなりません。

運転者および同乗者は、体重を後方に維持する必要があります。スリップしないようにブレーキを徐々にかけます。エンジン圧縮の状態またはニュートラルに入れた状態で、斜面を「惰性」で下らないでください。急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、降坂時に転倒する可能性があります。



車両の挙動

この車両は、安全に下ることができ、斜面よりも急な斜面を上ることができません。そのため、上る前に、斜面を下るための安全な経路があることを確認するのが重要です。

斜面の横断

斜面の横断は、車両バランスが大きく変化することがあるため、最も危険な走行の1つとされています。可能な場合は避けるようにしてください。しかし、斜面を横断する必要がある場合は、必ず体重を斜面上側に維持し、車両が転倒し始めた場合に降車する体制を整えておくことが重要です。

車両の片側が反対側よりも高い状態で、片側がさらに高くなって横転を引き越すような障害物やくぼみはすべて避けてください。

⚠ 警告

止まろうとしたり、立ち往生している車両を救出しようとししないでください。

⚠ 警告

液体リザーバーを載せて運搬するときは注意してください。リザーバーによって下方向に引かれて横転のリスクが高まり、斜面を横断しているときの車両の安定性に影響を及ぼします。



2-UPモデル

同乗者は、運転者の動きに自分の動きを合わせなければなりません。同乗者は、常に着座していなければなりません。

運転者は、同乗者の安全に関する責任を負っています。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから走行してください。

急な落ち込み

通常は、フロントまたはリアホイールのいずれかが急な落ち込みの上に差しかかって車両の「底」が当たると、車両は停止します。落ち込みが急で深い場合は、車両が先端から落下したり転倒したりします。

2-UPモデルを運転するとき、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っています。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから走行してください。

⚠ 警告

急な落ち込みの上での走行は避けて後退し、回避ルートを選択してください。

水たまりの横断

水たまりは独特の危険物となり得ます。水たまりが深すぎると、車両が「浮いて」転覆する場合があります。水たまりを横切ろうとする前に、水深や流れを確認してください。水面はフットレストよりも下になければなりません。水たまりおよび水たまりのバンクの双方において、岩、草、丸太などの滑りやすい面に気を付けてください。トラクションを喪失する場合があります。高速の状態では水たまりに入らないでください。水は制動力の役割を果たすため、自身が車両から投げ出されて地面に落下する可能性があります。



水による制動は、車両の制動能力に影響します。車両が水たまり、泥または雪から離れた後は、ブレーキを数回かけて乾燥させてください。制動距離を長めに取りてください。

水たまりの近くでは、泥や沼地に遭遇する場合があります。突然の「穴」や深さの変化に備えてください。同様に、特に植物などに覆われた岩や丸太などの危険物に注意してください。

氷の上での走行

経路に凍結した水路がある場合、自身、同乗者（2-UPモデルの場合）、車両およびその荷重を含む総重量を支えるのに氷が十分厚く安定していることを確認してください。水がないか特に注意して見張ってください。水は氷の厚さが変化している確かな証拠です。

2-UPモデルの場合、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っています。安全性が疑われる場合は、氷の上を渡らないでください。

氷は車両の制御にも影響します。速度を下げ、スロットルを「ふかしたり」しないでください。ふかしてもタイヤがスピンするだけであり、車両が転倒したり、同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出される可能性があります。急ブレーキは避けてください。急ブレーキによって制御できない横滑りが生じ、車両が転倒したり、同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出される可能性があります。泥は車両の運転や制御を妨げる可能性があるため、どのようなときでも避けてください。

雪で覆われた路面での走行

日常点検を行うときは、雪や氷の場所に特に注意してください。雪や氷が溜まっていると、テールランプやリフレクターの視認性が阻害され、通気口が詰まり、ラジエーターやファンを妨げ、コントロールレバー、スイッチおよびブレーキペダルの動きと干渉する場合があります。ATVを始動する前に、ステアリング、スロットル、ブレーキレバーおよびペダルコントロールの自由な動きが干渉されていないか確認してください。

雪で覆われた走行路上をATVが走るとき、通常はタイヤのグリップが下がり、運転者からの入力操作に対する車両の応答が異なってきます。グリップが低い面では、ステアリングの応答に切れがなく不正確で、制動距離が長くなり加速性も鈍くなります。速度を下げ、スロットルを「ふかしたり」しないでください。アクセルをふかしてもタイヤがスピンするだけであり、オーバーステアリングにより車両の横滑りが発生する可能性があります。強いブレーキは避けてください。ブレーキが強いと、車両が真っ直ぐ滑る可能性があります。もう一度言いますが、操作を予測して安全に速度を下げ、スピンして制御を失う前に、時間と距離に余裕を持って車両全体のコントロールを維持するのが最善の方法です。

ATVを緩い雪で覆われた面の上で走行させると、動いている車両の後方乱気流に雪塵が巻き込まれ、むき出しになっているコンポーネント（ブレーキディスクのような可動部品など）に雪が接触、堆積し、溶けるようになります。水、雪、または氷は、ATVのブレーキシステムの応答時間に影響を与える場合があります。車速を下げる必要がないときであっても、ブレーキを頻繁にかけて氷や雪の堆積を防止し、ブレーキパッドやディスクを乾燥させてください。そのようにする一方で、リスクが低い走行状態においてグリップレベルのテストを行い、入力操作に対する車両の応答の仕方を理解するようにしてください。ブレーキペダル、フットレスト、フロアボード、ブレーキおよびスロットルレバーに雪や氷が付着していない状態を維持してください。シート、ハンドグリップ、ヘッドライト、テールライトおよびリフレクターの雪を頻繁に拭き落としてください。

積雪によって、岩や木の株などの障害物が隠れることがあります。それらが濡れた状態であれば、車両の身動きが取れなくなったり、ぬかるんだ雪の中で完全にトラクションを失ったりして、走行能力が完全に阻害される場合があります。遠い先を見て、そのような障害物の存在を示している場合がある目視可能な手がかりに、常に注意してください。疑わしい場合は避けるようにしてください。氷がATV、乗員、および積載された荷物を安全に支えられることが確認されるまでは、凍った水路上を走行しないでください。氷がスノーモービルを支えるのに十分な厚さであっても、同じ重量のATVを支えることができない場合がありますので注意してください。これは、スノーモービルのトラックやスキーに比べて、4つのタイヤの場合は荷重がかかる接触面積が小さくなるためです。

快適性を最大限して霜焼けにならないようにするには、走行時の天候に適した衣服やATV乗車時の保護具を必ず着用してください。

運転が終わるたびに車体およびすべての可動部品（ブレーキ、ステアリングコンポーネント、ドライブライン、操作装置類、ラジエーターファンなど）に堆積している雪や氷を除去するのは良い習慣です。水気のある雪は停止している間に氷に戻るため、次の走行前点検のときに取り除くのがより困難になります。

雪の中で走行しているときは、ブレーキによる停止能力が低下する場合があります。安全に速度を下げ、制動距離を長く取ってください。雪が付着していると、ブレーキコンポーネントや操作装置類の上に氷ができたり雪が堆積する場合があります。ブレーキを頻繁にかけて氷や雪の堆積を防いでください。

砂地での走行

砂地および砂丘での走行は、独特の走りを味わえるものですが、守るべき基本的な注意事項があります。濡れた深いまたは細かな砂は、トラクションを喪失させ、車両が横滑りしたり、落ちたり、「身動きがとれない」状態になる恐れがあります。こうした状況が発生した場合は、硬い土台となるものを探してください。もう一度言いますが、速度を下げ、状況に注意を払うことが最善の方法です。同乗者を乗せて走行しているときは、十分に速度を下げてください。

砂丘を走行する際は、車両にアンテナタイプの安全フラグを装備しておくことでよいでしょう。これにより、付近の砂丘にいる他の人から自身の位置がより見えやすくなります。別の人々の安全フラグが目に見える場合は、慎重に走行を続けてください。アンテナタイプの安全フラグは、自身の体に引っ掛かったり跳ね返ることがあるため、突き出た低い枝や障害物がある場所では使用しない

でください。同乗者を乗せて走行するときは、車両のハンドリング性能および安定性に影響する可能性があることを忘れないでください。

緩い石地での走行

緩い石地や砂利上での走行は、氷の上での走行と非常によく似ています。緩い石地や砂利は車両の操舵に影響し、特に高速時に横滑りや転倒を引き起こす（その結果、運転者と同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出される）可能性があります。

もう一度言いますが、速度を下げた状況に注意を払うことが最善の方法です。（2-UPモデルで）同乗者を乗せて走行するときは、さらに速度を下げてください。

また、制動距離に影響する場合があります。アクセルを「ふかしたり」横滑りを起こしたりすると、緩んだ石を、後方にある他の人の走路に向けて飛ばしてしまうこととなりますので、覚えておいてください。こうしたことを意図的に行わないでください。

荷物の運搬と作業の実施

車両を使用した作業

車両は、除雪や木材の牽引、荷物の運搬に至るさまざまな軽作業を行うのに役立ちます。認定Can-Am Off-roadディーラーでさまざまなアクセサリーを入手することができます。考えられる負傷を防止するため、アクセサリーに付属の説明書や警告に従ってください。車両の最大積載重を必ず守ってください。過積載は車両のコンポーネントに過剰な応力をかけるため、故障を引き起こす可能性があります。重い荷物を引いたり持ち上げたり、または車両を手で押す際、無理をしないようにしてください。

荷物の運搬

⚠ 警告

- 1-UPモデルの場合、総積載量が164 kg (360 lb) を超えているときは、絶対に90 km/h (55 MPH) を超えないでください。
- 2-UPモデルの場合、総積載量が132 kg (291 lb) を超えているとき、または同乗者を乗せているときは、絶対に90 km/h (55 MPH) を超えないでください。

同乗者 (2-UPモデルの場合) や運搬用ラックなどの車両に積載される貨物は、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響します。

運転者、同乗者、荷物およびアクセサリーの重量、ならびにトレーラー垂直荷重を含む車両の許容積載量を超えないでください。仕様を参照してください。

貨物が固定され、適切に搭載され、操作やライトの邪魔になっていないことを必ず確認してください。

荷物が滑ったり落下して事故を起こす可能性があることに注意してください。

荷物を横に突き出して載せるのは避けてください。茂みやその他の障害物に引っ掛かったり挟まれたりする恐れがあります。

⚠ 警告

ラックに荷物を搭載して車両を使用すると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響します。そのため、正しい積載および重量配分が重要です。

絶対に不適切に過負荷、牽引または荷物を積んだりしないでください。

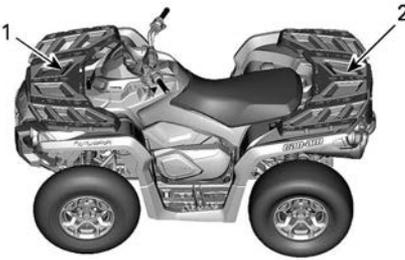
車両を運転する前に、荷物がラックに適切に載せられ、安全に固定されていることを必ず確認してください。

荷物を運搬したりトレーラーを牽引するときは、地形条件に応じて安全に速度を下げて、傾斜や粗い地形は避けてください。

特に、傾斜面上であったり同乗者 (2-UPモデルの場合) がいるときは、制動距離を長めに取ってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

できるだけ積荷を低くしてラックに固定し、重心が高くなることによる影響を抑えます。

ここで示した推奨事項に従わないと、車両のハンドリング性能に変化が生じて事故を引き起こす可能性があります。

| X xcモデル | その他の全モデル |
|--|--|
|  <p>1. 積載禁止 2. 最大積載量 : 90 kg (200 lb)</p> |  <p>1. 荷物の重量の1/3 2. 荷物の重量の2/3</p> |

| 最大荷重表 | | | |
|--------|------------------|-------------------|--|
| 許容総積載量 | 1-UPモデル | 235 kg (517 lb) | 運転者、同乗者、荷物およびアクセサリの重量、ならびにトレーラー垂直荷重を含む。 |
| | 2-UPモデル | 272 kg (600 lb) | |
| 前部荷重 | X xc | 積載禁止 | — |
| | その他の全モデル | 45 kg (100 lb) | (均等に搭載された状態) |
| 後部荷重 | 90 kg (200 lb) | | (均等に搭載された状態) リアラック、リアグローブボックスおよびトレーラー垂直荷重を含む。 |

下記に示すのは、適切な貨物の搭載例です。

| 貨物の搭載例 (許容総積載量が235 kg (517 lb) の車両) | | | | |
|--|----------------------|----------------------|--------------------|--------------------|
| 車両総重量 | 運転者と同乗者 | 荷物の積載量 | アクセサリ | ヒッチ荷重 |
| 235 kg (517 lb) | 100 kg (220 lb) | 105 kg (231 lb) | 10 kg (22 lb) | 20 kg (44 lb) |

カーゴラックへの搭載

荷物はできるだけ低く積んでください。荷物が高いと車両の重心が高くなり、安定性が低下します。荷物はできるだけラック上に均等に置いてください。

カーゴラックでは荷物を固定してください。車両の他の部分に荷物を固定しないでください。正しく固定されていないと、荷物が滑ったり落下したりして乗員や居合わせた人に当たる可能性があります。また、走行中にずれて、車両のハンドリング性能に影響することもあります。

高い位置にある物はオペレーターの視認性に影響し、事故の際に発射物のような動きをする場合があります。横に突き出した荷物は、茂みや木の枝などの障害物に引っ掛かったり挟まれたりする恐れがあります。荷物がブレーキライトを覆ったり邪魔したりしないようにしてください。荷物がカーゴラックから突き出ていないこと、および荷物が視界を遮っておらず、車両の操作装置と干渉していないことを確認してください。

注意

カーゴラックの容量を超えないでください。技術仕様を参照してください。

ガソリン容器や危険な液体をカーゴラックで運搬しないでください。

貨物のけん引

貨物をバンパーに取り付けて牽引しないでください。車両の転倒を引き起こす可能性があります。貨物をけん引するには、トレーラーヒッチ（取り付けられている場合）のみを使用してください。

緊急事態の場合、リカバリーフックを使用して立ち往生した車両を正常な状態に戻してください。リカバリーフックのセクションを参照してください。

チェーンやケーブルを使用して貨物をけん引するときは、発進する前にたるみがなく、けん引中は張力を保つようにしてください。

チェーンやケーブルを使用して貨物をけん引するときは、ブレーキを徐々にかけるようにしてください。貨物の慣性によって衝撃が発生することがあります。

貨物をけん引するときは、最大けん引荷重を守ってください。トレーラーの牽引のセクションを参照してください。

警告

たるみにより、チェーンやケーブルが破断したり反発したりすることがあります。

別の車両をけん引するときは、別の人に被けん引車を運転してもらうようにしてください。被けん引車に乗っている人は、車両のブレーキをかけたり、制御不能にならないようにステアリングホイールを操作する必要があります。

貨物をけん引しているときは速度を下げ、徐々に曲がってください。斜面や粗い地形を避けてください。険しい傾斜は避けてください。特に、傾斜面上で

あったり同乗者（2-UPモデルの場合）がいるときは、制動距離を長めに取ってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーの牽引

注意

トレーラーをけん引するにあたり、BRP 認定のリアヒッチが車両に正しく取り付けられている必要があります。

トレーラーを装備した車両の運転は、特に傾斜のあるスロープにおいて転倒するリスクが非常に高くなります。車両の後ろでトレーラーを使用する場合は、そのヒッチが車両側のヒッチに対応していることを確認してください。トレーラーが車両とともに水平になっていることを確認します。（一部の場合、車両側ヒッチに専用のエクステンションの取り付けが必要になる場合があります。）セキユリティーチェーンやケーブルを使用して、トレーラーを車両に固定します。

トレーラーをけん引しているときは速度を下げ、徐々に曲がってください。斜面や粗い地形を避けてください。険しい傾斜は避けてください。特に、傾斜面上であったり同乗者（2-UPモデルの場合）がいるときは、制動距離を長めに取ってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーに対して貨物を不適切に搭載すると、制御不能になる可能性があります。

牽引荷重や（ヒッチにかかる）垂直荷重を超えないでください。技術仕様を参照してください。

タンクにいくらかの重量がかかっていることを確認してください。

貨物がトレーラーに安全に固定され、荷重が均等に分散された状態であることを必ず確認してください。均等に分散されてバランスの取れたトレーラーであれば、運転も楽になります。

トレーラーのけん引時は、シフトレバーを必ずL（ローレンジ）にしてください。さらに、トルクを高めにする事で、ローレンジでの運転がリアタイヤへの荷重の増加を補助することになります。

停止または駐車するときは、車両およびトレーラーのホイールをブロックして動かないようにします。

貨物を積載したトレーラーを切り離すときは注意してください。貨物が自分自身や他の人の上に倒れる場合があります。

トレーラーけん引するときは、ヒッチ上のラベルに示されている最大けん引荷重を順守してください。

重要な製品ラベル (カナダ/米国)

セーフティハングタグ

この車両には、重要な安全情報が記載されている下げ札およびラベルが付いています。

この車両に乗る人は、必ずこの情報をよく読み理解した上で乗車してください。

G
一般用途モデル

このATVは
レクリエーションなどの多目的用です。

運転者のみ使用可 - 同乗禁止

16才未満運転禁止

ATVの運転技術を学べるトレーニングコースをご利用いただけます。詳細は最寄りのディーラーにお問い合わせください。

ATVの運転に関する地域の法規制については、最寄りのディーラーにご確認ください。

この品質表示票は、販売前に取り外すことはできません。
704903310

警告

ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。



使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



絶対に同乗者を運ばないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。

下記の場合は絶対に運転しないでください。

- ATVに関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両と衝突する可能性があります。
- 同乗者を乗せた状態 - 同乗者はバランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる危険が高まります。

必ず下記に従ってください。

- 正しい運転を心掛けて、曲がっているときや坂道や粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。

オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。すべての指示および警告に従ってください。

代表例 - 1-UPモデル

G
一般用途モデル

このATVは
レクリエーションなどの多目的用です。

16才未満運転禁止

**ATVの運転技術を学べるトレーニング
コースをご利用いただけます。**
詳細は最寄りのディーラーにお
問い合わせください。
必ず安全講習ビデオをご覧ください。

**ATVの運転に関する地域の法規制に
ついては、最寄りのディーラーにご
確認ください。**

この品質表示票は、販売前に取り外すことはできません。

代表例 - 2-UPモデル

警告

正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。



運転者および同乗者用に使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



どのような状況でも1名を超える同乗者を乗せてしないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。

下記の場合は絶対に運転しないでください。

- ATVに関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両と衝突する可能性があります。
- 同乗者が補助席にしっかりと固定されていないとき。

運転者は必ず下記に従ってください。

- 正しい運転を心掛けて、曲がっているときや坂道や粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。
- 同乗者を運んでいるときは速度を下げて十分に注意してください - 状況に応じ、同乗者を降車させてください。
- 同乗者がこのラベルと同乗者向け警告ラベルを読み、理解していることを確認してください。

オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。
すべての指示および警告に従ってください。

この品質表示票は、販売前に取り外すことはできません。 704903314

安全ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、オペレーター、同乗者(2UP)または周囲の人々の安全のために車両に貼付されています。

車両に貼付されている警告ラベルは、車両に常設されるべきものと考えてください。

ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定 Can-Am Off-Road ディーラーまでお問い合わせください。

注記:

このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

全般的警告ラベル

1-UPモデル

警告

ATV を正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。



使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



絶対に同乗者を選ばないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態で絶対に使用しないでください。

下記の場合は **絶対に運転しないで** ください。

- ATV に関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況によって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両との衝突を引き起こす可能性があります。
- 同乗者を乗せた状態 - 同乗者はバランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる危険が高まります。

次のことを **必ず** 確認してください。

- 必ず正しい運転を心掛けて、曲がり道や坂道、粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。

運転する前にすべての警告ラベルを読んで理解し、オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、QRコードリンクを使用するか Can-am ウェブサイトにアクセスして安全講習ビデオをご覧ください。

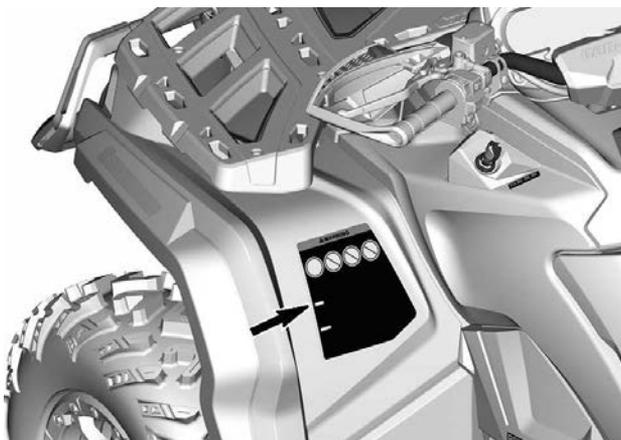
オペレーターズガイドの場所を確認し、読みます。

すべての指示および警告に従ってください。

特許情報 : www.brp.com/en/about-brp/patents.html




8010_JA



2-UPモデル

警告

ATV を正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。



運転者および同乗者用に使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



どのような状況でも1名を超える同乗者を乗せないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。

下記の場合は **絶対に運転しない** してください。

- ATV に関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両との衝突を引き起こす可能性があります。
- 同乗者が助手席にしっかりと固定されていないとき。

運転者は **必ず** 下記に従ってください。

- 正しい運転を心掛けて、曲がっているときや坂道や粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。
- 同乗者を運んでいるときは速度を下げ十分に注意してください - 状況に応じ、同乗者を降車させてください。
- 同乗者がこのラベルと同乗者向け警告ラベルを読み、理解していることを確認してください。

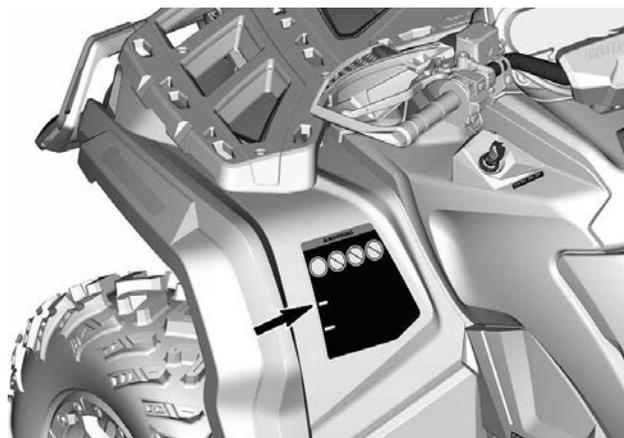
運転する前にすべての警告ラベルを読んで理解し、オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、QR コードリンクを使用するか Can-am ウェブサイトにアクセスして安全講習ビデオをご覧ください。

オペレーターズガイドの場所を確認し、読みます。
すべての指示および警告に従ってください。

特許情報: www.brp.com/en/about-brp/patents.html



8014_JA

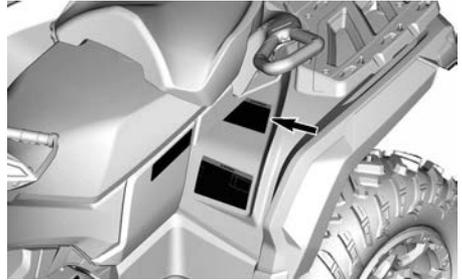


同乗者警告ラベル

1-UPモデル



2-UPモデル



同乗席の取り付け - 警告ラベル

2-UPモデル

⚠ 警告

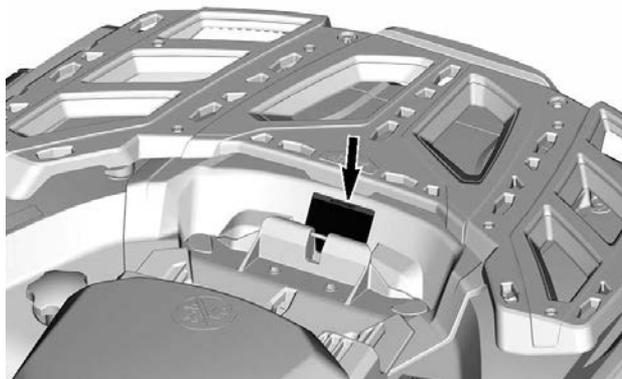
乗車前に助手席が正しく取り付けられていることを必ず確認してください。

助手席の取り付け方法

- ラッチレバーを座席前方に引いて、ラッチレバーが開位置になっていることを確認します。
- 前方への動きを利用して、座席の両方の前側タブを車両のアンカーハウジングに挿入します。
- 下方方向に回してリヤラッチを掛けます。
- ラッチレバーを後方へ押し、座席を所定位置に固定します。
- 座席が所定位置にしっかり固定されていることを確認してから使用してください。



詳細はオペレーターズガイドを参照してください。



タイヤ圧力と最大荷重 - 警告ラベル

1-UPモデル

警告

不適切なタイヤ空気圧や過積載は制御不能の原因となり、重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

車両にかかる荷重に応じた適切なタイヤ圧を **常に** 維持してください。表を参照してください。

絶対に タイヤの空気圧を不十分な状態に **しないで** ください。リムからタイヤが外れる場合があります。

絶対に 車両の積載量235 kgを超え **ないで** ください。

絶対に 90 km/hを超え **ないで** ください（総積載量が164 kgを超える場合）。

ATVへの積載およびトレーラーのけん引

- 貨物の積載やトレーラーのけん引は安定性やハンドリングに影響します。貨物はラックに均等に載せてください。
- 貨物を載せたリトレーラーをけん引するときは
 - 速度を下げてください。
 - 十分な停止距離を確保してください。
 - 斜面や粗い地形を避けてください。

冷間時のタイヤ空気圧

| | |
|------|----------|
| フロント | 68.9 kPa |
| リア | 68.9 kPa |



7614_JA



2-UPモデル

警告

不適切なタイヤ空気圧や過積載は制御不能の原因となり、重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

車両にかかる荷重に応じた適切なタイヤ圧を常に維持してください。表を参照してください。

絶対にタイヤの空気圧を不十分な状態にしないでください。リムからタイヤが外れる場合があります。運転者、貨物、アクセサリー、およびトレーラーのヒッチ荷重を含む車両の積載量272 kgを超えてください。

絶対に90 km/hを超えてください（総積載量が132 kgを超える場合）。

同乗者がいるときに90 km/hを超える速度で絶対に走行しないでください。

ATVへの積載およびトレーラーのけん引

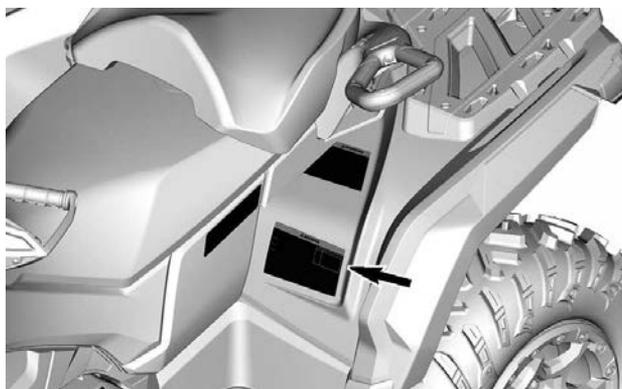
- 貨物の積載やトレーラーのけん引は安定性やハンドリングに影響します。貨物はラックに均等に載せてください。
- 貨物を載せたりトレーラーをけん引するときは
 - 速度を下げてください。
 - 十分な停止距離を確保してください。
 - 斜面や粗い地形を避けてください。

冷間時のタイヤ空気圧

| | |
|------|----------|
| フロント | 68.9 kPa |
| リア | 68.9 kPa |



7617_JA



最大ラック荷重 - 警告ラベル

X xcモデル



警告

リアキャリアや車両前側に **絶対に** 同乗者を乗せ **ないで** ください。

フロント側最大積載量：積載禁止。

リア側最大積載量：均等に分散させた状態で91 kg (該当の場合は、トレーラーのヒッチ荷重を含む)

8992_JA

X xc以外の全モデル



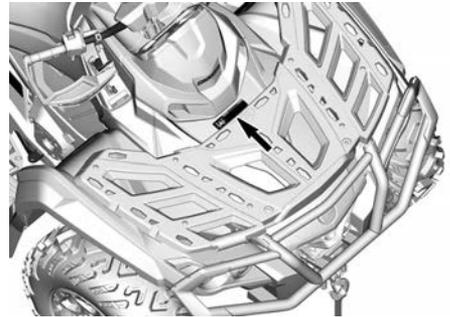
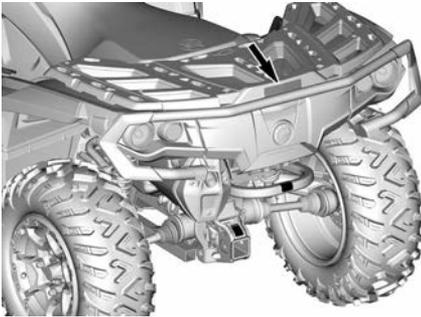
警告

絶対に このキャリアで同乗者を運ば **ないで** ください。

フロント側最大積載量：均等に載せた状態で45 kg

リア側最大積載量：均等に分散させた状態で91 kg (該当の場合は、トレーラーのヒッチ荷重を含む)

8992_JA



推奨年齢 - 警告ラベル

1-UPモデル

警告



16才未満の人がこのATVのを運転すると、運転者が重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。

16才未満の人は **絶対に** このATVを運転 **しないで** ください。

704905677_JA

2-UPモデル

警告



16才未満の人がこのATVのを運転すると、運転者および同乗者が重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。

16才未満の人は **絶対に** この車両を運転 **しないで** ください。

704905678_JA



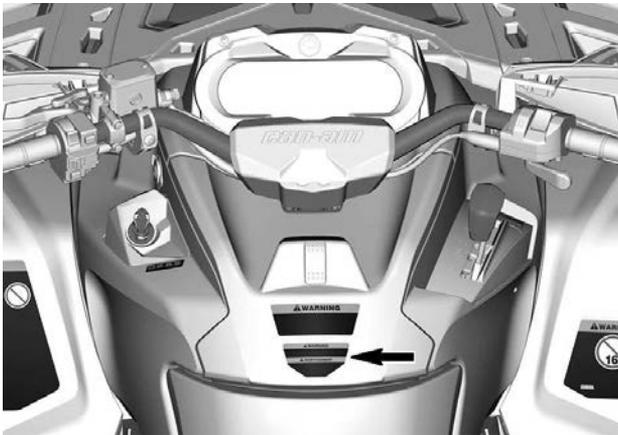
公道での使用禁止 - 警告ラベル

⚠ 警告

この車両は全地形対応車であり、公道での使用
を意図したものではありません。 704905680_JA

⚠ WARNING

This vehicle is an all terrain vehicle and is
not intended for use on public
roads.

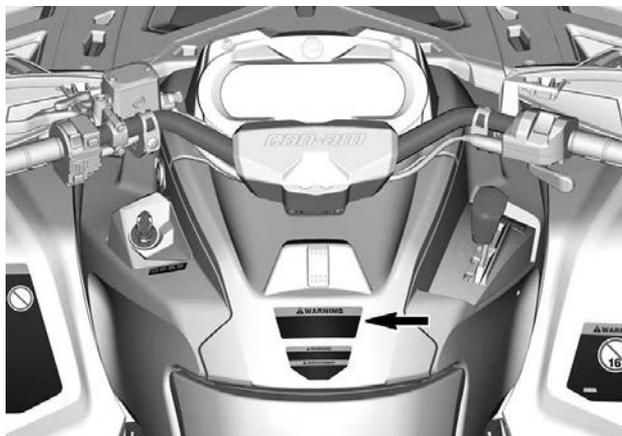


車両性能 - 警告ラベル

警告

このATVについてよく理解してください。この車両は、これまで運転経験がある他のATVの性能を上回っている場合があります。
本製品は、オフロード専用の高性能ATVです。経験の浅い運転者は危険を見落とし、さまざまな地形条件で見られるこのATV特有の動作に驚く可能性があります。

704905707_JA



シフト手順 - 注意ラベル

通知

- 必ず車両を停止してからレバーをシフトしてください。
- 必ずフットブレーキをかけてからパーキング (P) またはニュートラル (N) からシフトしてください。

704905695_JA



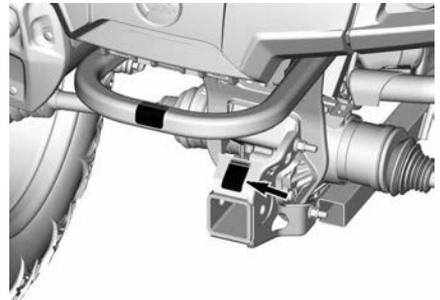
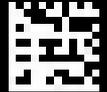
牽引およびヒッチ荷重 - 警告ラベル

警告

トレーラーに対して貨物を適切に搭載しないと制御不能となり、重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

- 最大けん引荷重 (ブレーキ未作動時または慣性ブレーキ作動時) :
750 kg
- 最大垂直荷重 (ブレーキ未作動時または慣性ブレーキ作動時) :
75 kg

7406_JA



ラックを利用した貨物の牽引 - 警告ラベル

警告

この位置やラゲージラックに取り付けて貨物をけん引しようとししないでください。

車両が転倒する恐れがあります。

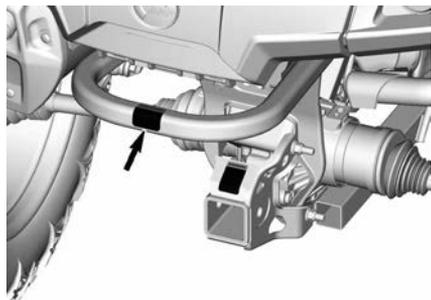
貨物を牽引するには、必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用してください。

704905698_JA

クーラント高温 - 警告ラベル

警告

高温時は開けないでください。



やけど注意 - 警告ラベル



コンプライアンスハンガタグ

米国カリフォルニア州規制 「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ 警告: オフロード車両の操作や保守、メンテナンスは、エンジンの排気や一酸化炭素、フタラート、それに鉛などの化学物質の暴露を受ける可能性があり、これらはカリフォルニア州法で発がん性や催奇性、その他の生殖に関する危害の原因となることが知られています。

そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳しい情報は
[www.P65Warnings.ca.gov/
products/passenger-vehicle](http://www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle)
を参照してください。



704906872_JA

EPA認証

8816_JA

車両エンジンの説明:

米国環境保護庁認証

NER (正規化排出率) =

0 ~ 10の段階の中で最もきれいなのは0です
*販売前に取り外さないでください

VEHICLE ENGINE DESCRIPTION:

EPA CERTIFIED

NER (NORMALIZED EMISSION RATE) =

ON A 0 TO 10 SCALE, 0 BEING THE CLEANEST
*NOT TO BE REMOVED PRIOR TO SALE



適合ラベル

これらのラベルは、車両の適合状態を示しています。

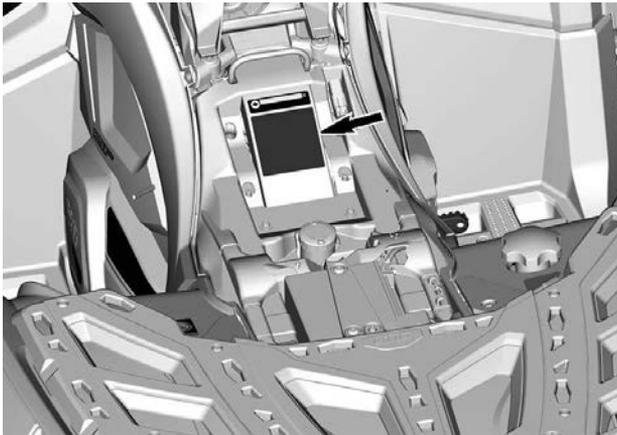
排出ガス制御に関する情報 (代表例)

CARBおよびEPAモデル

| VEHICLE EMISSIONS CONTROL INFORMATION | | EC 121 | |
|--|---|-----------|--|
| BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND CONFORMS TO U.S. EPA & CALIFORNIA EMISSIONS REGULATIONS FOR ALL TERRAIN VEHICLE. RENSEIGNEMENTS SUR LE DISPOSITIF ANTIPOLLUTION DE VEHICULE EST CERTIFIE POUR FONCTIONNER A L'ESSENCE SANS PLOMB ET EST CONFORME AUX NORMES DE L'EPA POUR LES VTT. | | | |
| ENGINE FAMILY / FAMILLE DE MOTEUR | PERMEATION FAMILY / FAMILLE DE PERMEATION | | |
| CERTIFICATION STANDARDS (FEL) NORMES DE CERTIFICATION (LEP) | | | |
| DISPLACEMENT / CYLINDREE | | | |
| EMISSION CONTROL SYSTEM SYSTEME DE CONTROLE DES EMISSIONS | | | |
| THIS VEHICLE CONFORMS TO CALIFORNIA EVAPORATIVE EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE AND IS CERTIFIED TO 1.5 TGG GRAM PER DAY EVAPORATIVE EVAP FAMILY MODEL | | | |
| SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SCHEDULE AND FUEL, OIL AND SPARK PLUG SPECIFICATIONS. VOIR LE CALENDRIER D'ENTRETIEN ET LES SPECIFICATIONS D'ESSENCE, D'HUILE ET DE BOUGIE D'ALLUMAGE DANS LE GUIDE DE L'OPERATEUR. | | | |

EPAのみのモデル

| EMISSION CONTROL INFORMATION | | EC 121 | |
|---|------------------------------------|-----------|--|
| BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND CONFORMS TO U.S. EPA EMISSIONS /EVAP REGULATIONS FOR VEHICLES CERTIFIED FOR SALE IN ALL U.S. STATES EXCEPT CALIFORNIA. | | | |
| ENGINE FAMILY | FAMILLE DE MOTEUR | | |
| PERMEATION FAMILY | FAMILLE DE PERMEATION | | |
| CERTIFICATION STANDARD (FEL) | LIMITE DES EMISSIONS DE LA FAMILLE | | |
| ENGINE DISPLACEMENT | CYLINDREE | | |
| EXHAUST EMISSION CONTROL SYSTEM | SYSTEME DE CONTROLE DES EMISSIONS | | |
| RENSEIGNEMENTS SUR LE DISPOSITIF ANTIPOLLUTION DE VEHICULE EST CERTIFIE POUR FONCTIONNER A L'ESSENCE SANS PLOMB ET A EST CONFORME AUX NORMES DE L'EPA AU NIVEAU DES REGLEMENTATIONS DE L'ECHEFFEMENT ET DE L'EVAPORATION POUR LES VTT. VOIR LE PROGRAMME D'ENTRETIEN DANS LE GUIDE DU CONDUCTEUR BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. | | | |



ANSI/SVIA適合情報

Bombardier Recreational Products Inc. は、この
ATV が ANSI/SVIA-1-2017 規格に準拠しており、
BRP が提出したATVアクションプラン、および米
国消費者製品安全委員会に申請したファイルに基
づくものであることを証明します。

80774_JJA



技術情報ラベル

エアフィルターのメンテナンス

エアフィルターのメンテナンス

オペレータースガイドで規定されているようにメンテナンスを行う必要があります。より過酷な（粉塵の多い）条件であれば、フィルターメンテナンスの回数を増やす必要があります。

AIR FILTER MAINTENANCE

MAINTENANCE MUST BE PERFORMED AS SPECIFIED IN THE OPERATOR'S GUIDE. AIR FILTER MAINTENANCE SHOULD INCREASE IN FREQUENCY IN MORE SEVERE (DUSTY) CONDITIONS.

シート下に配置

推奨燃料



1000Rエンジン - フュエルタンクキャップ付近

重要な製品ラベル (カナダ/米国以外)

この車両には、重要な安全情報が記載されているラベルが付いています。

この車両に乗る人は、必ずこの情報をよく読み理解した上で乗車してください。

安全ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、オペレーター、同乗者(2UP)または周囲の人々の安全のために車両に貼付されています。

車両に貼付されている警告ラベルは、車両に常設されるべきものと考えてください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定 Can-Am Off-Road ディーラーまでお問い合わせください。

注記：

このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

一般警告ラベル

警告

- ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。すべての指示および警告に従ってください。
- 必ず認定されたヘルメットおよび保護具を着用してください。
- 必ずゴーグルを着用してください。
- オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。すべての指示および警告に従ってください。
- 絶対に公道で使用しないでください。
- 1-UPモデルで同乗者を運んだり、2-UPモデルで1名を超える同乗者を運んだりしないでください。
- 薬物やアルコールを採取した場合は、決して乗船しないでください。

1-UPモデル







安全講習ビデオ



<https://can-am.brp.com/off-road/safety>





特許情報: www.brp.com/en/about-brp/patents.html 8012_JA

2-UPモデル







安全講習ビデオ

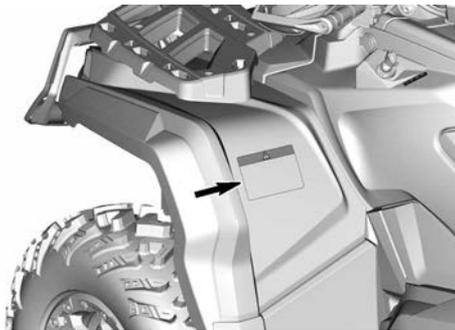


<https://can-am.brp.com/off-road/safety>





特許情報: www.brp.com/en/about-brp/patents.html 8013_JA

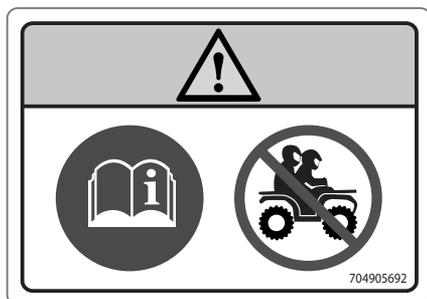


同乗者警告ラベル

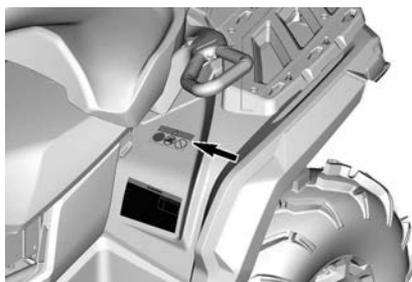
⚠ 警告

- オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。
- 1-UPモデルで同乗者を運んだり、2-UPモデルで1名を超える同乗者を運んだりしないでください。
- 2-UPモデルの同乗者は、使用が認められたヘルメットおよび保護具を着用してください。
- 2-UPモデルの同乗者は、薬を服用したりアルコール類を摂取した場合は絶対に乗らないでください。

1-UPモデル



2-UPモデル

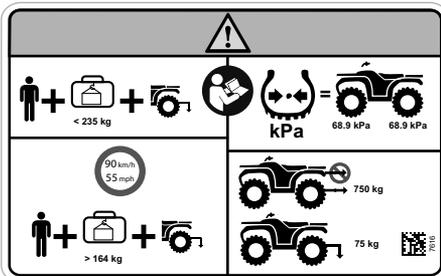


タイヤ圧力と最大荷重 - 警告ラベル

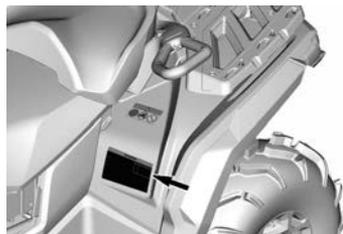
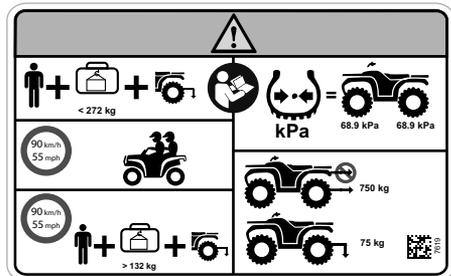
⚠ 警告

- オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。不適切なタイヤ空気圧や過積載は制御不能の原因となり、重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。
- 表示されている適切なタイヤ空気圧を維持してください。
- 1-UPモデルでは、運転者、荷物、アクセサリ、およびトレーラーのヒッチ荷重を含め、積載量が235 kg (517 lb) を超えないようにしてください。
- 2-UPモデルでは、運転者、荷物、アクセサリ、およびトレーラーのヒッチ荷重を含め、積載量が272 kg (600 lb) を超えないようにしてください。
- 必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用して貨物を牽引してください。
- 絶対に最大けん引重量750 kg (1,654 lb) を超えないでください。
- 絶対に最大ヒッチ荷重75 kg (165 lb) を超えないでください。
- 1-UPモデルの場合、総積載量が164 kg (360 lb) を超えているときは、絶対に90 km/h (55 MPH) を超えないでください。
- 2-UPモデルの場合、総積載量が132 kg (291 lb) を超えているとき、または同乗者を乗せているときは、絶対に90 km/h (55 MPH) を超えないでください。

1-UPモデル



2-UPモデル

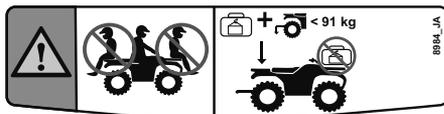


最大ラック荷重 — 警告ラベル

X xcモデル

警告

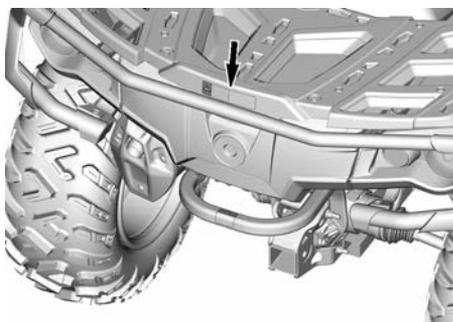
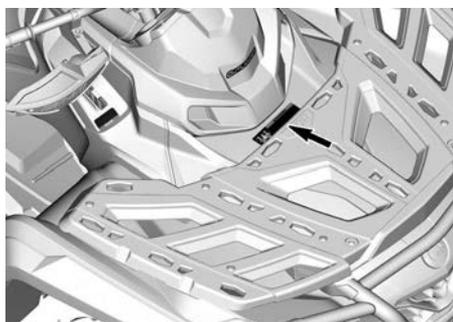
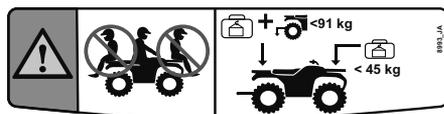
- 絶対にこのキャリアで同乗者を運ばないでください。
- フロント側最大積載量：積載禁止
- リア側最大積載量：均等に分散させた状態で45 kg (100 lb)
(該当の場合は、トレーラーのヒッチ荷重を含む。)



その他の全モデル

警告

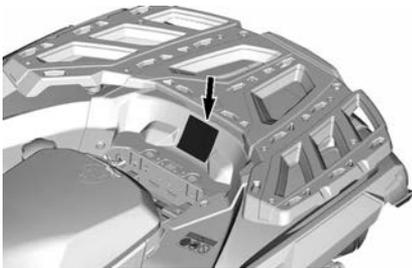
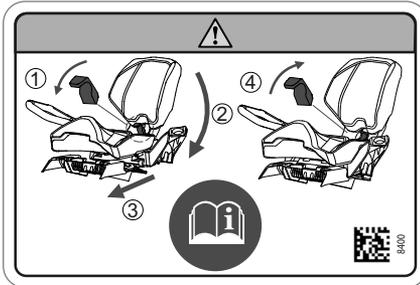
- 絶対にこのキャリアで同乗者を運ばないでください。
- フロント側最大積載量：均等に載せた状態で45 kg (100 lb)
- リア側最大積載量：均等に分散させた状態で91 kg (200 lb)
(該当の場合は、トレーラーのヒッチ荷重を含む。)



同乗者シートの取り付け - 警告ラベル

警告

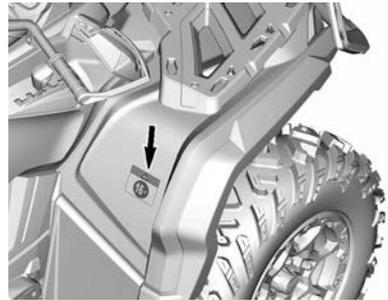
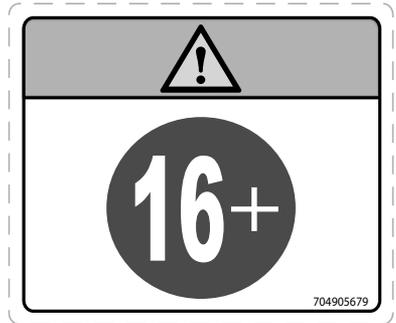
1. ラッチレバーを座席前方に引いて、ラッチレバーが開位置になっていることを確認します。
2. 前方への動きを利用して、座席の両方の前側タブを車両のアンカーハウジングに挿入します。
3. 下方向に回してリアラッチを掛けます。
4. ラッチレバーを後方へ押し、座席を所定位置に固定します。



推奨年齢 - 警告ラベル

警告

16才未満の人がこのATVを運転すると、運転者 (2-UPモデルの場合は運転者および同乗者の双方) が重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。
16才未満の場合は絶対にこのATVを運転しないでください。

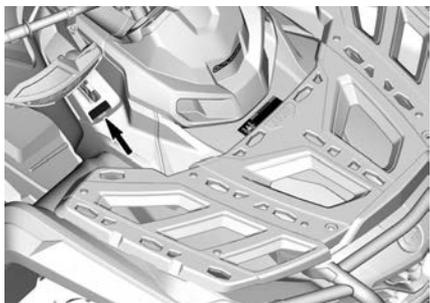


シフト手順 - 注意ラベル

注意

必ず車両を停止してからレバーをシフトしてください。必ずフットブレーキをかけてからパーキング (P) またはニュートラル (N) からシフトしてください。

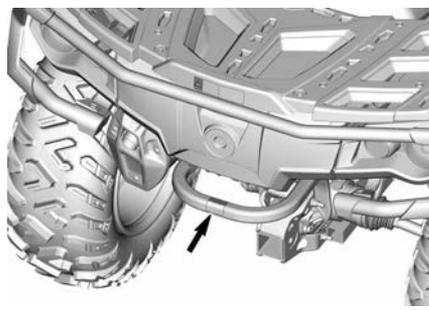
注意



ラックまたはバンパーを利用した貨物の牽引 - 警告ラベル

警告

バンパーやラゲージラックに取り付けて貨物を牽引しようとししないでください。車両が転倒する可能性があります。貨物を牽引するには、必ずトローラーヒッチまたはリカバリフックを使用してください。



クーラント高温 - 警告ラベル

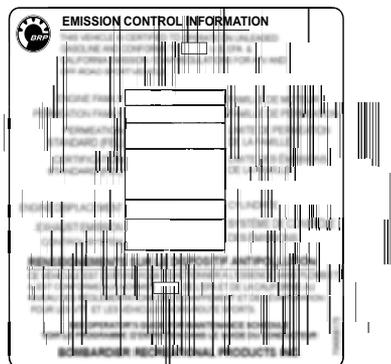


やけど注意 - 警告ラベル



適合ラベル

これらのラベルは、車両の適合状態を示しています。



代表例 - シート下(該当の場合)



燃料キャップ付近のラベル

技術情報ラベル

エアフィルターのメンテナンス

エアフィルターのメンテナンス

オペレータースガイドで規定されているようにメンテナンスを行う必要があります。より過酷な(粉塵の多い)条件であれば、フィルターメンテナンスの回数を増やす必要があります。

AIR FILTER MAINTENANCE

MAINTENANCE MUST BE PERFORMED AS SPECIFIED IN THE OPERATOR'S GUIDE. AIR FILTER MAINTENANCE SHOULD INCREASE IN FREQUENCY IN MORE SEVERE (DUSTY) CONDITIONS.

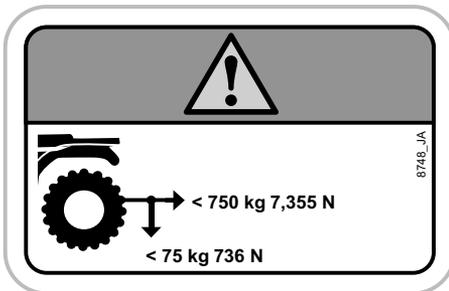
シート下に配置

推奨燃料



1000Rエンジン - フュエルタンクキャップ付近

トレーラーヒッチの情報



トレーラーヒッチ上に配置 (装備されている場合)

安全面での欠陥の報告

カナダでは、衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、直ちにカナダ運輸省 (Transport Canada) およびBombardier Recreational Products Inc.にご連絡ください。

カナダ運輸省は他のドライバーから似たような苦情を受け取った場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と是正キャンペーンを実施する場合があります。ただし、カナダ運輸省はあなたと、あなたのディーラーまたはBombardier Recreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

カナダ運輸省窓口：



819-994-3328 (ガティノー-オタワ地域または国際電話)
無料電話：1 800-333-0510 (カナダ)



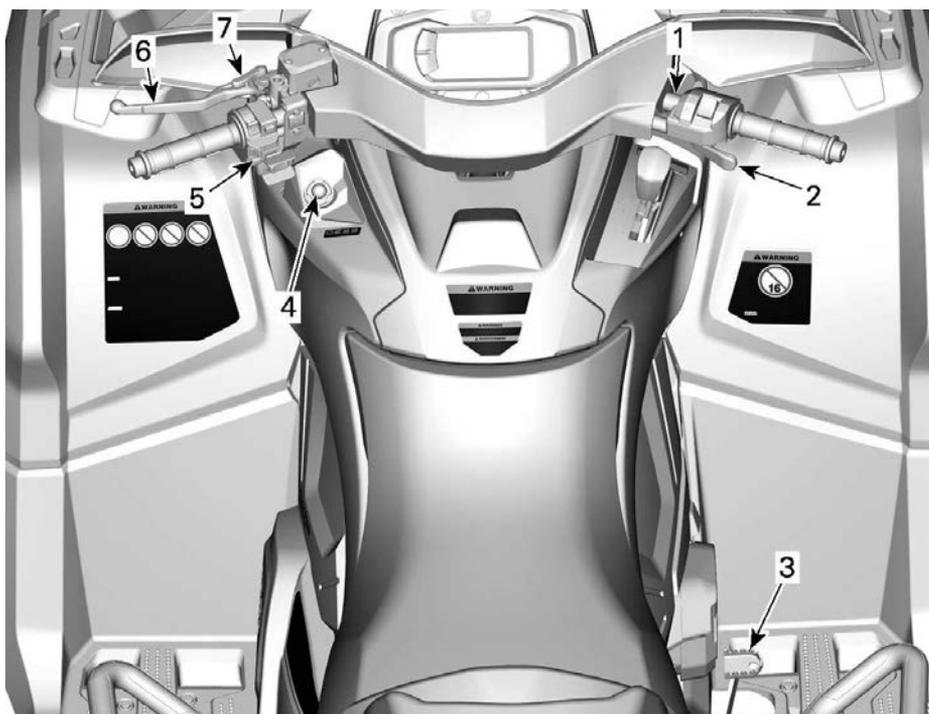
Transport Canada - ASFAD
330 Sparks Street
Ottawa, ON
K1A 0N5



<https://www.tc.gc.ca/recalls>

車両についての情報

基本コントロール



1. ハンドルバー
2. スロットルレバー
3. ブレーキペダル
4. RFD.E.S.S.ポストまたはイグニッションスイッチ
5. エンジンストップスイッチ
6. ブレーキレバー
7. パーキングブレーキレバー

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

ハンドルバー

ハンドルバーは車両の操舵を制御します。

ハンドルバーが右または左に回転するとき、フロントホイールがその方向を向いて車両を操舵します。

⚠ 警告

高速で後退しながら旋回すると、安全と制御の喪失につながる恐れがあります。

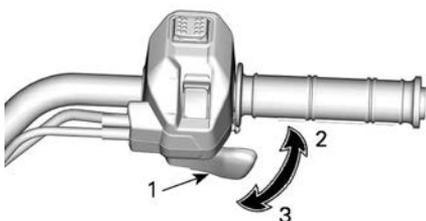
スロットルレバー

スロットルレバーはハンドルバーの右側に設けられています。

スロットルレバーはエンジン回転数を制御します。

車両速度を上げるか維持するには、右親指でスロットルレバーを押します。

車両速度を下げるにはスロットルレバーを放します。

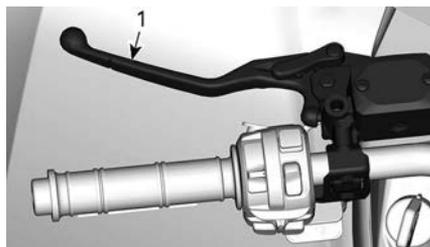


代表的な例

1. スロットルレバー
2. 加速時
3. 減速時

ブレーキレバー

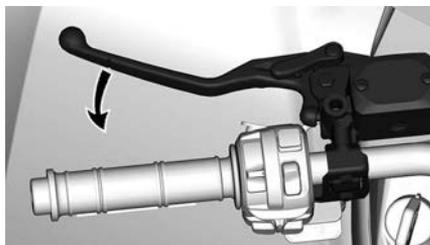
ブレーキレバーはハンドルバーの左側に設けられています。



1. ブレーキレバー

ブレーキレバーの機能は、速度を下げたり車両を停止することです。

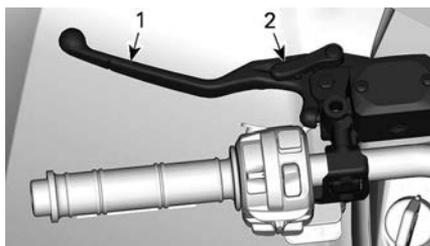
ブレーキレバーを握ると、フロントおよびリアブレーキがかかります。



ブレーキの効果はレバーを握る力に比例します。

パーキングブレーキレバー

パーキングブレーキレバーはハンドルバーの左側にあります。



代表的な例

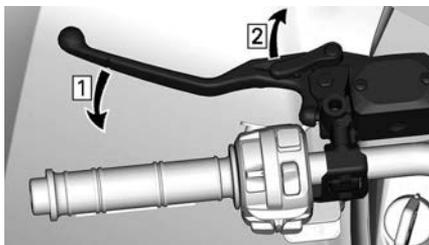
1. ブレーキレバー
2. パーキングブレーキレバー

パーキングブレーキの機能は、駐車時に車両が動かないようにすべてのホイールに対してブレーキをかけておくことです。

⚠ 警告

車両を運転していないときは、必ずパーキングブレーキをかけてシフトレバーを「パーキング」位置にしてください。

パーキングブレーキをかけるには下記の手順に従います：



1. ブレーキをかける
2. ブレーキをロックする

注記：
パーキングブレーキレバーはいくつかの位置にセットできます。

注意

パーキングブレーキがかかっているときは、車両が所定位置に確実に静止していることを確認してください。

パーキングブレーキは、ブレーキレバーを握るだけで解除できます。ブレーキレバーは静止位置に戻らなければなりません。

⚠ 警告

パーキングブレーキが解除されていることを確認してから車両を運転してください。走行中にパーキングブレーキがかかったままだと、ブレーキシステムが損傷して制動能力の喪失や火災を引き起こす場合があります。

ブレーキペダル

ブレーキペダルは右側フットレストにあります。



1. ブレーキペダル

ブレーキペダルを踏むとリアブレーキがかかります。

放すと、ブレーキペダルは元の位置にもどらなくてはなりません。

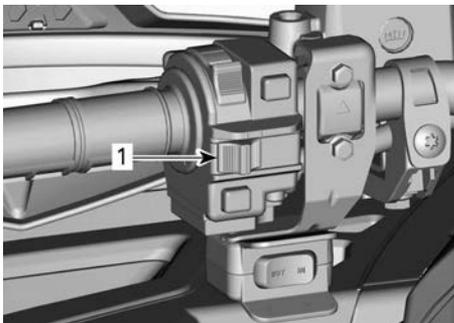
ブレーキの効果はペダルに加える力に比例します。

注記：
4WDになっているときは、ブレーキもドライブトレインを通じてフロントホイールに影響を与えます。

ブレーキレバーシステムが故障した場合は、ブレーキペダルを踏むことでリアブレーキを使用できます。

エンジンストップスイッチ

エンジンストップスイッチは、多機能スイッチの中央にあります。



1. エンジンストップスイッチ

このスイッチは、エンジン停止用および非常操作用として使用できません。

エンジンを停止するには、スロットルレバーを完全に放し、エンジンストップスイッチを停止位置にします。

イグニッションキーをOFF位置に回す、またはD.E.S.S.キーを取り外すことでエンジンを停止することもできますが、エンジンストップスイッチを停止位置にすることでエンジンを停止するよう推奨します。

RF D.E.S.S.キーおよびポスト

D.E.S.S.キー

これらのキーには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。

D.E.S.S.システムは、キーコードを読み取り、キーを認識できる場合だけエンジンの始動を許可します。

この車両は、2種類のキープログラムを使って操作できます。

- ノーマル
- Performance

概要については、認定 Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

車両には、パフォーマンスキーが1本付属しています。

注記：

必要に応じて、予備のキーをディーラーからご購入いただけます。

警告

パフォーマンスキーまたはノーマルキーを使用すると、重傷や死亡事故につながる横転、転倒、衝突、および制御不能な状態を引き起こす可能性があります。通常のキーの使用が、オペレーターの準備や要件の満足、慎重な運転の代わりになることはありません。

パフォーマンスキー

パフォーマンスキーにより、ユーザーはエンジンの最大トルクや車両の最高速度を発揮できるようになります。

このキーは、きびきびしたスロットルレスポンスを好む運転者にとって、または高速や急加速が適した環境において役立つ場合があります。

例えば、広く開かれた直線のトレイルでは、運転者がパフォーマンスキーを好む場合があります。

ノーマルキー

ノーマルキーの場合は車両の加速度が制限され、車両速度は70 km/h (43 MPH) に制限されます。

警告

急な下り坂では、エンジン回転数リミッターがあっても、この速度の超過を防止できない場合があります。

このキーは、徐々に加速することを好むオペレーターや、最高速度や急加速が望まれない環境にいるオペレーターにとって有用となる場合があります。

たとえば、細くてカーブの多いトレイルでは、オペレーターがノーマルキーを好む場合があります。

D.E.S.S.柔軟性

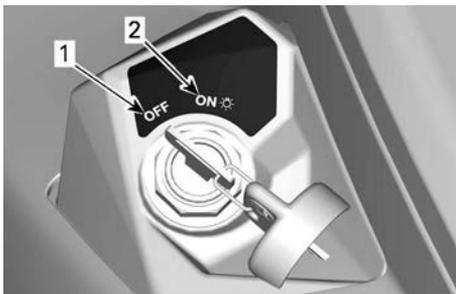
認定 Can-Am Off-Roadディーラーは、車両のD.E.S.S.を、最多8個の異

なるキーを受け付けるように設定できます。

2個以上のD.E.S.S.を装備するCan-Am車両を所有している場合、認定Can-Amディーラーは、そのそれぞれが他の車両のD.E.S.S.キーを受け付けるように設定できます。

イグニッションスイッチおよびキー

イグニッションスイッチは、センターパネル左側、ハンドルバーの下にあります。



イグニッションスイッチの位置

1. OFF
2. ON (ライト点灯)

OFF

キーはこの位置でしか挿入または引き抜くことができません。

OFFに回すと車両の電装システムはオフになります。

エンジンはイグニッションスイッチをOFFに回すことで停止することができます。

イグニッションキーをOFF位置に回すことでエンジンを停止することもできますが、エンジンストップスイッチを停止位置にすることでエンジンを停止するよう推奨します。

キーをOFF位置に回すと、車両の電装システムは数秒経ってから停止します。

ON (ライト点灯)

キーをこの位置に回すと、車両の電装システムが起動します。

ゲージが起動されるはずですが。

車両のライトがONになります。

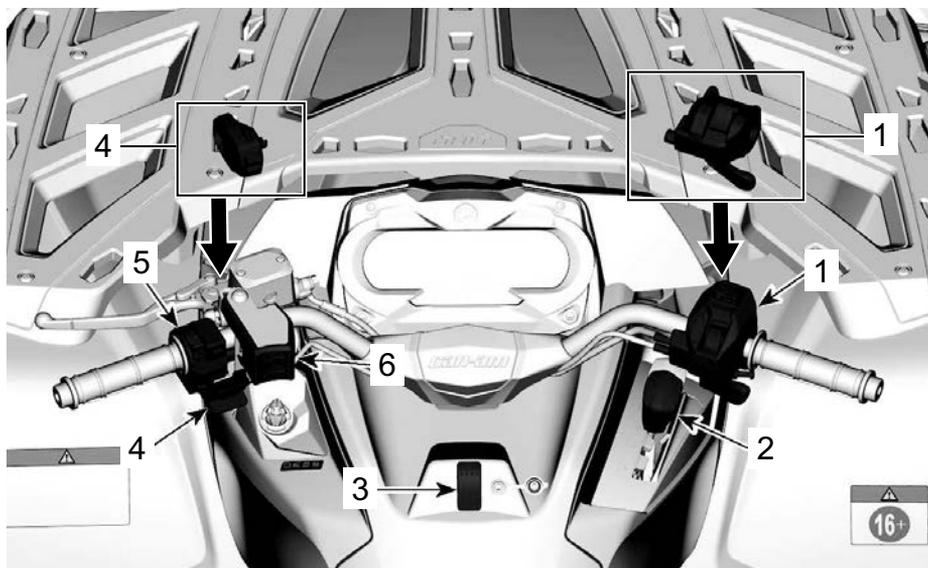
これでエンジンを起動することができます。

ベーシックイグニッションキー

車両には、ベーシックイグニッションキーが2本付属しています。

二次コントロール

機能の一部はご使用のモデルに該当しない、またはオプションである可能性があります。



1. スロットルレバーコントロールハウジング
2. シフターレバー
3. トリップ/メニュースイッチ
4. ウィンチスイッチ
5. 多機能スイッチ
6. 運転者用グリップヒーターおよびサムヒーターのスイッチ

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

スロットルレバーコントロールハウジング

メカニカル式スロットル制御 (MTC)

トラクションモードの変更
2WDまたは4WDモードにする前に

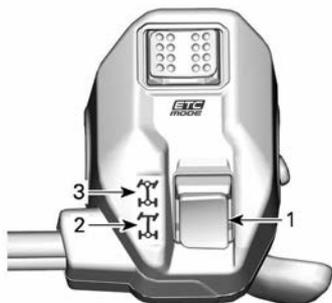
1. 車両を完全に停止します。
2. エンジンをアイドリングさせます。
3. 希望するモードを選択してください。

注意

車両が動いているときに2WD/4WDセレクターを使用すると、フロントディファレンシャルが損傷する場合があります。

電子スロットル制御 (ETC)

Visco-Lokフロントディファレンシャル装備モデル



1. 2WD/4WDセレクター
2. 2WD位置
3. 4WD位置

トラクションモードの変更
2WDまたは4WDモードにする前に

1. 車両を完全に停止します。
2. エンジンをアイドリングさせます。
3. 希望するモードを選択してください。

注意

車両が動いているときに2WD/4WDセレクターを使用すると、フロントディファレンシャルが損傷する場合があります。

2WDモード

このモードでは、エンジンの出力がリアホイールのみに伝達されます。

2WDモードにするには、セレクターを押し下げます。



2WDモード - 代表例

4WDモード

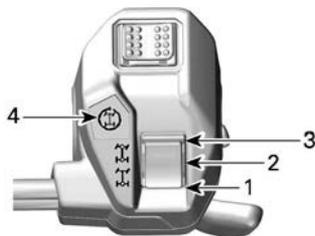
エンジンの出力は、フロントおよびリア両方のホイールに均等に配分されます。

4WDモードにするには、セレクターを押し上げます。



4WDモード - 代表例

Visco-4Lokフロントディファレンシャル装備モデル



1. 2WD位置
2. 4WD位置
3. 4WDLock位置
4. 4WDLock表示

トラクションモードの変更

2WDまたは4WDモードにする前に

1. 車両を完全に停止します。
2. エンジンをアイドリングさせます。
3. 希望するモードを選択してください。

4WDLockモードの作動または解除方法

1. 4WDモードが選択されていることを確認します。
2. 速度を30 km/h (20 MPH) 未満に下げます。
3. スロットルを放します。
4. セレクターを上方向いっぱいに一瞬押します。
5. 4WDLockモードを解除するには、セレクターを上方向にもう一度押します。

4WDLockを作動させると、スロットルレバーコントロールハウジングの表示とデジタルディスプレイ上のアイコンが点灯し、ブザーが鳴ります。

注記：

表示が点滅してから点灯に変った場合、リクエストが拒否されています。速度を30 km/h (20 MPH) 未満に下げ、スロットルを放してからもう一度お試しください。

2WDモード

このモードでは、エンジンの出力がリアホイールだけに伝達されます。

2WDモードにするには、セレクターを押し下げます。



2WDモード - 代表例

4WDモード

エンジンの出力は、フロントおよびリア両方のホイールに均等に配分されます。

フロントホイール間での伝達は、Visco-Lokシステムを用いてトラクションに合わせて行われます。

4WDモードにするには、中央にあるセレクターを動かします。



4WDモード - 代表例

4WDLockモード

警告

急な方向転換は、制御不能な状態に陥ったり負傷したりする原因になります。
カーブに入る前またはカーブを走行しているときは、絶対に4WDLockモードにしないでください。
4WDLockモードになると、車両挙動が変わります。
回転半径も増加します。

このモードは、フロントディファレンシャルをロックしてトラクションを高め、一定の状況（車両がぬかるみや軟質の土壌で立ち往生しているなど）から車両を脱出させるために設けられたものです。

エンジンの出力は、4つのホイールに均等に配分されます。

4WDLockモードでは、スピードリミッターにより車速が40 km/h (25 MPH) に制限されます。このリミッターの解除方法についての詳細は、多機能スイッチのセクションを参照してください。

走行モードセレクター



1. ドライビングモードセレクター

走行モードセレクターは、スロットルレバーコントロールハウジング上部にあります。

次の2つのモードを選択できます。

- ECOまたはワーク
- スポーツ

選択されたモードは、ゲージのモード表示部に表示されます。

また、スポーツモードが作動したときはブザーが鳴ります。

ECOまたはワークモード

ECOまたはワークモードでは、スムーズなスロットルレスポンスが得られ、最高速度が70 km/h (43 MPH) に制限されます。

ECOまたはワークモードにするには、セレクターを左に動かします。

右側に動かすと機能が停止します。

スポーツモード

スポーツモードでは、きびきびとしたスロットルレスポンスが得られません。

このモードはどの種類のキーでも作動させることができ、使用されたキーで最大のパワーを発揮します。

スポーツモードにするには、セレクターを右に動かします。

左側に動かすと機能が停止します。

注記： 850、1000および1000Rモデルでは、デジタルディスプレイの電源を完全にオフにすると、スポーツモードが自動的に解除されます。

シフトレバー

シフトレバーは、車両右側のステアリングコラム付近にあります。



シフトレバー位置

シフトレバーは、ギアを変更するのに使用します。

シフトレバーには5つの位置があります：

| シフトレバー位置 | |
|----------|------------|
| 位置 | ギヤ |
| P | パーキング |
| R | リバース |
| N | ニュートラル |
| H | ハイレンジ (前進) |
| L | ローレンジ (前進) |



シフトパターン

車両にブレーキをかけて停止してから、ギアを選択する必要があります。

注意

このギアボックスは、車両が動いている間にシフトするように設計されていません。

パーキング

パーキング位置はギアボックスをロックして、車両の動作防止を補助します。

警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング (P) 位置にしてください。シフトレバーがP (パーキング) になっていない場合、車両が進む場合があります。

リバース

リバース位置にすると、車両を後進させることができます。

注記：
後進時はエンジン回転数が制限されるため、車両の後進速度も制限されます。

警告

下り坂を後進するときは、重力により、設定されている後進速度よりも車両速度が上昇します。

ニュートラル

ニュートラル位置にすると、ギアボックスが切り離されます。

警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング (P) 位置にしてください。シフトレバーがN (ニュートラル) になっている場合、車両が進む場合があります。

ハイレンジ (前進)

この位置にすると、ギアボックスの高速レンジが選択されます。これ

は、通常の走行速度レンジです。車両は、最高速度に到達できます。

ローレンジ (前進)

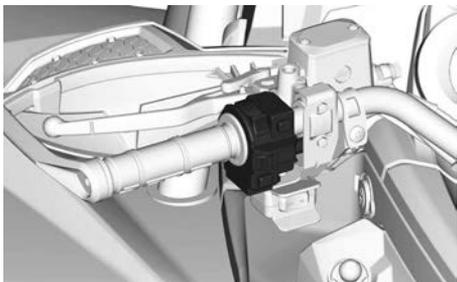
この位置にすると、ギアボックスの低速レンジが選択されます。車両は低速で動き、ホイールは最大のトルクを発揮します。

注意

トレーラーを牽引するとき、重い荷物を運搬するとき、障害物を横切るとき、ぬかるみを走行するとき、または傾斜を上ったり下ったりするとき、ローレンジを使用してください。

多機能スイッチ

多機能スイッチはハンドルバーの左側にあります。



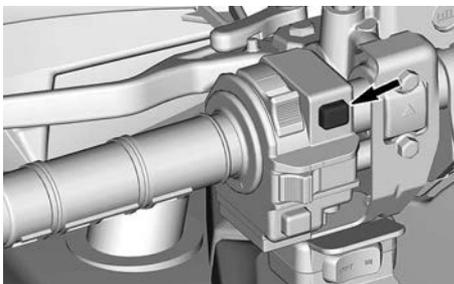
ヘッドライトスイッチ



1. ライトオフ
2. ロービームとテールライト
3. ハイビームとテールライト

エンジンスターートボタン

エンジンスターートボタンは、多機能スイッチの上側にあります。

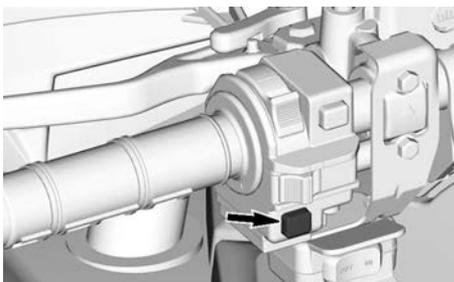


これを押し続けてエンジンを起動させます。

始動手順全体については、基本手順のセクションのエンジンの始動を参照してください。

オーバーライド/DPSボタン

このボタンは、多機能スイッチの下側にあります。



これには次の2つの機能があります。

- オーバーライド機能の作動
- DPSモードの変更

オーバーライド機能

この機能により、車両がリバースモードまたは4WDLockモードで使用されているときに、エンジンスピードリミッターを無視することが可能になります。

4WDLockでは、オーバーライドモードにより、以下に示す別の速度制限への到達が可能となります。

- ハイまたはローギヤのときに60 km/h (37 MPH)
- リバースのときに25 km/h (16 MPH)

⚠ 警告

車両周辺に障害物がないことを確認してから「オーバーライド」モードを使用してください。

オーバーライドモードは、泥や柔らかい土壌で車両の身動きが取れなくなったときに、低速のみで使用してください。

通常の後進時に「オーバーライド」モードを使用しないでください。過剰に速い速度になることがあります。

4WDLockのときに「オーバーライド」モードを使用しないでください。操作不能になるおそれがあります。

オーバーライド機能の起動は、次のように行います。

1. 車両が完全に停止していることを確認します。
2. オーバーライド/DPSボタンを押したままにして、スロットルレバーを徐々に踏み込みます。

注記：

オーバーライド機能を使用している間、ゲージは**OVERRIDE** (オーバーライド) のメッセージをスクロール表示して、機能が起動していることを知らせます。

3. オーバーライド機能は、オーバーライド/DPSボタンを放すだけ解除されます。

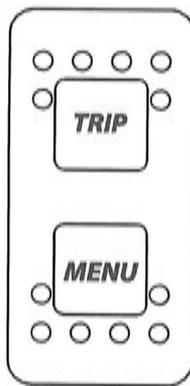
DPS 機能

このボタンは、ダイナミックパワーステアリング (DPS) モードを変更するのにも使用します。

DPSモードの概要については走行に関する調整のセクションを参照してください。

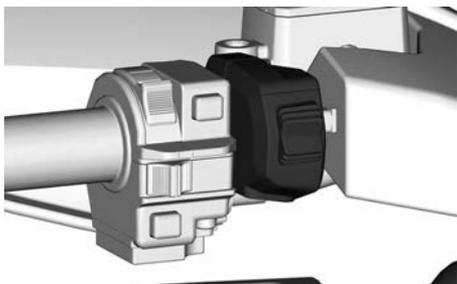
トリップ/メニュースイッチ

このスイッチを使用して、7.6インチデジタルディスプレイを操作します。

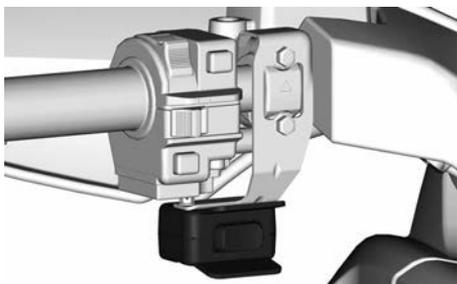


ウィンチコントロールスイッチ

ウィンチスイッチは、多機能スイッチの右側か下側にあります。



リミテッドモデル

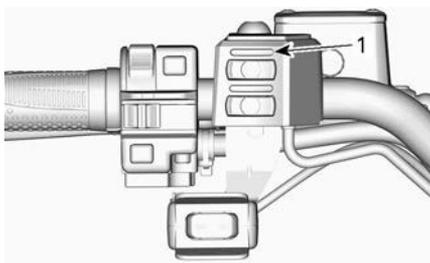


その他の全モデル

運転者用グリップヒーター (装備されている場合)

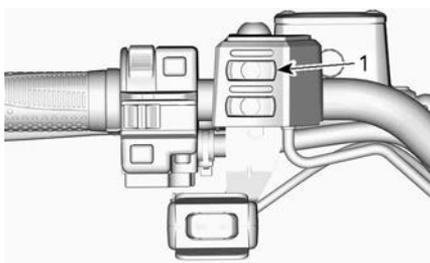
グリップヒーターには4つのヒートレベルがあります。

ヒートレベルは、スイッチ上方のLEDで示されます。LEDが点灯していない状態は、スロットルレバーヒーターがオフであることを示しています。



1. LEDヒートレベル

スイッチを1回押してオンにします。



1. グリップヒータースイッチ

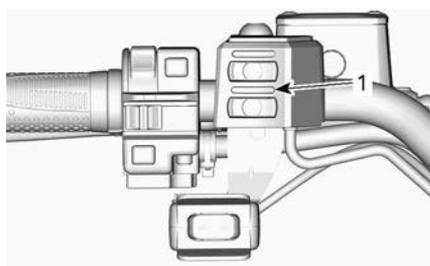
再度スイッチを押すとヒートレベルが上がります。スイッチを押すたびにヒートレベルが上がります。

オフにするには、ヒートレベルを最高にした後でもう1回スイッチを押します。

スロットルレバーヒーター (装備されている場合)

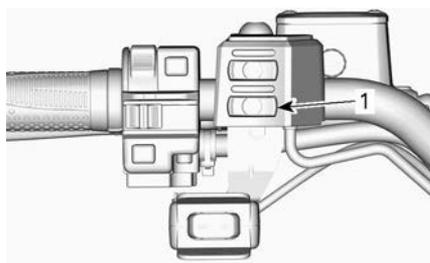
サムヒーターには4つのヒートレベルがあります。

ヒートレベルは、スイッチ上方のLEDで示されます。LEDが点灯していない状態は、スロットルレバーヒーターがオフであることを示しています。



1. LEDヒートレベル

スイッチを1回押してオンにします。



1. スロットルレバーヒータースイッチ

再度スイッチを押すとヒートレベルが上がります。スイッチを押すたびにヒートレベルが上がります。

オフにするには、ヒートレベルを最高にした後でもう1回スイッチを押します。

クラクションボタン

フィンランドで販売される車両のみ

ホーンボタンは、左多機能スイッチの下にあります。

ホーンを鳴らすには、ホーンボタンを押します。



装備

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

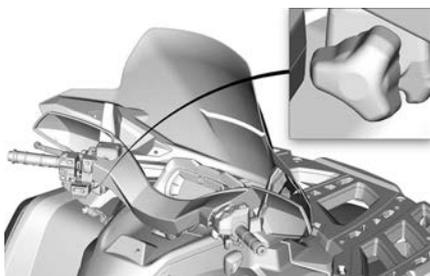
⚠ 警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

ウィンドシールド（装備されている場合）

風防の取り外し

1. 両方のノブを完全に緩めます。
2. ウィンドシールドを前方に引きま



風防の取り付け

1. ウィンドシールドアームをサポートに挿入します。
2. ノブを手で締めます。

運転席

運転席は運転者専用に設計されています。

⚠ 警告

この車両に同乗者として乗る人を座らせないでください。

シートの取り外し

1. シートラッチを押し上げます。このラッチは、シート後部の下に



1. シートラッチ
2. シートを上に引いてから後方に引きます。
3. 前側の固定デバイスを解除できるまで持ち上げ続け、その後シートを完全に取り外します。

シートの取り付け

1. シートの前側タブをフレームのストレッチルックに挿入します。
2. シートがその所定位置に置かれたら、シートをしっかり押して固定

注記：

このとき、カチッという感覚がはっきりと感じられます。強く引いてラッチがかかっていることを確かめて、シートが固定されていることを再度確認してください。

⚠ 警告

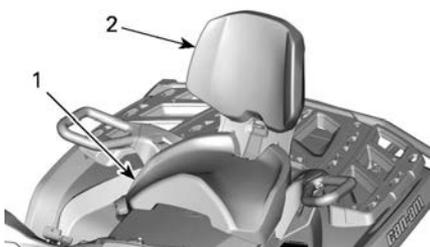
後方および上方に数回引いて、運転席が所定位置に正しく固定されたことを確認します。

同乗者シート/グローブボックス (2-UPモデル)

⚠ 警告

同乗席またはグローブボックスが取り付けられていない状態で車両を運転しないでください。

同乗席は同乗者専用設計されています。一体型のバックレストは、走行中に同乗者の背中を支えます。



1. 同乗席
2. 一体型バックレスト

同乗者なしで走行するときは、同乗席を取り外してグローブボックスを使用できます。



代表的な例

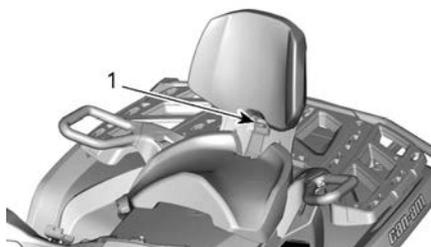
1. グローブボックス

⚠ 警告

同乗席がない場合、車両は1人乗り用車両 (1-UPモデル) となるため同乗者を乗せることができません。絶対にグローブボックスに同乗者を乗せないでください。また、グローブボックスが取り付けられていない場合は、同乗者を乗せずに走行しないでください。

同乗者シートの取り外し

1. 同乗者シートのラッチレバーをシート前方に引きます。



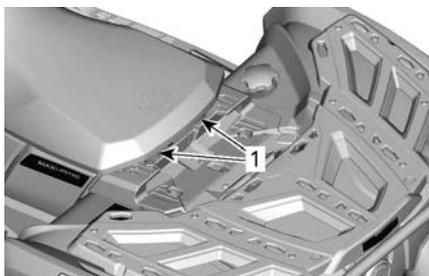
1. シートハンドル
2. ラッチレバーを前方に引いたまま、ラッチレバー後部に下向きの圧力を加え、リアラッチをピンから離し、バックレストを使ってシートを前側に動かします。
3. 同乗者用グリップヒーターまたはバイザーヒーターを装備するモデルでは、シートの下にある電装コネクタを切り離します。
4. シートを所定位置から上後方に引いて、前側タブを外します。

同乗者シートの取り付け

1. ラッチレバーを座席前方に引いて、ラッチレバーが開位置になっていることを確認します。
2. 前方への動きを利用して、座席の両方の前側タブを車両のアンカーハウジングに挿入します。
3. 同乗者用グリップヒーターまたはバイザーヒーターを装備するモデル

ルでは、シートの下にある電装コネクタを接続します。

4. 下方向に回してリアラッチを掛けます。
5. ラッチレバーを後方へ押しつけて閉じ、座席を所定位置に固定します。
6. 座席が所定位置にしっかり固定されていることを確認してから使用してください。



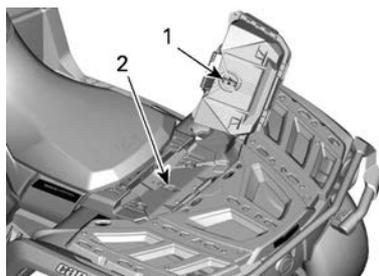
1. フロントピン

警告

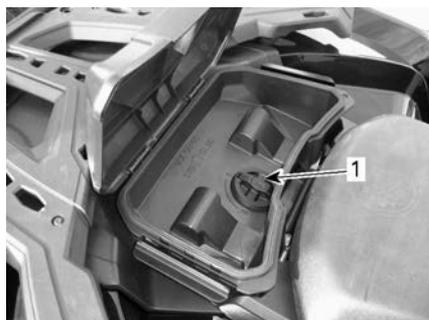
同乗者を後方および上方に数回引いて所定位置に正しく固定されていることを確認することが、同乗者の安全にとって最も重要です。

グローブボックスの取り付け

1. 同乗者シートを取り外します。同乗者シートの取り外しのセクションを参照してください。
2. グローブボックスカバーを開き、ハンドルをロック解除位置に回します。
3. グローブボックスのラッチングシステムをこの車両の「LINQ」開口部にそろえて挿入します。



1. グローブボックスのラッチ
2. 「LINQ」開口部
4. ハンドルをロック位置に回します。

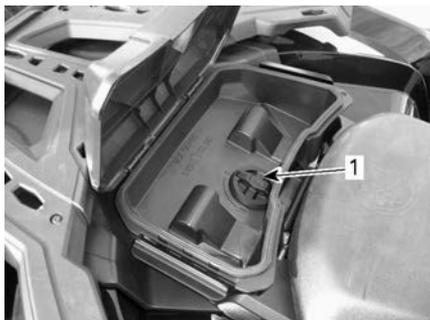


代表的な例

1. ラッチ
5. カバーを閉じてグローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。

グローブボックスの取り外し

1. グローブボックスの両側のラッチを解除してリッドを開けます。
2. ラッチを反時計方向に回して解除します。



代表的な例

1. ラッチ
3. グローブボックスを取り外します。
4. 同乗者シートを取り付けます。同乗者シートの取り付けのセクションを参照してください。

フットペグ

運転者のフットペグは車両の左右側にあります。

1-UPモデル



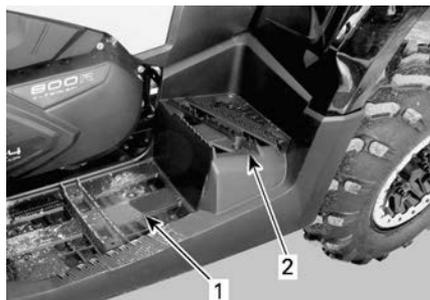
1. 運転者の左側フットペグ

⚠ 警告

車両運転中、運転者は常に両足をフットペグに置く必要があります。

2-UPモデル

同乗者のフットペグは車両の左右側、運転者用フットペグの後方にあります。



1. 運転者の左側フットペグ
2. 同乗者の左側フットペグ

⚠ 警告

車両運転中、同乗者は常に両足をフットペグに置く必要があります。

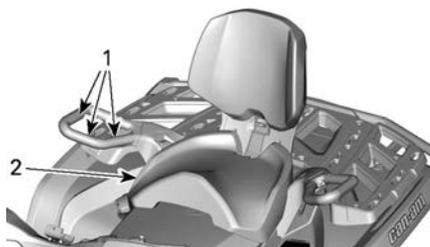
グラブハンドル (2-UPモデル)

グラブハンドルは同乗席の左右側にあります。

グラブハンドルは、車両走行中に同乗者がしっかりつかまるために使用するべきものです。

⚠ 警告

同乗者は、運転者につかまるのではなく、同乗者用のグラブハンドルを常につかんでください。また、両足をフットレストにしっかり置いてください。



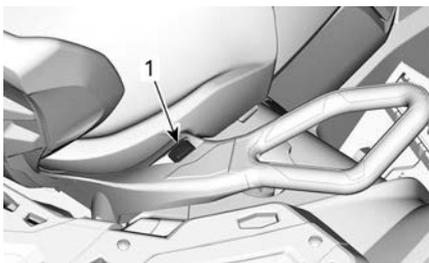
代表的な例

1. グラブハンドル
2. 同乗席

同乗席用グリップヒーター (装備されている場合)

グリップヒーターには2つのヒートレベルがあります。

スイッチは右グラブハンドル上にあります。



1. グリップヒータースイッチ

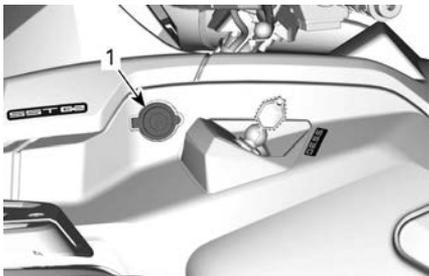
低温を選択するにはスイッチを後方に動かします。

高温を選択するにはスイッチを前方に動かします。

オフにするにはスイッチを中央位置に戻します。

12Vの電源ソケット

懐中電灯などの携帯機器の使用に便利です。



1. 12V電源出力

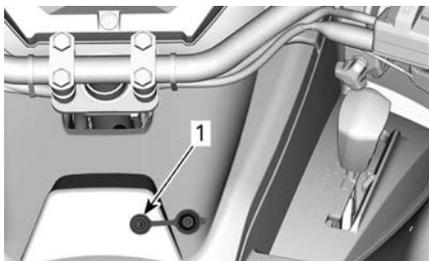
保護キャップを取り外して使用します。環境から保護するために、使用後は必ず保護キャップを再度取り付けてください。

バイザーヒーターコネクター (装備されている場合)

ヘルメットバイザーヒーターに電源を供給するために特別に設計されたコネクターです。

運転者コネクター

コネクターはコンソール上にあります。

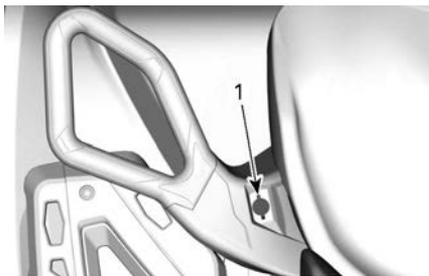


コンソール

1. バイザーヒーターコネクター

同乗者コネクター

コネクターは左グラブハンドル上にあります。



1. バイザーヒーターコネクター

リアストレージコンパートメント

所持品を運ぶための便利なコンパートメントです。



1. リアストレージコンパートメントカバー

⚠ 警告

必ずシフトレバーをパーキング位置にしてからカバーを開けてください。
 重いものや壊れものを固定せずにストレージコンパートメントに入れないでください。
 必ずカバーを固定してから走行してください。

リアストレージコンパートメントの開け方

1. カバーのラッチを外して、カバーをゆっくり降ろします。



**リアストレージコンパートメントのラッチ
リアストレージコンパートメントの閉じ方**

1. カバーをゆっくり上げて、ラッチから「カチッ」という音が2回鳴るまで押して、シールが圧縮されたことを確認します。

カーゴラック

⚠ 警告

- 絶対にカーゴラックで人を運搬しないでください。
- 荷物がオペレーターの視線を妨げたり、車両の正常な操舵能力に影響を与えないようにしてください。
- 車両に過剰の荷物を積みすぎないでください。
- すべての荷物が正しく固定され、ラックの外に出ていないことを必ず確認してください。

推奨貨物重量については、最大ラック荷重 - 警告ラベルを必ず参照してください。

Xxcモデル

このモデルのフロントラックへの積載は禁止されています。

装備品やさまざまな荷物を運搬するには、リアカーゴラックが便利です。絶対に人を運ぶためには使用しないでください。

その他の全モデル

カーゴラックは、装備品やさまざまな荷物を運搬するのに便利です。絶対に人を運ぶためには使用しないでください。



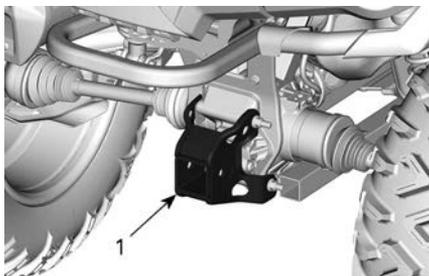
フロントカーゴラック



リアカーゴラック

トレーラーヒッチ

トレーラーなどの装置の牽引用ポールを取り付けるのに便利なヒッチです。トレーラーメーカーの推奨事項に従って適切なサイズのポールを取り付けてください。積載重量や牽引時の推奨事項については、けん引およびヒッチ重量 - 警告ラベルのセクションを参照してください。



代表的な例

1. トレーラーヒッチ

警告

牽引しようとする装置に合う適切なサイズのポールを取り付けてください。

注記：

正しい取り付け方法については、メーカーの説明に従ってください。

車載工具

車載工具はシートの下にあります。このキットには基本的なメンテナンス用の工具が付属しています。

ウインチ (装備されている場合)

警告

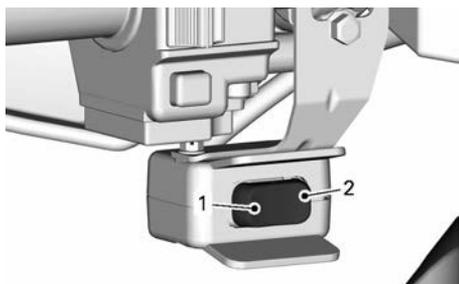
重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

- 牽引時は、絶対にウインチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウインチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- (雪や泥で) 身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウインチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウインチメーカーのインストラクションを参照してください。

ウインチは、ウインチコントロールスイッチまたはリモートコントロール (別売) を使用して操作できません。

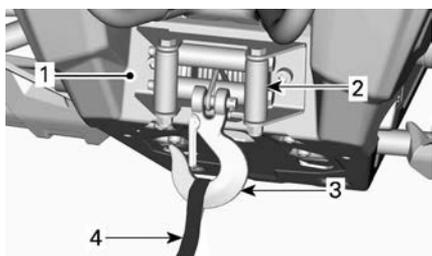


1. IN
2. OUT



1. OUT
2. IN

車両への損傷を防止してワイヤーロープをウィンチへ誘導するために、ローラーフェアリードが使用されています。



1. ウィンチ
2. ローラーフェアリード
3. ウィンチフック
4. フックストラップ

注記：

ウィンチを長時間にわたり何度も使用すると、バッテリーを消耗する場合があります。

下記のヒントは、バッテリーが消耗するリスクを抑えるのに役立ちます。

手動でのウィンチの巻き出し：ハンドルを使用してケーブルのロックを解除し、フックストラップを引いて巻き出します。

巻き上げまたは巻き取り中は、エンジンを作動させたままにするよう推奨します。バッテリーを充電するため、巻き上げ直後はエンジンを停止しないでください。

また、30秒以上巻き上げを行うときは、エンジン回転数を3000 rpmの範囲まで上げてバッテリーの充電電圧を高めるよう推奨します。

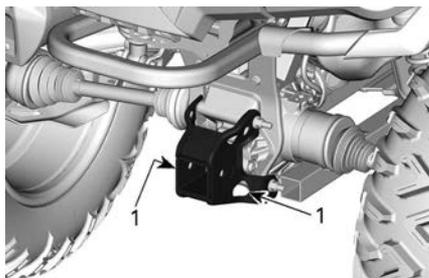
注意

車両をニュートラル (N) にしてからエンジン回転数を上げてください。

ウィンチの詳細については、車両に付属しているウィンチメーカーの説明書を参照してください。

リカバリーフック

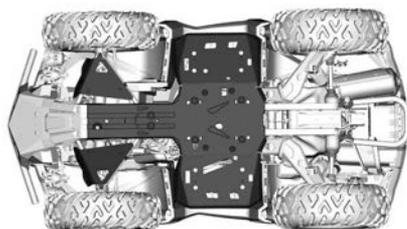
身動きの取れなくなったATVを救出することができる便利なフックです。



1. リカバリーフック

車両下部保護プレート

車両下部やサスペンションアームを保護するアルミニウム製プレートです。



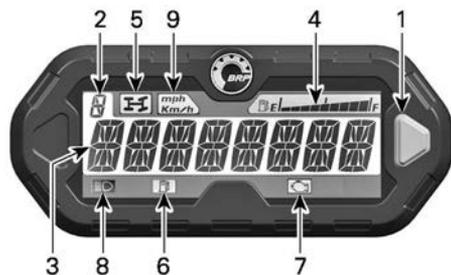
多機能ゲージ (LCD)

多機能ゲージはゲージサポート内にあります。

警告

多機能ゲージの表示を見ていると、車両の運転時に気が散り、周囲を見回すことができなくなる可能性があります。

多機能ゲージの説明



1. セレクターボタン
2. ギヤボックスポジション表示
3. メインスクリーン
4. 燃料レベル表示
5. 4WDインジケータランプ
6. ローフューエルインジケータランプ
7. エンジン点検インジケータランプ
8. ハイビームインジケータランプ
9. mph, km/hインジケータランプ

セレクターボタン

セレクターボタンは、多機能ゲージ内の移動または設定の変更に使用できます。

ギヤボックスポジション表示

このディスプレイは、選択されているギヤボックスポジションを表示します。



1. ギヤボックスの位置

| 表示 | 機能 |
|----|--------|
| P | パーキング |
| R | リバース |
| N | ニュートラル |
| H | ハイレンジ |
| L | ローレンジ |

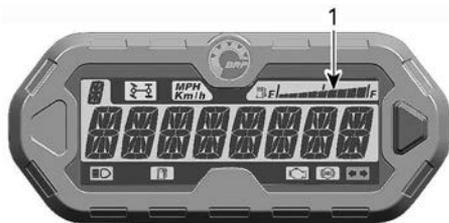
メインスクリーン

メイン画面は、多機能ゲージの多くの機能を表示するのに使用します。

利用できる各モードについては、多機能ゲージモードを参照してください。

燃料レベル表示

棒状のゲージによって、運転中の燃料タンク内の量を常時表示します。



1. 燃料レベル表示

4WDインジケータランプ

このインジケータ  の点灯は、4WDモードが選択されていることを示しています。

ローフューエルインジケータランプ

このインジケータ  が点灯した場合、燃料タンクの残量は約5 L (1.3 gal (liq.,US)) です。

エンジン点検インジケータランプ

このインジケータ  の点灯は、エンジンの故障を示しています。LCDディスプレイにメッセージが表示されているか確認してください。

このインジケータが点滅すると、LIMP HOMEモードが起動していることを示します。

詳細についてはトラブルシューティングを参照してください。

ハイビームインジケータランプ

このインジケータ  の点灯は、ヘッドライトのハイビームが選択されていることを示しています。

km/hまたはmphインジケータランプ

対応するランプ ($\frac{mph}{km/h}$) が点灯して、スピードメーターで使用する単位を示します。

多機能ゲージのモード

スピードメーターモード

このモードでは、実際の車両速度が km/h または MPH 単位でメイン画面に表示されます。



タコメーターモード

このモードでは、実際のエンジン回転数が毎分のエンジン回転数 (rpm) でメイン画面に表示されます。



複合モード

このモードでは、メイン画面に車両速度とエンジン回転数 (rpm) の両方が表示されます。



1. 車両速度
2. エンジン回転数 (rpm)

オドメーター (OD)

オドメーターは、総走行距離をマイルまたはキロメートル単位で記録します。



時計

現在の時刻を表示します。



現在の時刻を設定するにはゲージのセットアップのセクションを参照してください。

トリップメーター (TP)

トリップメーターは、リセットされた時点からの走行距離を記録します。

走行距離はキロメートルまたはマイル単位で表示されます。



セレクトボタンを2秒間押したままにすると、トリップメーターがリセットされます。

トリップアワーメーター (TH)

トリップアワーメーターは、電装システムが作動しているときの車両の走行時間を記録します。これは、2つの地点間の走行時間を知るために使用されるものです。



セレクトボタンを2秒間押したままにすると、アワーメーターがリセットされます。

エンジンアワーメーター (EH)

エンジンアワーメーターはエンジンの作動時間を記録します。



メッセージ表示モード

エンジンに異常な状態が発生した場合、パイロットランプに合わせてメイン画面にメッセージがスクロール表示される場合があります。

詳細はトラブルシューティングを参照してください。

故障コードモード

ハイビームに切り替えて、エンジンアワーメーターの表示モードを選択します。

モードボタンを押したままハイビームとロービームを(3回サイクル)切り替えて、故障診断コードにアクセスします。

LCDゲージ内の移動

一時表示モード

一時表示モードでは、下記の機能を表示できます。

- オドメーター
- 時計
- トリップメーター (リセット可能)
- トリップアワーメーター (リセット可能)
- エンジンアワーメーター

デフォルトの表示モードを一時表示モードに変えるには、セレクターレバーを押して放します。



1. セレクターボタン

選択されたモードが10秒間ゲージに表示された後、通常の表示モードに戻ります。

リセット可能なモードになっている間に、セレクターボタンを2秒間押し続けたままにしてリセットします。

デフォルトの表示モード

車両始動後、デフォルトの表示モードは下記のいずれかとなります。

- 車両速度
- 毎分のエンジン回転数 (rpm)
- 上記パラメータの同時表示 (複合モード)

別の表示に変更するには、以下の手順に従ってください。

1. D.E.S.S. キーを D.E.S.S. ポストに取り付けます。
2. 「greeting message」が表示されるまで待ちます。
3. セレクターボタンを1回押し放し、OD (オドメーター) を表示させます。
4. もう一度セレクターボタンを押します (このときはボタンを2秒間押し続けます)。

これで、モードが速度、回転数または複合モードに変わります。



5. 別のモードを選択するには、希望するモードが表示されるまで手順3および4を繰り返します。

ドライビングモード (装備されている場合)

一部のモデルにはドライビングモードセレクターが装備されています。



1. ドライビングモードセレクター

作動時および解除時に、選択されたモードのメッセージが下記のように表示されます。

| 走行モード | 作動時のメッセージ |
|-------|-------------|
| スポーツ | SPORT mode |
| ノーマル | NORMAL mode |
| ECO | ECO モード |

ゲージのセットアップ

ゲージセレクターボタンを使用した時計の設定

1. 時計の表示を選択します。



ディーラーにお問い合わせください。

1. セレクターボタン
2. 時間
2. セレクターボタンを押したままにします。ディスプレイが点滅しなくなります。
3. ボタンを押して12時間 (12H) または24時間 (24H) 表示かを選択します。
4. 12時間表示を選択した場合は、ボタンを押してAm (A) またはPm (P) を選択します。
5. ボタンを押して時の最初の桁を選択します。
6. ボタンを押して時の2番目の桁を選択します。
7. ボタンを押して分の最初の桁を選択します。
8. ボタンを押して分の2番目の桁を選択します。

注記：現在の時間が10秒間ゲージに表示された後、通常の表示モードに戻ります。

単位の選択 (km/hまたはmph)

スピードメーター、オドメーターおよびトリップメーターは、工場設定でマイル単位になっていますが、キロメートル単位 (Metric) に変更できます。

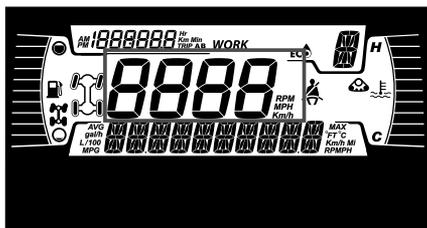
認定 Can-Am Off-Road デイラーにお問い合わせください。

言語の選択

ゲージ表示の言語は変更することができます。

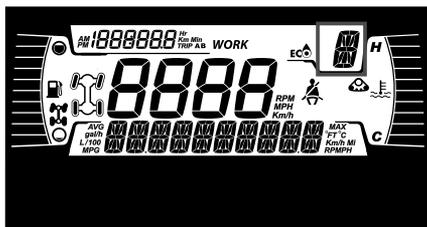
利用できる言語とゲージの設定については、認定 Can-Am Off-Road

中央の表示



車両速度をkm/hまたはMPH単位で表示します。

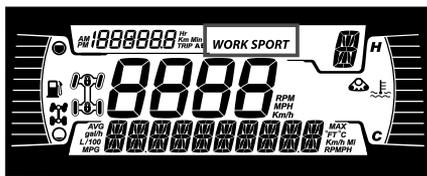
トランスミッション位置表示



この表示はギヤボックスのギヤポジションを示します。

- P (パーキング)
- R (後進)
- N (ニュートラル)
- H (ハイレンジ)
- L (ローレンジ)
- - (無効なレンジ)

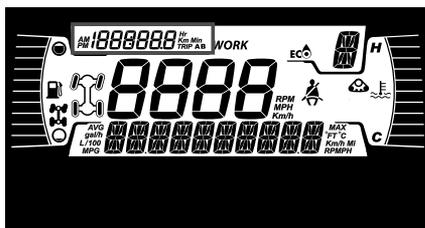
モード表示



モード表示は選択された動作モードが表示されます。

- スポーツ
- ECOまたはワーク

トリップ表示



この表示はトリップ情報を示します。

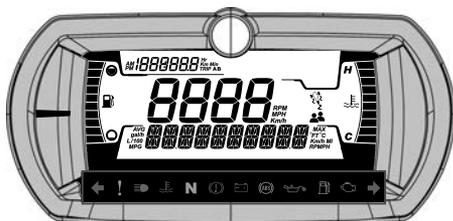
- 積算距離計オドメーター
- トリップA
- トリップB
- 車両アワーメーター
- 時計

上側ボタンを使用して、表示される情報を変更します。

上側のボタンを押したままにすると、トリップA/Bメーターがリセットされます。

インジケータランプ

警告および表示ライト

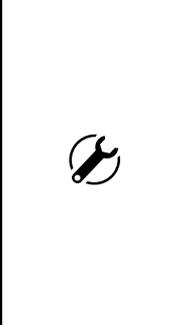
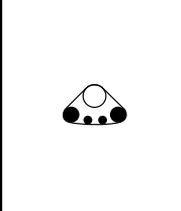
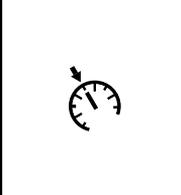


警告および表示ライト

| | |
|--|---|
| | <p>緑色 - フラッシャー (Tカテゴリーモデルのみ)</p> |
| | <p>ハザード警告点滅灯 (装備されている場合) - 前後のすべての方向指示灯が点滅。</p> |
| | <p>オレンジ色 - 車両機能異常</p> |

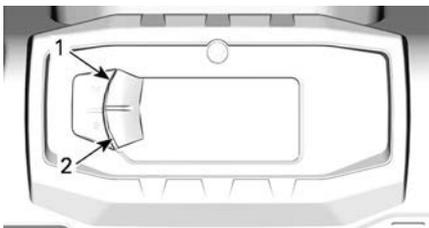
| 警告および表示ライト | |
|--|---|
|  | 青色 - ハイビーム |
|  | 赤色 - エンジン温度が高過ぎる。 |
|  | 緑色 - ニュートラル |
|  | 赤 - パーキングブレーキがかかっている、またはブレーキシステムの不具合。 |
|  | RED - バッテリー電圧が低すぎる、または電気系統の問題。 |
|  | オレンジ色 - ABSシステムの不具合 (Tカテゴリーモデルのみ) |
|  | 赤色 - オイル圧力低下 エンジンがオフのときは常時オン |
|  | オレンジ色 - 低燃料レベル。 |
|  | オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの不具合。 応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。 |

アイコンおよびインジケーター - 多機能ディスプレイ

| アイコンおよびインジケーター | |
|---|---|
|  | - スポーツモードが選択されていることを示します。 |
|  | - ECOモードが選択されていることを示します。 |
|  | - 点灯しているときは、メンテナンスが必要であることを示しています。 - メンテナンスについては、認定 Can-Am Off-Road ディーラーまたは整備担当者にご相談ください。 |
|  | - トラクションコントロール (装備されている場合)。 - Tカテゴリーのモデルを除くすべてのモデルで利用可能。 |
|  | - スピードリミッターが選択されていることを示します。 - このオプションが利用可能なとき。 |
|  | - フロントディファレンシャルロック (Visco-4Lok) が作動していることを示します。 |

設定

メニュー内を移動するためのボタンは、LCDディスプレイの左側にあります。



代表的な例

1. 上ボタン
2. 下ボタン

セットアップ

下側ボタンを使用して**SETTINGS**を選択し、ボタンを押したままにして設定メニューに入ります。

メンテナンスのリセット

メンテナンスメッセージをリセットするには、メンテナンスの手順のセクションの「メンテナンスが必要」メッセージのリセットを参照してください。

注記： メンテナンスのときにのみ（エンジンを100時間運転すること）に実行可能です。

故障コード(FAULT CODES)

故障コードが1つ以上発生しているときに利用可能です。

下側ボタンを使用して**CODES**を選択し、ボタンを押したままにして発生しているアクティブな故障コードを確認します。

故障コードは下側表示部にスクロール表示されます。

統計情報のリセット

下側ボタンを使用して**RESET STAT**を選択し、ボタンを押したままにしてリセットします。

単位の選択

この多機能ゲージは工場でヤードポンド単位に設定されていますが、メートル単位に変更することができます。

下側ボタンを使用して**UNITS**を選択し、ボタンを押したままにして単位を変更します。

時計の設定

下側ボタンを使用して、以下のすべての手順を行う必要があります。

1. **CLOCK**を選択して、時刻を調整します。
2. ボタンを押して時計表示を選択します。
3. ボタンを1秒間押したままにします。
4. ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選択します。
5. ボタンを押したままにして選択内容を確定します。
6. ボタンを押して時の桁を変更します（時の桁が点滅します）。
7. ボタンを押したままにして時の桁の選択内容を確定します。
8. ボタンを押して分の桁に切り替えます（分の桁が点滅します）。
9. ボタンを押したままにして分の桁の選択内容を確定します。

言語の設定

ゲージ表示の言語は変更することができます。

利用できる言語とゲージの設定については、認定 Can-Am Off-Road ディーラーにお問い合わせください。

輝度の設定

LCDディスプレイの輝度を調整できます。

下側のボタンを使用して**BRIGHTNESS**（輝度）を選択し、ボタンを押したままにして輝度を変更します。

下側ボタンを使用して輝度を調整した後、ボタンを押したままにして選択内容を確定します。

7.6インチデジタルディスプレイ

基本機能

多機能ゲージの説明

警告

運転中は、制御できなくなる場合があるので、表示を調整しないでください。

概観



下側の表示



下記の項目を表示させることができません。

- RPM
- 速度統計情報
- エンジン温度
- バッテリー電圧
- 設定
- メッセージ

速度統計情報表示では、最高および平均速度が表示されます。

左側の表示



左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター

- トリップメーター (A-B)
- オドメーター
- 車両アワーメーター
- DPSインジケーター

右側の表示



右側の表示には以下のものが含まれます：

- エンジン温度
- 時計
- 速度インジケーター

この表示内の速度インジケーターは、中央の表示が速度以外の情報を示しているときに作動します。それ以外の場合は表示されません。

中央の表示



下記の項目を表示させることができません。

- RPM
- 車両速度

トランスミッション位置表示



この表示はギャボックスのギヤポジションを示します。

- P (パーキング)
- R (後進)

- N (ニュートラル)
- H (ハイレンジ)
- L (ローレンジ)
- - (無効なレンジ)

モード表示



| モードディスプレイの表示 | |
|--------------|-------------------|
| モデル | 選択できるモード |
| X xc | - スポーツ - ECO |
| その他の全モデル | - スポーツ - 仕事で使う |

電子スロットル制御装備モデルでは、このスイッチを使用してモードを切り替えます。



電子式スロットル制御 (ETC) 装備モデル

1. 走行モードスイッチ

作動時および解除時に、選択されたモードのメッセージが下部表示部に下記のように表示されます。

| 走行モード | 作動時のメッセージ | 解除時のメッセージ |
|-------|-----------|-----------|
| スポーツ | スポーツ | Sport OFF |
| ワーク | ワーク | Work OFF |
| ECO | ECO | ECO オフ |

中央右側の表示



中央右側の表示には、選択された動作モードが表示されます。

- 2X4
- 4X4
- トラックキット作動
- フロントディファレンシャルロック (Visco-4Lok)

| アイコン | 説明 |
|------|------------------------|
| | 2x4アイコン |
| | 4X4のアイコン (EC諸国以外向け) |
| | EC諸国向けの 4X4のアイコン |

| アイコン | 説明 |
|---|--|
|  | トラックキット アイコン |
|  | フロントディフ アレンシャルロ ック (Visco-4Lok) アイコン |

中央左側の表示



中央左側の表示には以下のものが含まれます。

- メンテナンス時期の到来
- スピードリミッター

インジケータランプ

警告および表示ライト



警告および表示ライト

| | |
|--|--|
|  | 緑色 - フラッシャー (Tカテゴリーモデルのみ) |
| | ハザード警告点滅灯 (装備されている場合) - 前後のすべての方向指示灯が点滅。 |
|  | オレンジ色 - 車両機能異常 |

警告および表示ライト

| | |
|---|---|
|  | 青色 - ハイビーム |
|  | 赤色 - エンジン温度が高過ぎる。 |
|  | 緑色 - ニュートラル |
|  | 赤 - パーキングブレーキがかかっている、またはブレーキシステムの不具合。 |
|  | RED - バッテリー電圧が低すぎる、または電気系統の問題。 |
|  | オレンジ色 - ABSシステムの不具合 (Tカテゴリーモデルのみ) |
|  | 赤色 - オイル圧力低下 エンジンがオフのときは常時オン |
|  | オレンジ色 - 低燃料レベル。 |
|  | オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの不具合。 応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。 |

アイコンおよびインジケーター

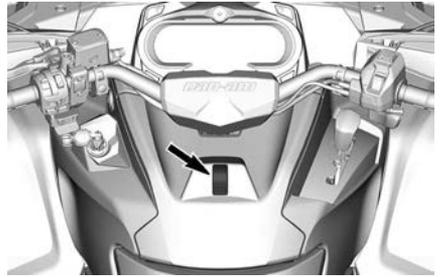
| アイコンおよびインジケーター | |
|---|--|
| SPORT | - スポーツモードが選択されていることを示します。 |
| ECO | - ECOモードが選択されていることを示します。 |
| WORK | - ワークモードが選択されていることを示します。 |
|  | - 点灯しているときは、メンテナンスが必要であることを示しています。 - メンテナンスについては、認定 Can-Am Off-roadディーラーまたは整備担当者にご相談ください。 |
|  | - トラックキット作動（装備されている場合）。 - Tカテゴリーのモデルを除くすべてのモデルで利用可能。 |
|  | - スピードリミッターが選択されていることを示します。 - このオプションが利用可能なとき。 |
|  | - フロントディファレンシャルロック (Visco-4Lok) |

アイコンおよびインジケーター

が選択されていることを示します。

設定

メニュー内を移動するためのボタンは、ハンドルバー下側のコンソール上にあります。



セットアップ

メニューボタンを使用して **SETTINGS** を選択し、ボタンを押したままにして設定メニューに入ります。

メンテナンスのリセット

メンテナンスメッセージをリセットするには、メンテナンスの手順のセクションの「メンテナンスが必要」メッセージのリセットを参照してください。

注記： メンテナンスのときにのみ（エンジンを100時間運転するごとに）実行可能です。

故障コード (FAULT CODES)

故障コードが1つ以上発生しているときに利用可能です。

メニューボタンを使用して **CODES** を選択し、ボタンを押したままにして発生しているアクティブな故障コードを確認します。

故障コードは下側表示部にスクロール表示されます。

速度/回転数

速度と回転数の表示を切り替えることができます。

メニューボタンを使用してSPEED/RPMを選択し、ボタンを押したままにして速度と回転数の表示を切り替えます。

単位の選択

この多機能ゲージは工場でヤードポンド単位に設定されていますが、メートル単位に変更することができます。

メニューボタンを使用してUNITSを選択し、ボタンを押したままにして単位を変更します。

スピードリミッターモード

速度リミッターモードにより、運転者は希望する最高速度を設定できます。

これは、制限速度ゾーンで運転するときに便利です。

前進速度を維持するには、オペレータはスロットルを押し続けなければなりません。

最高速度を設定すると、運転者はスロットルを使って、停車状態から設定された速度の間で速度を変えることができます。

スロットルを完全に押し込むと設定速度を超過します。このとき、車速が速度リミッターの設定ポイント以下になるまで速度リミッターが一時的に停止します(アイコンが点滅します)。

一定の速度設定の下で進むため、周辺の状況に対する十分な注意を維持することができます。

減速するにはスロットルを放します。

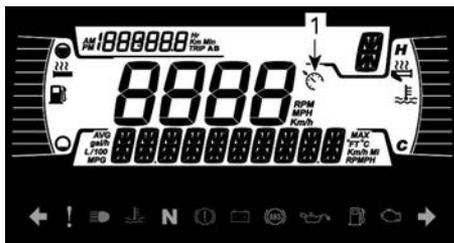
スピードリミッターモードの起動

1. ゲージスイッチを押してSETTINGSメニューに進みます。
2. SPEED LIMを選択して、下記の速度を選択します。

| 単位の選択 | 表示される情報 |
|------------------|--|
| メートル単位 (km/h) | - -- (制限なし) - 30 km/h ~ 100 km/h (10 km/h 刻み) |
| ヤードポンド単位 (MPH) | - -- (制限なし) - 20 MPH ~ 65 MPH (5 MPH 刻み) |

スピードリミッターインジケータ

ター  が点灯します。



1. スピードリミッターインジケータ
3. メニューボタンを押したままにして選択した速度制限を確定します。

速度リミッターモードの起動によって制限されるのは、スロットルを押したときの最高速度だけです。

前進速度を維持するには、スロットルを押し続けなければなりません。

スピードリミッター機能を起動すると、スロットルを使用して車速をアイドル速度から設定された速度までの間で変更できます。

スピードリミッターモードの停止

1. スピードリミッターモードを停止するには、SETTINGSの中でSPEED LIMを選択してから - (制限なし) を選択します。

統計情報のリセット

メニューボタンを使用してRESET STATを選択し、ボタンを押したままにしてリセットします。

時計の設定

メニューボタンを使用して、以下のすべての手順を行う必要があります。

1. CLOCKを選択して、時刻を変更します。
2. ボタンを押して時計表示を選択します。
3. ボタンを1秒間押したままにします。
4. ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選択します。
5. ボタンまたはOKボタンを押したままにして、選択内容を確定します。
6. ボタンを押して時の桁を変更します (時の桁が点滅します)。
7. ボタンまたはOKボタンを押したままにして、選択した時間を確定します。
8. ボタンを押して分の桁に切り替えます (分の桁が点滅します)。
9. ボタンを押したままにして分の桁の選択内容を確定します。

輝度の設定

LCDディスプレイの輝度を調整できます。

メニューボタンを使用してBRIGHTNESSを選択し、メニューボタンを押したままにして輝度設定を選択します。

メニューボタンを使用して輝度を調整した後、メニューボタンを押したままにして選択内容を確定します。

言語の設定

ゲージ表示の言語は変更することができます。

利用できる言語とゲージの設定については、認定 Can-Am Off-Road デイラーにお問い合わせください。

DPSモード

下側の表示には、どのDPSモードが作動しているかを示すことができます。

走行に関する調整を参照してください。

燃料

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

燃料に関する要件

注意

新しいガソリンを必ず使用します。ガソリンは放っておくと酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の損失、およびガムおよびワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷しかねません。

アルコールとの燃料の混合は国および地域によって異なります。ご使用されている車両は推奨される燃料を使用するために設計されていますが、次のことに注意してください。

- 政府の規制によって定められているアルコール割合を超えるアルコールを含む燃料を使用することは推奨されておらず、もし使用した場合、次のような燃料システムコンポーネントの問題が発生しかねません。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の老化。
 - 金属部品の腐食。
 - 内部エンジン部品への損傷。
- ガソリンのアルコール度が政府の現在の規制を超えていると疑った場合、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか常に点検してください。
- アルコールが混合された燃料は水分を多く含む車があり、燃料の相分離につながる恐れがあり、エンジンの性能上の問題またはエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

ガソリンは、次の最低オクタン価が必要となります。

1000Rエンジン

オクタン価 91の AKI (R+M)/2、またはオクタン価 95の RON を含んだプレミアム無鉛ガソリン

その他のすべてのエンジン

オクタン価87のAKI (R+M)/2またはRONオクタン価92の通常の無鉛ガソリン

10%以下のエタノールを含む無鉛ガソリンを使用してください。

E10

注意

他の燃料を試したりしないこと。不適當な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を招きかねません。

注意

E85のラベルの燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S. EPA (米国環境保護庁)の規制により禁止されています。

車両への給油手順

⚠ 警告

- 燃料は、一定の条件下で可燃性および爆発性を持ちます。
- 裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。
- 絶対に近くでタバコを吸ったり、炎や火花を発生させたりしないでください。
- 換気のよい場所で作業してください。
- 給油時は、車両を水平面に駐車してください。

1. エンジンを止めます。

⚠ 警告

給油前に必ずエンジンを停止してください。

2. オペレーターと同乗者を車両から降ろしてください。

⚠ 警告

給油中、誰も車両に乗せないでください。給油中に火災や爆発が起きた場合、車両に乗っていると、その場所から直ちに逃げることができない可能性があります。

3. 燃料リザーバーキャップを反時計回りにゆっくり回して、キャップを外します。



1. 燃料タンクキャップ

⚠ 警告

差圧が感じられた（燃料タンクキャップを緩めるときに笛のような音が聞こえた）場合、作業を続ける前に車両を点検または修理してください。

4. 給油ノズルをフィルターネックに差し込んでください。
5. タンクから空気を逃がして燃料が逆流しないように、燃料をゆっくり注ぎます。燃料をこぼさないように注意してください。
6. 燃料がフィルターネックの根元のところまで達したら、給油を止めます。燃料を入れすぎはいけません。

⚠ 警告

車両を温かい場所に停車する前に、絶対に燃料タンクに補充しないでください。温度上昇につれて、燃料が膨張し流出する可能性があります。

7. フューエルリザーバーキャップを時計回りに回して、完全に締め付けます。

⚠ 警告

車両からこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

慣らし運転期間

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

慣らし運転中の運転

この車両には、10 時間または300 km (200 mi) の慣らし期間が必要です。

エンジン

慣らし期間中は：

- アクセル全開での運転は避けてください。
- スロットルレバーをストロークの3/4以上押さないようにしてください。
- 加速を維持し続けるのは避けてください。
- 巡航速度での長時間の運転は避けてください。
- エンジンのオーバーヒートを避けてください。

ただし、短い加速や速度の変動は、慣らし運転の質を向上させます。

ブレーキ

警告

新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、注意を余分に払ってください。

ベルト

新品のベルトは、50 km (30 mi) の慣らし運転を必要とします。

慣らし期間中は：

- 激しい加速や減速は避けてください。
- 貨物のけん引は避けてください。
- 高速での巡航は避けてください。

基本手順

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

電子システムの起動

スタートボタンを1秒弱押し放すと、

- 下記の場合は、いずれの装置にも電源を供給せずに電装システムが30秒間オンになります。
 - D.E.S.S.キーが取り付けられていない、またはイグニッションキーがOFF位置になっている、または
 - エンジンストップスイッチが停止位置になっている
- 下記の場合は、装置に10分間電源を供給します。
 - D.E.S.S.キーが取り付けられている、またはイグニッションキーがON位置になっている、かつ
 - エンジンストップスイッチが動作位置になっている

D.E.S.S.キーまたはイグニッションキーが取り外されている、またはエンジンストップスイッチが停止位置になっている場合は、30秒後に電装システムが停止します。

注意

電装システムを頻繁に起動したり、電気装置を使用すると、バッテリーを消耗してエンジンを始動できなくなる場合があります。

エンジンを始動させます

シフトレバーをパーキングかニュートラルにする必要があります。

注記：

なお、オーバーライドモードでは、シフトレバーがどの位置であってもエンジンを始動できません。エンジンスタートボタンを押している間に、ブレーキレバーを引き続けるかブレーキペダルを踏み続けます。

モデルに応じて

- D.E.S.S.キーをD.E.S.S.ポストに取り付けます。または、
- キーをイグニッションスイッチに挿入し、キーをON位置に回します。

エンジンストップスイッチをRUNに設定します。

エンジンが始動するまで、エンジンスタートボタンを押し続けます。

エンジンが始動したら、エンジンスタートボタンを直ちに放します。

注意

数秒経ってもエンジンが始動しない場合は、スタート位置で10秒以上保持しないでください。トラブルシューティングのセクションを参照してください。

選択したギヤの変更

ブレーキをかけて車両を停止し、希望するシフトレバー位置を選択します。

ブレーキを解除します。

注意

選択したギアを変更するときは、必ずブレーキをかけて車両を完全に停止してからシフトしてください。ギヤボックスが損傷する恐れがあります。

スロットルレバーを徐々に押してエンジン回転数を上げると、CVT（無段変速機）につながります。

反対に、スロットルレバーを放すとエンジン回転数が下がります。

エンジンの停止と車両の駐車

⚠ 警告

車両が動き出す恐れがあるため、急な傾斜での駐車は避けてください。

⚠ 警告

動き出すのを防止するため、停車および駐車時は必ずシフトレバーをパーキングにしてください。

⚠ 警告

高温部品で火災が生じるような場所には駐車しないでください。

停車および駐車時は必ずシフトレバーをパーキング位置にしてください。これは、傾斜地で駐車するときに特に重要です。急な傾斜や車両が荷物を運搬している場合は、石やレンガを使用して車両に輪止めをかけてください。

駐車する際は、最も平坦な地形を選択します。

スロットルを放し、ブレーキを使って車両を完全に停止します。

シフトレバーをパーキング位置にします。

車両のエンジンストップスイッチを使用して車両を停止します。

モデルに応じて

- D.E.S.S.ポストからD.E.S.S.キーを取り外します。または、
- イグニッションキーをOFFにして、イグニッションスイッチから取り外します

急な傾斜地に駐車せざるを得ない場合や車両が荷物を運搬している場合は、岩やレンガを使ってホイールに輪止めをかけてください。

特殊な手順

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

水を吸い込んだエンジン

燃料がかぶってエンジンが始動しない場合、この特殊なモードが作動して燃料噴射を防ぎ、クランク中にイグニッションをカットします。次の手順に従ってください：

1. シフトレバーをパーキング位置します。
2. キーをD.E.S.S.ポストに取り付けるか、イグニッションキーをON位置に回します。
3. スロットルレバーを完全に押し込んだままにします。
4. エンジンスタートボタンを20秒間押し続けます。
5. スロットルレバーを放します。
6. スタートボタンを再度押すと、エンジンが始動します。

エンジンが作動しない場合

1. インジェクターの電装コネクタを抜きます。
2. スパークプラグのキャップ部分を掃除してから取り外します。
3. スパークプラグを取り外します。
4. エンジンのクランキングを数回行ってください。
5. 可能であれば新しいスパークプラグを取り付けるか、スパークプラグをきれいに乾かしてください。
6. 前述の手順に従って、エンジンを始動してください。

やはり同じようにプラグがかぶってしまう場合は、認定 Can-Am

Off-Roadディーラーにご相談ください。

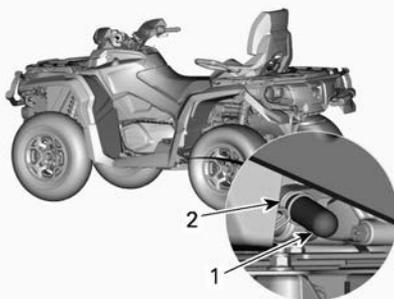
注意

エンジンオイルに燃料が混入していないことを確認してください。混入している場合はエンジンオイルを交換してください。

CVTに浸入した水

CVTのドレンプラグは、CVTカバーの後部にあります。これには左側リアフェンダーから手が届きます。

CVTのドレンプラグを点検して、水があるか確認します。



1. ドレンプラグ
2. スプリングクランプ

注意

CVT内に水がある場合は、ベルトがスリップする可能性があります。その場合、エンジンは加速しますが車両は動きません。

水がある場合は、CVTのドレンプラグを取り外して水を排出します。

ドレンプラグを取り付けて、スプリングクランプで固定します。

注記：
ホースがCVTカバーニップルに正しく挿入されているか確認してください。

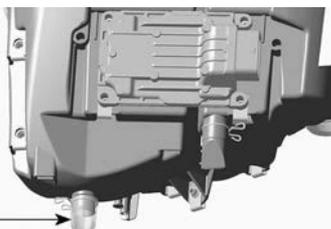
注意

正規Can-Am Off-roadディーラーに相談して、CVTの点検と清掃を行ってください。

エアフィルターハウジングへの浸水

左サイドパネルを取り外します。

エアフィルターハウジングの下にあるドレンリザーバーを点検して、水があるか確認します。



代表的な例

1. エアフィルターハウジングのドレンリザーバー

水がある場合は、クランプを押してリザーバーを取り外し、エアフィルターハウジングから水を排出します。

下記条件のいずれかに該当する場合、最寄りの認定Can-Am Off-Roadディーラーまで車両を運搬し、車両の整備を受けてください。

- 50 ml (2 fl oz (US)) (ドレンリザーバー約5杯分) 以上の水がエアフィルターハウジングにある場合。
- ドレンリザーバーに何らかの堆積物がある場合。

このような場合は、下記事項に関する車両の整備が必要です。

- ベント
- CVTエアフィルターの清掃
- CVTのクリーニング
- 燃料タンクブリーザーの交換
- 潤滑の点検および必要に応じて交換 (エンジン、ギヤボックスおよびリアファイナルドライブ)

注意

車両の整備を行わないと、下記のコンポーネント (ただしこれらに限定されない) に回復不能な損傷が生じる場合があります。

- エンジンおよびギヤボックス
- 燃料ポンプ
- CVT
- フロントディファレンシャル
- リアファイナルドライブ

車両が転覆した場合

車両が転覆した、または横に傾いたままの場合は、ホイールが下になるように車両を戻してください。

車両に損傷がないか点検してください。

警告

車両が損傷している場合は、絶対に運転しないでください。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

車両に損傷がない場合は、メンテナンスの手順のセクションを参照して下記の点検を行ってください。

- エアフィルターハウジングにオイルが溜まっていないか点検します。オイルがある場合は、エアフィルターとエアフィルターハウジングを清掃します。
- エンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。

- エンジンクーラントレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- ギヤボックスオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- リアファイナルドライブのオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- エンジンを始動します。オイル圧のランプが点灯している場合は、直ちにエンジンを停止してください。認定Can-Am Off-Roadディーラーまでお問い合わせください。

車両が転倒したときは必ず、認定Can-Am Off-Roadディーラーの点検を受ける必要があります。

車両が水没した場合の対処

車両が水没した場合は、直ちにエンジンを停止してください。下記のものを使用しないでください。

- すべての電気装置
- ウィンチ（装備されている場合）

認定Can-Am Off-Roadディーラーにできるだけ早く車両を持ち込む必要があります。エンジンを始動しようとしないでください！

注意

車両が水没した場合、適切な始動手順に従わないと重大な損傷が生じます。

車両をできるだけ早く水から引き出して、下記のことを行ってください。

- エアフィルターハウジングから水を抜き取ります。エアフィルターハウジングへの浸水のセクションを参照してください。
- CVTから水を抜き取ります。CVTに浸入した水のセクションを参照してください。

注意

できるだけ早く認定Can-Am Off-Roadディーラーの整備を受ける必要があります。

乗り心地の調整

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

⚠ 警告

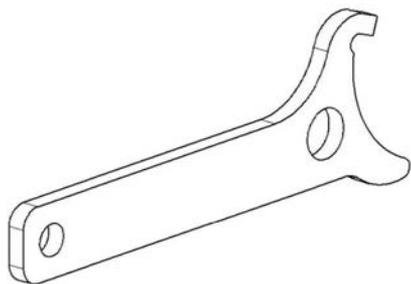
指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

⚠ 警告

サスペンションの調整は、車両のハンドリング性能に影響を与える可能性があります。サスペンションの調整後、必ず時間を取って車両に慣れるようにしてください。

以下はサスペンションの微調整のガイドラインです。

車載工具に含まれているサスペンション調整ツールを使用します。



サスペンションの調整

サスペンションの調整と荷重は、車両のハンドリング性能や快適性に影響を与えます。

サスペンション調整の選択は、運転者の体重、好み、走行速度およびフィールドの状態により変化します。

注記：

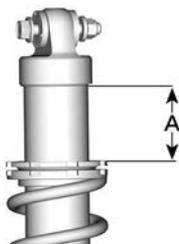
工場設定はほぼすべての状況に適しています。地上高の増加は車両のハンドリング性に影響することを考慮してください。

フロントサスペンションの工場プリロード設定

| 調整 | モデル | 工場出荷時の設定 |
|------------|------------------------|--------------------------|
| スプリングプリロード | リミテッド XT-P、 X xc | 42.4 mm (1.7 in) |
| | その他の 全モデル | カム位置を3にする |

リアサスペンションの工場プリロード設定

| 調整 | モデル | 工場出荷時の設定 |
|------------|--------------|-------------------------|
| スプリングプリロード | 制限 | 100 mm (4 in) |
| | XT-P | 108 mm (4.3 in) |
| | X xc | 106 mm (4.2 in) |
| | その他の 全モデル | カム位置を3にする |



A = スプリングプリロード距離

ばねプリロード調節

⚠ 警告

フロントまたはリヤサスペンションの左と右のショック調整は、必ず同じ位置にセットする必要があります。片方のショックのみを調整することは避けてください。調整が均等でないとハンドリング性能および安定性が損なわれ、事故につながる可能性があります。

乗り心地を固めにしたり粗い条件の場合は、スプリングを短くします。

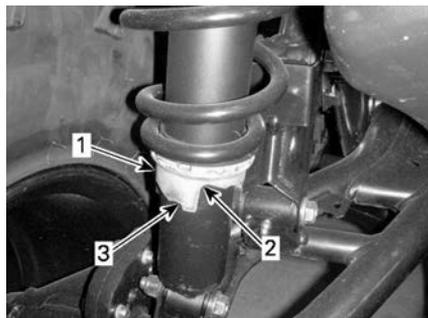
乗り心地を柔らかめにしたりスムーズな条件の場合は、スプリングを長くします。

リミテッド、XT-PおよびX xcを除くすべてのモデル

調整カムを回してスプリングプリロードを調整します。

注記：

FOX製ショックのプリロードを増加しないでください。

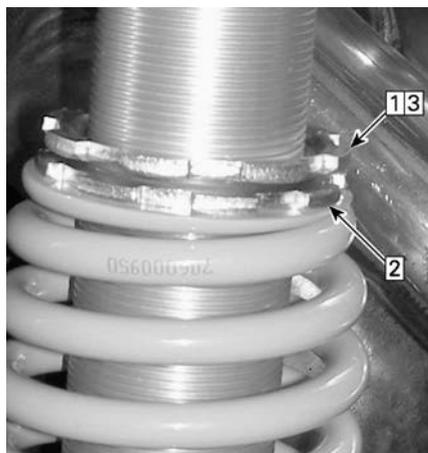


代表的な例

1. 調整カム
2. 柔らかめの調整
3. 固めの調整

XT-P、X xcおよびリミテッドモデル

調整リングを回してスプリングプリロードを調整します。



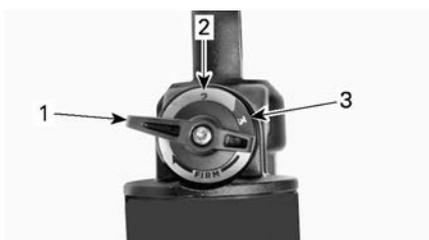
代表的な例

1. 上部の固定リングを緩めます。
2. それに応じて調整リングを回します。
3. 上部の固定リングを締め付けます。

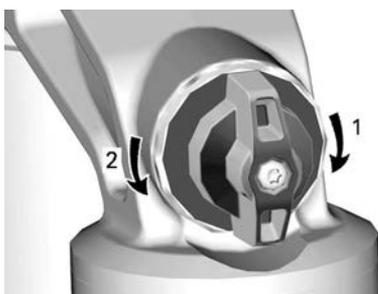
ショックダンパーの調整 - XT-Pおよびリミテッド

圧縮ダンパーは、走行時のショックアブソーバーの応答の仕方を制御します。

| 位置 | 設定 | 大きい起伏での結果 |
|----|------------|-----------|
| 1 | 柔らかい | 柔らかめの圧縮減衰 |
| 2 | 中程度 (工場設定) | 中程度の圧縮減衰 |
| 3 | 硬化 | 硬めの圧縮減衰 |



1. 位置1
2. 位置2
3. 位置3



圧縮ダンパー

1. 減衰増大 (固)
2. 減衰低減 (軟)

ショックダンパーの減衰力を増やすには、アジャスターを時計方向に回します (硬め)。

ショックダンパーの減衰力を減らすには、アジャスターを反時計方向に回します (柔らかめ)。

| 対処 | 結果 |
|-----------|-----------|
| 圧縮減衰力を増やす | 硬めの圧縮減衰 |
| 圧縮減衰力を減らす | 柔らかめの圧縮減衰 |

⚠ 警告

圧縮減衰の設定が両側とも同じになっていることを確認します。

ショックアブソーバダンパー - X xc

| フロントサスペンションダンパーの工場設定 | |
|----------------------|------------------------------|
| リバウンド | フルストップ位置から反時計方向に12回クリックさせた位置 |
| 高速圧縮 | フルストップ位置から反時計方向に2.25回転させた位置 |
| 低速圧縮 | フルストップ位置から反時計方向に2.25回転させた位置 |

| リアサスペンションダンパーの工場設定 | |
|--------------------|------------------------------|
| リバウンド | フルストップ位置から反時計方向に12回クリックさせた位置 |
| 高速圧縮 | フルストップ位置から反時計方向に2.25回転させた位置 |
| 低速圧縮 | フルストップ位置から反時計方向に2.25回転させた位置 |

ショックアブソーバー圧縮ダンパー-Xxc

圧縮減衰は、ショックアブソーバーによる圧縮ストロークの抑制方法を制御します。



圧縮減衰 - ショックアブソーバー上側

1. 増加 (硬くなる)
2. 減少 (軟らかくなる)

| 対処 | 結果 |
|-----------|-----------|
| 圧縮減衰力を増やす | 硬めの圧縮減衰 |
| 圧縮減衰力を減らす | 柔らかめの圧縮減衰 |

⚠ 警告

圧縮減衰の設定が両側とも同じになっていることを確認します。

ショックアブソーバー伸側ダンパー-Xxcモデル

伸側減衰は、ショックアブソーバーによる昇降ストロークの抑制方法を制御します。



伸側減衰 - ショックアブソーバー下側

1. 増加 (硬くなる)
2. 減少 (軟らかくなる)

ダイナミックパワーステアリング (DPS) のアシストレベル調整 (DPS装備モデル)

トランスミッションレバーがパーパスに設定されている場合は、DPSモードを変更できません。

トリモードダイナミックパワーステアリング (DPS) は、運転者のためにステアリング操作の簡単なアシストを行います。アシストのレベルは車両速度や運転者の要望に応じて自動的に適応し、通常はアシストの需要が最も高いとされる低速時に最大の操舵力を発揮します。速度が上昇するとアシストが次第に少なくなり、運転者にとって最高の操舵感覚と精度が維持されます。

アシストは3つのモードから選択できます。最小と最大各モードとも、車両速度や運転者の要望に自動的に継続して適応するため、走行時に変更する必要がありません。これらのモードは、それぞれの運転者の好みに合わせてアシストのレベルを設定するために使用されます。

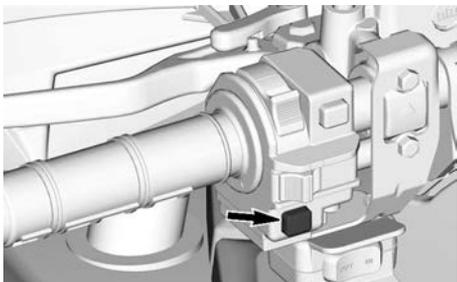
事前に設定された次の3モードから選択できます。

| DPS モード | |
|----------|---------------|
| DPS MAX. | ステアリングアシスト最大 |
| DPS MED. | ステアリングアシスト中程度 |
| DPS MIN. | ステアリングアシスト最小 |

多機能スイッチを使用してDPSモードを変更する場合、エンジンが作動していなければなりません。この手順を実行するために、電装システムの起動は不要です。

どのDPSモードが作動しているかを確認する方法

- DPSボタンを短く（1秒間）押します。



- 前の画面に戻るには、同じボタンを再度押してください。

DPSモードの変更方法

- DPSボタンを短く（1秒間）押して、どのDPSモードが作動しているかを確認します。
- 別のモードを選択するには、DPSボタンを（2秒間）長押しします。希望のモードになるまで繰り返します。

注記： また、（所有するモデルによって）クラスターの下側ボタンまたはトリップ/メニュースイッチを長押しすることで、DPSモードを変更することも可能です。変更するには、エンジンを始動する必要はありませんが、電装システムを起動しておかなければなりません。

車両の移送

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

牽引または移送サービスにお問い合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワーランプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

注意

この車両は牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムに深刻な損傷を与える恐れがあります。

注意

車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください — 表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

警告

重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

- 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- (雪や泥で) 身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

警告

車両移送中は、車内に物を固定せずに置かないでください。

警告

ウィンドシールドなどのコンポーネントの損傷を防止するため、必ず車両を前進方向に向けた状態で移送してください。移送の際は部品を外してもかまいません。

警告

車両をプラットフォームまたはトレーラーに載せる前に、下記の安全注意事項に従ってください。

| 安全注意事項 | |
|--------|---|
| 運搬装置 | 運搬用備品（プラットフォーム、トレーラー、または平台）は、車両を安全に支えて移送するための適切な寸法と能力を持つものでなければなりません。 |
| 運搬用車両 | 運搬用車両の能力や仕様を超えないでください。トレーラーまたはプラットフォームが運搬用車両のヒッチに正しく固定されていることを確認してください。 |
| 視界 | 運転中は常に良好な視界を確保してください。 |
| 地形 | 運搬用車両やトレーラーは水平面上になければなりません。トレーラーや運搬用車両が動かないよう、輪留めを使用してください。 |
| ランプ | 適切な能力を持つランプを、トレーラーまたはプラットフォームに固定して使用します。ランプを急角度にして使用しないでください。 |
| 周囲の人々 | 車両を載せるときは、周囲の人々が車両や牽引装置の近くにいないことを必ず確認してください。 |

車両の力を利用して牽引装置に載せる

車両が自力で上ることができるときは、以下の手順に従ってください。

1. 保護具を着用します。
2. シートベルトを締めます。
3. ローギヤだけを使用します（装備されている場合）。
4. 車両に4WDの機能があれば、これを使用します。
5. 走行中はシートに着席した状態を維持します。
6. レールまたはプラットフォーム上の正しい位置にあることを確認します。
7. トレーラーから十分離れた位置から車両を走行させ始め、車両をランプに対して直進位置に揃えまうとしないでください。ランプに達したときにリヤホイールの位置が揃わず、車両が落下する恐れがあります。

8. フロントホイールをランプにゆっくりと上らせ、位置が揃っていることを確認します。
9. 車両を後退させ、ランプが固定されていることを確認してから適切な速度で作業を進めます。
10. 車両をプラットフォームまたはトレーラー上まで慎重に走行させます。十分な速度で、スピンしたり急加速したりすることのないように上ってください。ランプが動かないように、ランプ上にいるときは加速しないでください。
11. トレーラーが前方に傾く場合も、加速させずに車両を単に移動させるだけにしてください。
12. 車両が上ったら、シフトレバーをパーキング位置にします。ブレーキロック機構を作動させます（装備されている場合）。

車両が自力で上れない場合、行き過ぎるリスクがある場合、または何らかの危険な状況が原因で自力で上ることができない場合は、ウィンチを使用して次のように作業を進めます。

ウィンチを使用して車両を牽引装置上まで引く

車両が自力で上ることができないときは、以下の手順に従ってください。

⚠ 警告

他の人の助けを借ります。一人が車両に乗って車両のステアリング、ブレーキ、およびウィンチのスイッチを操作し、もう一人が周辺環境や操作の安全性を管理します。

⚠ 警告

ウィンチのフックを適切なアンカーポイントに安全に取り付け可能であることを確認します。適切な索具を使用してください。

注記：

車両を安全に始動できる場合は、バッテリーの消耗を防止するため、ウィンチ操作時にエンジンをアイドリングさせておきます。

1. シフトレバーをニュートラル(N)にします。
2. 車両にウィンチが装備されている場合は、そのウィンチを使用して車両をプラットフォームまで移動させます。
3. 車両にウィンチが装備されていない場合は、以下の手順に従ってください。
 1. ストラップを下側のフロントバンパーアンカーに取り付けます。
 2. 牽引車のウィンチケーブルにストラップを固定します。
 3. ウィンチを使って車両を長物トレーラーに引っ張りこみます。
4. シフトレバーをパーキング位置にします。ブレーキロック機構を作動させます(装備されている場合)。

移送時の車両の固定

この車両を輸送するときは、適切なストラップを使用してトレーラーまたはピックアップボックスに車両を固定します。一般的なロープの使用は推奨しません。

⚠ 警告

重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

- 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- (雪や泥で)身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

⚠ 警告

この車両を、乗用車などの車で牽引しないでください。トレーラーを使用してください。このウォータークラフトを直立させて運搬するのはやめてください。車両は通常の動作位置(すべてのホイールが床に着いている状態)としてください。

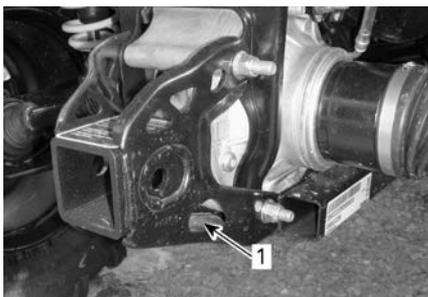
下記の手順を必ず行ってください。

- 輸送前に車両にラックから貨物を降ろします。
- シフトレバーをパーキング位置にします。
- パーキングブレーキをかけます。
- 車両を前側および後ろ側の固定ポイントで固定します。



代表的な例

1. 前側の固定ポイント位置



代表的な例

1. 後ろ側の固定ポイント位置

注意

車両を他の位置に固定すると、車両が損傷する場合があります。

トレーラーから車両を降ろす

⚠ 警告

移送中に車両が動いた可能性があります。車両の位置がランプに揃っていることを確認してから、作業を進めてください。

⚠ 警告

トレーラーから車両を後退させるときは、視認性が著しく低下します。他の人に手伝ってもらい、安全な環境であり位置が正しく揃っていることを確認してください。

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。車両は、メンテナンススケジュールに基づいて整備してください。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、**始業点検は必要です。**

最初のメンテナンスの手順として故障コードを確認することは良い習慣であり、強く推奨します。

警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

EPA規制 - カナダおよび米国向け車両

修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には、BRPまたは認定Can-Am Off-Roadディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。

認定Can-Am Off-Roadディーラーは、車両のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、認定Can-Am Off-RoadディーラーまたはBRPと取引のある工場の使用を条件としていません。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を認定Can-Am Off-Roadディーラーに制限しています。詳細は、保証のセクションにある米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国EPAはエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

過酷な粉塵環境

エアフィルターのメンテナンスガイドライン

エアフィルターは走行条件に応じて整備します。

次のような極端にほこりの多い環境では、エアフィルターをより頻繁に整備します。

- 乾燥した砂の上での走行
- 乾燥した土で覆われた路面での走行
- 雪で覆われた路面での走行

– 乾燥した砂利道または類似環境での走行

これらの環境でグループ走行を行うと、エアフィルターのメンテナンス回数が増えます。

注記：

上記のような状況で車両を使用するときは、雪の堆積を防止するために、アクセサリーのプレフィルターを使用する必要があります。詳細は認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。

メンテナンススケジュールの例

トレイルでの走行条件での使用

過酷な走行条件（粉塵または泥が多い）、または重量物を運搬する条件での使用

メンテナンスのスケジュール

推奨するメンテナンスの間隔は次の表に示す通りです。これに従い、適切なメンテナンスを実施してください。メンテナンススケジュールの項目のうち、走行距離または時間に関わらず、必ず定期的に行う必要があるものもあります。

1500 km (1,000マイル) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)

750 km (500 mi) 走行ごと、または
25運転時間ごと (いずれか早い方)

日常点検に記載されているすべての項目を実施してください。

故障コードの確認

エンジンエアフィルターを確認して清掃する。必要に応じて交換する。

バッテリー接続部を確認する。

リアプロペラシャフトジョイントを潤滑する。

タイロッドエンドおよびボールジョイントに遊びがないか点検し、ベローズの状態を確認する。

フロントサスペンションアームブッシュを潤滑する。

フロントおよびリアスタビライザーバーのブッシュを潤滑する。

ドライブシャフトベローズおよびプロテクターを点検する。

ブレーキパッドを点検する。必要に応じて交換する。

ホイールベアリングに異常な遊びがないか点検する。

**1500 km (1,000マイル) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

**750 km (500 mi) 走行ごと、または
25運転時間ごと (いずれか早い方)**

CVTエアフィルターを点検し、清掃する。必要に応じて交換する。(装備されている場合)

ホイールビードロックを締め付ける (装備されている場合)。

ロアショックアブソーバーの球面ベアリングを潤滑する (リミテッド、X xc およびXT-Pモデル)

アッパーショックアブソーバーの球面ベアリングを潤滑する (リミテッドモデル)

**3 000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)**

**1500 km (1,000マイル) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

日常点検に記載されているすべての項目を実施してください。

故障コードの確認

バルブクリアランスを調整する。

マフラースパークアレスターを清掃する。

スロットルボディを確認して清掃する。

フューエルベントブリーザーフィルターを交換する。

CVTドライブベルトを点検し、CVT プーリーを清掃する。

ドライブプーリーのワンウェイベアリングを潤滑する。

下記事項を1年に1回以上行う必要があります。

エンジンオイルとフィルターを交換する。

スロットルケーブルを潤滑する。

ブレーキシステムを点検し、清掃する。

バッテリーの状態を点検する。

**3 000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)**

**1500 km (1,000マイル) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

ステアリングシステムに異常な遊びがないか確認する。

フロントディファレンシャルおよびリアファイナルドライブのオイルレベルを点検し、汚れがないか確認する。

ギヤボックスオイルのレベルを確認し、汚れがないか調べる。

**最初の3 000 km (2,000 mi) および
6 000 km (4,000 mi) の走行後に実施し、以降は定期スケジュールに従って
ください**

**最初の1 500 km (1,000 mi) および
3 000 km (2,000 mi) の走行後に実施し、以降は定期スケジュールに従って
ください**

ギヤボックスオイルを交換する。

車両速度センサー (VSS) を清掃する。

**6 000 km (4,000 mi) 走行ごと、または
200運転時間ごと (いずれか早い方)**

**3 000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)**

日常点検に記載されているすべての項目を実施してください。

故障コードの確認

クーリングシステムを確認する。

エンジンクーラントの効力をテストする。

燃料システム (蒸発排ガスシステムのコンポーネントを含む (装備されている場合)) に漏れがないか点検する。

燃料ポンプ圧を確認する。

キャニスターベントプレフィルター (蒸発排ガスシステムのコンポーネント) を交換する (装備されている場合)

スパークプラグの交換

6 000 km (4,000 mi) 走行ごと、または
200運転時間ごと (いずれか早い方)

3 000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)

フロントディファレンシャルオイルを交換する。

リアファイナルドライブのオイルを交換する。

ギヤボックスオイルを交換する。

インプットおよびアウトプットシャフトシール (ギヤボックス、ディファレンシャルおよびファイナルドライブ) を点検する。

車両速度センサーを清掃する。

ロアおよびアッパーステアリングコラムハーフブッシュを清掃し、潤滑する。

下記事項は2年毎に行う必要があります。

ブレーキオイルを交換する。

12 000 km (8,000 mi) 走行ごと、または
5年ごと (いずれか早い方)

6 000 km (4,000 mi) 走行ごと、または
5年ごと (いずれか早い方)

エンジンクーラントを交換する。

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

メンテナンス手順には複雑なものもあるため、優れた機械技術が必要になります。

これらの手順について自信がない場合は、認定 Can-Am 性能に Can-Am off-Road デイラー、修理店または担当整備士に遠慮なくご相談ください。

⚠ 警告

特に指示がない限り、エンジンを停止してキーを取り外してから、メンテナンスを行う必要があります。

⚠ 警告

ロック装置（ロックタブ、戻り止めファスナーなど）の取り外しが必要な場合、必ず新品と交換してください。

メッセージのリセット：メンテナンスが必要

多機能ゲージ (LCD)

1. メインディスプレイ（車両速度）で、SET を押したままにします。
2. ロービームとハイビームを2秒間隔で3回切り替えます。
3. SET ボタンを放します。

デジタルディスプレイ

1. 下側ボタン（4.5インチデジタルディスプレイ）またはメニューボタン（7.6インチデジタルディスプレイ）を使用して、SETTINGS の RES MAIN を選択します。
2. ボタンを押したままにして、メンテナンスメッセージをリセットします。

エンジンエアフィルター

エアフィルターのメンテナンスガイドライン

どのATVでも、エアフィルターのメンテナンスは適切なエンジン性能や寿命を確保するうえで極めて重要です。

エアフィルターは走行条件に応じて整備します。

下記に示す粉塵の多い条件では、エアフィルターのメンテナンスを増やし、フォームフィルターにオイルを追加する必要があります。

- 乾燥した砂地での走行。
- 乾燥した泥で覆われた表面での走行。
- 乾燥した砂利のあるトレイルまたはそれに類似した条件での走行。
- 種や穀物の殻が多くある場所での走行。
- 激しい積雪条件での走行。

これらの環境でグループ走行を行うと、エアフィルターのメンテナンス回数が増えます。

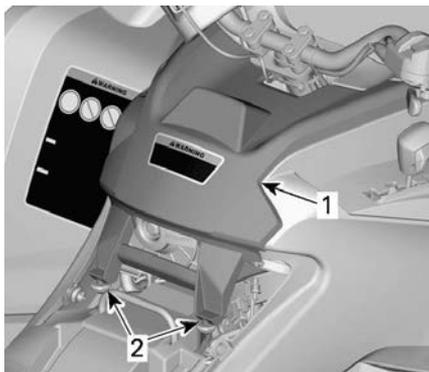
アクセサリーの「ダストコンディション」用プレフィルターを使用してもかまいません。詳細は認定 Can-Am デイラーにお問い合わせください。

エンジンエアフィルターの取り外し

注意

エアフィルターのハウジングのいかなるコンポーネントを取り外したり、改造しないでください。さもないと、エンジンパフォーマンスの低下または損傷が起る可能性があります。エンジンは、これらのコンポーネント専用に変更されています。

1. シートを取り外します。
2. スタッドがグロメットから外れるまで、コンソール後部を上方向に持ち上げます。



代表的な例

1. コンソール
2. スタッドとグロメット
3. コンソールを後方に引きます。
4. エアフィルターのカバーを取り外すには反時計回りに回します。

注記：
取り外しが楽なように、ソケットレンチを使用してもかまいません。

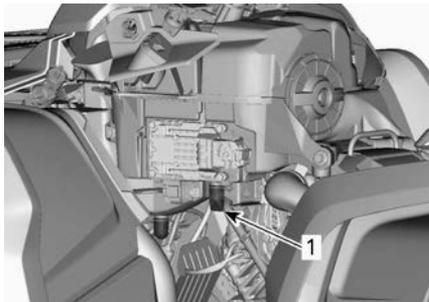


1. エアフィルターのカバー
5. エアフィルターのを取り外します。



エンジンエアフィルターハウジングの点検およびドレン

1. 左側パネルを取り外します。
2. エアフィルターハウジングのインレットドレンチューブから水を抜きます。



代表的な例

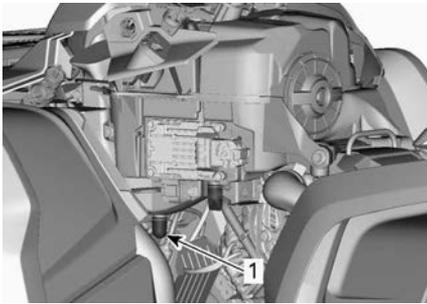
1. エアフィルターハウジングのインレットドレンチューブ
3. エアフィルターチャンバーの汚れを確認します。
 - 異物や水がある場合は、掃除機を使用してエアフィルターチャンバーを清掃します。

注意

圧縮エアをエアフィルターチャンバー内に吹き付けないでください。

4. エアフィルタードレンチューブを確認します（チャンバーを清掃します）。

- 異物や水がある場合は、特殊な手順のセクションを参照してください。
- 汚れの元を調べてください。



代表的な例

1. エアフィルタードレンチューブ
エンジンエアフィルターの清掃と潤滑

ペーパーフィルターの清掃

1. フォームフィルターがペーパーフィルターから取り除かれていることを確認します。
2. ペーパーフィルターから重い粉塵を叩き落とします。

こうすることで、汚れや粉塵が

ペーパーフィルターから外れません。

注記：

ペーパーフィルターには寿命があります。汚れすぎたり詰まった場合は交換してください。

注意

ペーパーエレメントに圧縮エアを吹き付けしないでください。ペーパーエレメントが損傷し、ほこりの多い環境で使用すると、フィルターのろ過性能が低下する可能性があります。エンジンエアフィルターが過度に汚れているため、推奨手順に従って清掃できない場合は交換してください。

注意

ペーパーフィルターを洗剤で洗淨しないでください。

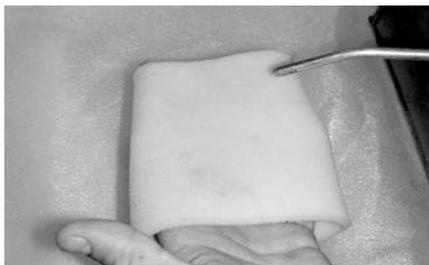
フォームフィルターの清掃

1. エアフィルタークリーナーをフォームフィルターの内側および外側に吹き付けて、メーカーの説明に従います。



代表的な例

2. フォームフィルターを完全に乾燥させます。



代表的な例

注記：
エレメントの汚れがひどい場合は、2回吹き付けなければならない場合があります。

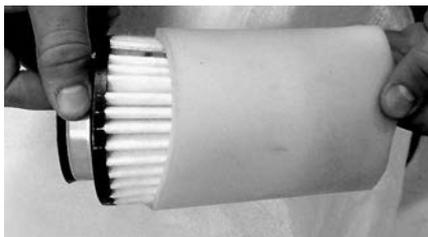
フォームフィルターの給油

1. フィルターに汚れがないことを確認します。フォームフィルターの清掃のセクションを参照してください。
2. すでに乾燥したフォームフィルターにエアフィルターオイルを吹き付けます。



代表的な例

3. 3~5分間放置します。
4. フォームフィルターを吸収布に包み込み、優しく絞り、ペーパーフィルターに付着しかねない余分な油分を取り除きます。これにより、フォームフィルターを完全にオイルで被覆させることを確保できます。
5. フォームフィルターをペーパーフィルターの上に取り付けます。

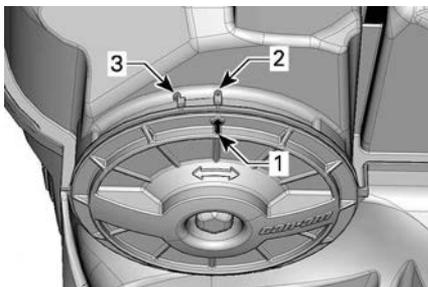


代表的な例

6. 今後の取り付けおよび取り外しの容易さを確保するために、フィルターのプラスチック本体にわずかに油を注ぎます。

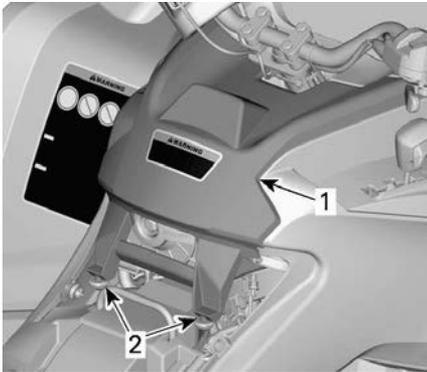
エンジンエアフィルターの取り付け

1. 注油されたフォームフィルターをペーパーエアフィルターに取り付けます。
2. エアフィルターのOリングシールとプラスチック本体にグリースを若干塗布します。
3. 取り外しとは逆の手順でエアフィルターを取り付けます。
4. エアフィルターカバーがエアフィルターハウジングに正しくロックされていることを確認します。フィルターカバーとハウジングの図を参照してください。



1. カバー位置の矢印
2. ロック位置
3. ロック解除位置
5. 取り外しとは逆の手順でコンソールを取り付けます。しかし、次の点に注意を払ってください。
 - コンソールの前側タブをスロットにそろえてから、コンソールを前方に押し込みます。
 - その後、スタッドをコンソール後部のグロメットにそろえ

て、スタッドがグロメットに掛かるまでスタッドを挿入します。



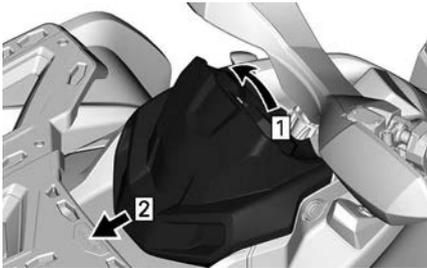
代表的な例

1. コンソール
2. スタッドとグロメット
6. シートを再度取り付けます。

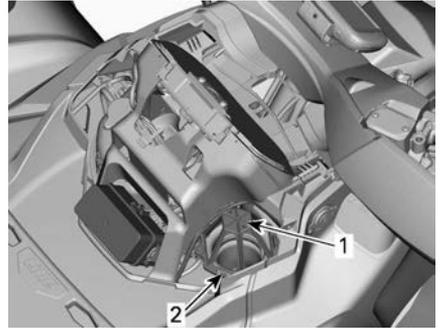
CVTエアフィルター

CVTエアフィルターの取外し

1. ゲージサポートを取り外します。



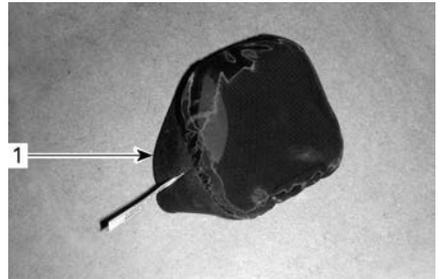
1. 引く
2. スライドさせる
2. タブ (3) を押してエアフィルターを取り外します。



1. CVTエアフィルター
2. タブ

CVTエアフィルターの清掃

1. エアフィルタークリーナーをフィルターの内側および外側に吹き付けて、メーカーの説明に従います。
2. フィルターを完全に乾燥させます。



1. CVTエアフィルター (スリップオンタイプ)



1. CVTエアフィルター (クリップオンタイプ)
3. CVTエアインレット端部の内側を清掃します。

CVTエアフィルターの取り付け スリップオンエアフィルター装備モデル

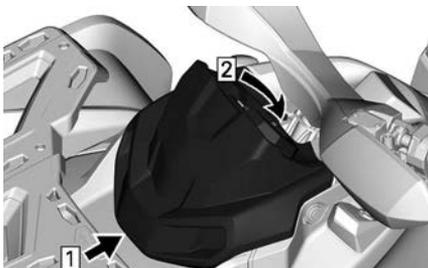
側を伸ばしてエアフィルターをCVTインレットに取り付けます。

クリップオンエアフィルター装備モデル

タブをそれ用のスロットに挿入することでエアフィルターをCVTに取り付け、カチッと音がするまでエアフィルターを押します。

すべてのモデル

ゲージサポートを取り付けます。



1. フック
2. 固定タブをかける

エンジンオイル

エンジンオイルレベルの確認

注意

オイルレベルが不適切なままでエンジン/ギヤボックスを使用すると、エンジン/ギヤボックスに重大な損傷を与える可能性があります。

注意

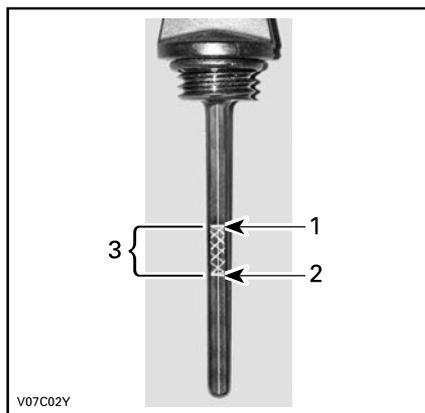
エンジンが冷えているときにオイルレベルを確認してください。

1. 水平面に車両を置いてください。
2. 異物がエンジン内に入らないように、オイルレベルゲージ部を清掃します。



代表例 - エンジン右側

1. ディップスティック
3. ディップスティックを緩めて引き抜き、オイルを拭き取ります。
4. ディップスティックを取り付けて完全にねじ込みます。
5. ディップスティックを外してオイルレベルを読み取ります。オイルレベルが、上側のマークまたはその付近まで達していなければなりません。



代表的な例

1. 満タン
2. 給油
3. 動作範囲

オイルレベルが2つのマークの間にある場合は、オイルレベルゲージを取り付けます。

オイルレベルがレベルゲージの下側のマークに達していない場合は、次の手順に従ってオイルを補充します。

- オイルレベルゲージの穴にじょうごを入れます。

- 推奨オイルを少量補充し、オイルレベルを再度確認します。
- オイルレベルがレベルゲージの上側のマークに達するまで、この手順を繰り返します。

注意

燃料を入れすぎてはいけません。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

6. ディップスティックを適切に締め付けます。

推奨エンジンオイル

Rotax®エンジンは、XPS™オイルを使用して開発と検証が行われました。

BRPでは、XPSエンジンオイルまたは同等の使用を常に推奨しています。

エンジンに適さないオイルの使用が原因で生じた損傷には、BRPの限定的保証が適用されない場合があります。

| XPS推奨エンジンオイル | |
|--------------|----------------------|
| 一般用 | XPS 4T 5W40合成ブレンドオイル |
| 低温用 | XPS 4T 0W40合成オイル |
| 高温用 | XPS 4T 10W50合成オイル |

| XPS推奨エンジンオイル |
|---|
| 推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合 |
| <p>潤滑油に関する以下の仕様を満たすかこれを超える4ストロークSAEエンジンオイルを使用します。</p> <p>オイルの容器に貼付されているAPIサービスラベルの分類を必ず確認し、表示されている規格が含まれていることを必ず確認してください。</p> <p>- APIサービス分類SJ、SL、SMまたはSN</p> |

エンジンオイルを交換します。

⚠ 注意

エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。エンジンオイルが若干冷めるまで待ちます。

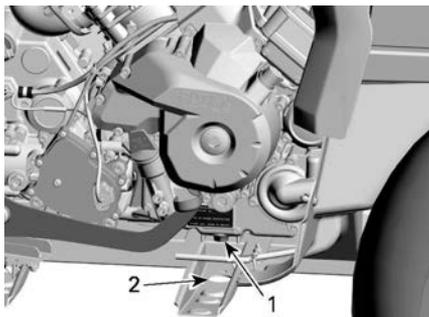
注意

エンジンオイルとオイルフィルターは同時に交換する必要があります。

1. 車両が平面上に停車していることを確認します。
2. エンジンを通常の動作温度まで暖めて、エンジンを停止します。
3. ディップスティックを取り外してください。
4. オイルドレンプラグ周辺を清掃します。
5. オイルドレンプラグの下にドレンパンを置きます。
6. マグネットドレンプラグを外して、ガスケットリングを廃棄します。

⚠ 注意

エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。



1. 磁気ドレンプラグ
2. フレームからアクセス
7. 十分時間をかけて、オイルがエンジンおよびオイルフィルターから流れ出るようにしてください。
8. オイルフィルターを交換します。エンジンオイルフィルターのセクションを参照してください。
9. 磁石付きドレンプラグに付着した金属の切粉や残渣を除去します。

注意

ごみの付着はエンジン内部の損傷を示すものです。

10. 新品のガスケットリングをマグネットドレンプラグに取り付けます。

注意

ガスケットリングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換してください。

11. マグネットドレンプラグを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク

| | |
|-----------|--------------------------------|
| M12ドレンプラグ | 20 ± 2 Nm (15 ± 1 lbf-ft) |
| M18ドレンプラグ | 30 ± 2 Nm (22 ± 1 lbf-ft) |

12. 推奨オイルを適正レベルまでエンジンに補給します。

オイル容量については技術仕様を参照してください。

13. エンジンを始動して数分間アイドリングさせます。
14. オイルフィルター部分とオイルドレンプラグ部分から漏れていないことを確認します。
15. エンジンを止めます。
16. しばらく待ってオイルがクランクケース内に循環したあとに、オイルレベルを確認します。
17. 必要に応じて補給します。
18. 現地の環境規制に基づいてオイルを処分してください。

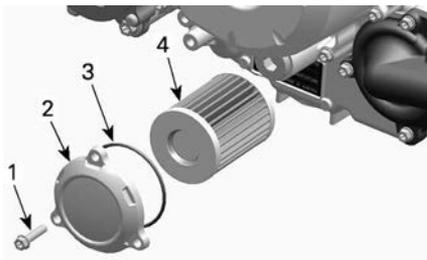
エンジンオイルフィルター

オイルフィルターの取り外し

オイルフィルターエリアを清掃します。

オイルフィルターカバーを取り外します。

オイルフィルターを取り外します。

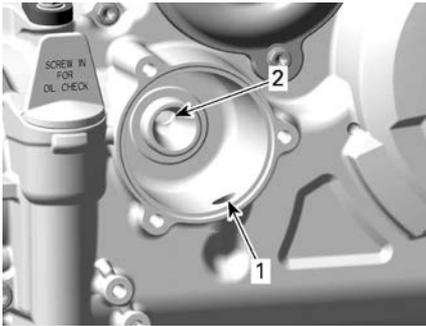


代表的な例

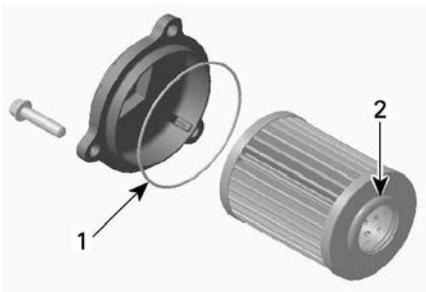
1. オイルフィルタースクリーナー
2. オイルフィルターのカバー
3. Oリング
4. オイルフィルター

オイルフィルターの取り付け

1. 汚れや他の汚染がないかオイルフィルターインレットおよびアウトレット部を点検し、清掃します。



1. オイルポンプからオイルフィルターに続くインレットの穴
2. エンジンオイル供給システムに続くアウトレットの穴
2. 新しいOリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
3. 新しいフィルターをカバーに取り付けます。
4. エンジンオイルをOリングに、グリースをフィルター端部に塗布します。



1. オイル少量
2. オイル少量

注意

フィルターおよびカバーを取り付ける際にOリングを挟み潰さないように注意してください。

5. カバーをエンジンに取り付けます。
6. オイルフィルターカバーのねじを推奨トルクで締め付けます。

締め付けトルク

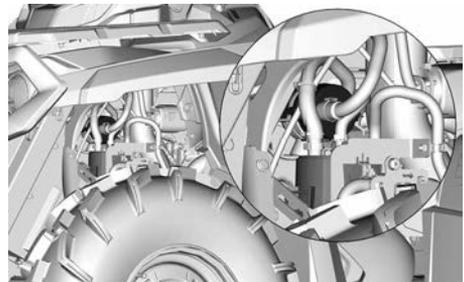
| | |
|-------------------|--------------------------------|
| オイルフィルターカバーのスクリュー | 10 ± 1 Nm (89 ± 9 lbf-in) |
|-------------------|--------------------------------|

7. エンジンに零れたオイルはふき取ってください。

蒸発排ガスシステムフィルター

蒸発ガスシステムフィルターの交換

蒸発ガスシステムフィルターは、EVAPキャニスターの上部にある左フロントインナーフェンダーの後方にあります。



1. EVAPキャニスターサポート上部にラウンドフィルターを固定している結束バンドを切断します。
2. フィルターを十分引き出し、両ホースに手が届くようにします。
3. ホースをフィルターに固定しているOetikerクランプを切断します。
4. フィルターを取り外し、廃棄します。
5. 新品のOetikerクランプを使用して新品のフィルターを取り付けます。

燃料ベントブリーザーフィルター

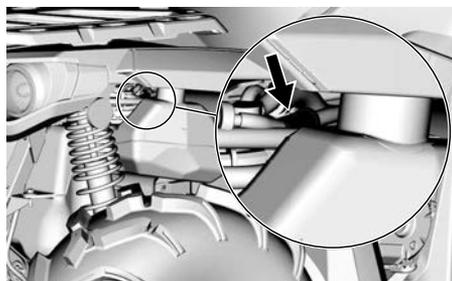
燃料ベントブリーザーフィルターの交換

燃料ベントブリーザーフィルターは、燃料タンクネックとシートとの

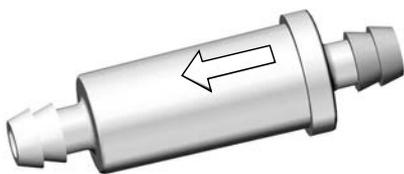
間の、リアフェンダーの下にあります。



1. リア右側ホイールアーチ付近にあるホースを、フィルターから外します。



2. フィルターを取り外し、廃棄します。
3. 矢印が車両後部を向くように、新しいフィルターを取り付けます。



4. ホースがしっかりと差し込まれていることを確認してください。

ラジエーター

ラジエーターの点検

1. ラジエーター部に汚れがないか定期的に確認します。



代表的な例

2. ラジエーターとホースに漏れや損傷がないか点検します。
3. 放熱フィンを点検します。放熱フィンはきれいで、ラジエーターの正常な冷却を妨げるような泥や汚れ、落ち葉などの堆積物が付いていない状態でなければなりません。
4. 堆積物を手でできるだけ取り除きます。

注記：

清掃しやすいよう、インナーフェンダーを取り外すこともできます。

付近で水が使える場合は、ラジエーターフィンをすすぎます。

⚠ 注意

放熱フィンが高温のときは、ラジエーターを手で清掃しないでください。
ラジエーターを冷ましてから清掃してください。

注意

清掃時に放熱フィンを損傷しないよう注意してください。
フィンを損傷するような物 / 工具を使用しないでください。
フィンは、効率的な冷却を実現するために意図的に薄くしています。
ホースを使うときは、低圧で使用してください。
高圧洗浄機を使用しないでください。

5. 認定 Can-Am Off-Road ディーラー、修理店、または担当整備士に、クーリングシステムの性能点検を依頼してください。

エンジン・クーラント

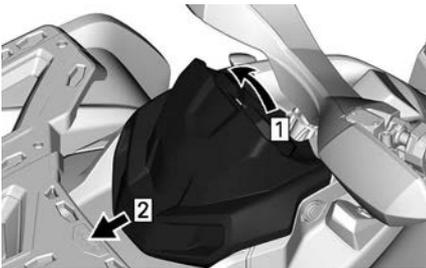
エンジン冷却液レベルの検証

⚠ 警告

冷却液レベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。
エンジンが熱いときに、冷却液を冷却システムに注ぎ足してはなりません。

注記：
頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。認定 Can-Am Off-Road ディーラーまでお問い合わせください。

1. 水平面に車両を置いてください。
2. ゲージサポートを取り外します。



1. 引く
2. スライドさせる
3. クーラントリザーバーキャップを取り外します。

⚠ 警告

エンジンが高温のときはクーラントリザーバーキャップを取り外さないでください。

4. 車両が水平になっている状態で、クーラントレベルはクーラントリ

ザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。



1. エンジンクーラントリザーバー

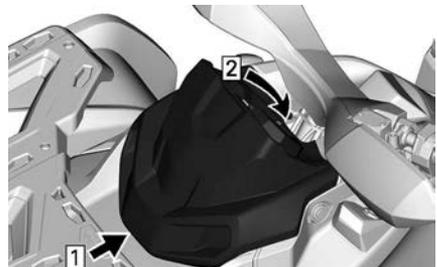
注記：

20°C (68°F) より低い温度でレベルを確認する場合、MIN. マークより若干低くなる場合があります。

5. 必要に応じて、クーラントを追加してください。

注記： こぼさないように、じょうごを使ってください。燃料を入れすぎてはいけません。

6. リザーバーキャップを正しく再度取り付け、締め付けます。
7. ゲージサポートを取り付けます。



1. フック
2. 固定タブをかける

推奨エンジン冷却液

| |
|-----------------------------|
| XPS推奨エンジンクーラント |
| XPSロングライフプレミッククーラント |
| 推奨のXPSエンジンクーラントが入手できない場合 |
| 蒸留水と不凍液の溶液 (蒸留水 50%、不凍液50%) |

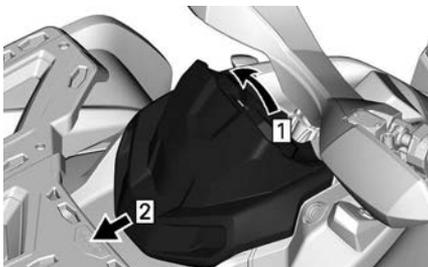
注意

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

エンジン冷却液の交換

冷却システムの排出

1. ゲージサポートを取り外します。



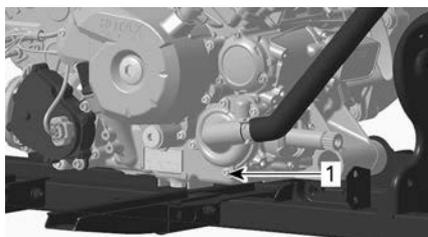
1. 引く
2. スライドさせる
2. クーラントリザーバーキャップを取り外します。

警告

やけどを負う危険を避けるため、エンジンがまだ熱いときは圧力キャップを外したり、クーラントドレンプラグを緩めないでください。



1. エンジンクーラントリザーバーキャップ
3. クーラントドレンプラグを緩めて、クーラントを適切な容器に抜き取ります。



1. クーラントドレンプラグ 650エンジン
4. ロアラジエーターホースを外して、残りのクーラントを適切な容器に抜き取ります。

注記：

ラジエーターのロアラジエーターホースのホースクランプの位置を記録します。

5. 取り外し前に記録したように、ラジエーターを取り付けます。

すべてのエンジン

6. クーリングシステムのドレンプラグを新品のシーリングリングとともに取り付けます。
7. クーラントドレンプラグを締め付けます。

| 締め付けトルク | |
|---------|-------------------------------|
| ドレンプラグ | 10± 1 Nm (89 ± 9 lbf-in) |

8. クーリングシステムのエア抜きを行います。クーリングシステムの充填およびエア抜きのセクションを参照してください。

クーリングシステムの充填およびエア抜き

1. フロントおよびリアシリンダーの上にあるブリードねじを緩めます。



代表的な例

1. フロントシリンダーのブリードねじ



代表的な例

1. リアシリンダーのブリードねじ
2. ブリードねじからクーラントが出るまでクーリングシステムに充填します。

650モデル

3. ラジエーターとクーラントポンプ間のクーラントホース上部を、ホース最上部からエアがすべて抜けるまで数回絞ります。

すべてのモデル

4. 新品のガスケットリングを使用してブリードねじを取り付け、規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク

| | |
|--------|------------------------------|
| ブリードねじ | 5.0 ± 0.6 Nm (44 ± 5 lbf-in) |
|--------|------------------------------|

5. クーラントがシステムのプレッシャーキャップに達するまで、クーラントを追加し続けます。
6. MAXのマークに達するまでクーラントをタンクに充填します。
7. ラジエーターキャップを外したまままでエンジンをアイドリングさせます。必要に応じてクーラントをゆっくり追加します。
8. このとき、エンジンが通常の動作温度に達するまで待ちます。
9. スロットルレバーを2~3回押し、必要に応じてクーラントを追加します。
10. エンジンを停止し、冷まします。
11. クーラントリザーバーキャップを取り付けます。
12. 漏れがないかすべての接続部を点検し、リザーバー内のクーラントレベルを確認します。

マフラーおよびスパークアレスタ

マフラースパークアレスタの清掃と点検

注記：
スパークアレスタのスクリーン交換は、損傷時のみ必要です。

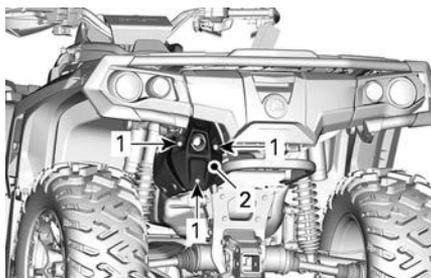
⚠ 注意

排気システムを冷ましてから清掃と点検を進めます。

1. マフラーカバーを外します。固定ねじは処分します。

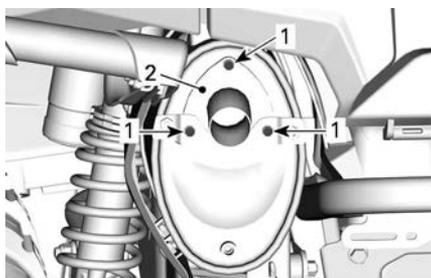
注意

ねじ類の取り外しにインパクトツールは使用しないでください。



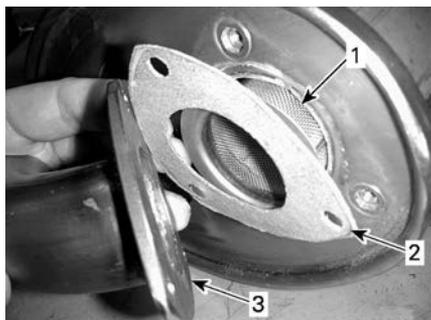
代表的な例

1. スクリュー
2. カバー
2. テールパイプ固定ねじを取り外して処分します。



代表的な例

1. スクリュー
2. テールパイプ
3. エキゾーストテールパイプ、ガスケット（処分）、およびスパークアレスターを取り外します。



代表的な例

1. スパークアレスター
2. ガスケット
3. エキゾーストテールパイプ

4. ブラシを使ってスパークアレスターからカーボン堆積物を取り除きます。

注意

柔らかい金属ブラシを使用し、スパークアレスターメッシュを損傷させないように注意してください。



1. スパークアレスターの清掃
5. スパークアレスターのメッシュに損傷がないか点検します。必要に応じて取り換えます。

注記：

スパークアレスターのスクリーン交換は、損傷時のみ必要です。

6. マフラー内のスパークアレスターチャンバーを点検します。必要に応じて異物を除去します。
7. 新品のガスケット、テールパイプおよび固定ねじを取り付けます。
8. 固定ねじを使用してマフラーカバーを取り付けます。規定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| テールパイプボルト | 11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in) |
| カバースクリュー | |

ギアボックス

ギヤボックスのオイルレベルの確認

注意

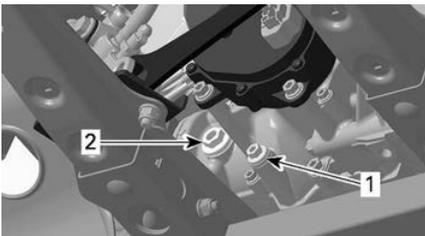
オイルレベルを確認し、必要に応じて補充します。
燃料を入れすぎたはけません。
オイルレベルが不適切な状態で使用を続けると、ギヤボックスに重大な損傷を与える可能性があります。
こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

1. 車両を平面に停車します。
2. NEUTRALポジションを選択します。
3. パーキングブレーキをかけます。

注記：

エンジンが冷めて作動していないときにギヤボックスのオイルレベルを確認します。

4. ギヤボックスのオイルレベルプラグを取り外します。



代表的な例

1. ドレンプラグ
2. オイルレベルプラグ
5. レベルを確認します。オイルは、オイルレベル穴の下側と同じ高さである必要があります。
6. 必要に応じて、ギヤボックスのオイルがオイルレベル穴から流れ出すまで補充します。

推奨ギヤボックスオイル

XPS オイルは、このギアボックスの潤滑要件を満たすために特別に配合されています。BRP では、この XPS

オイルの使用を強く推奨しています。

XPS推奨ギヤボックスオイル

XPS 75W140合成ギヤオイル

推奨のXPSギヤボックスオイルが入手できない場合

潤滑油に関する以下の仕様を満たすかこれを超えるギヤボックスオイルを使用します。

- 75W 140 API GL-5 合成ギアオイル

注意

整備時に、別のタイプのオイルを使用しないでください。

ギヤボックスオイルの交換

ギヤボックスオイルの抜き取り

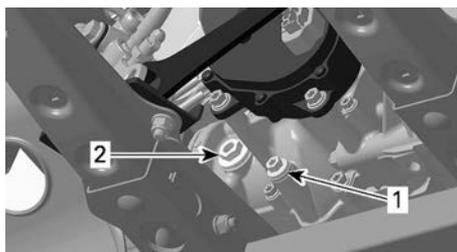
1. 車両が平面上に停車していることを確認します。
2. エンジンを通常の動作温度まで暖めて、エンジンを停止します。

注記： エンジンのアイドルリングでは不十分であるため、車両のギヤボックスを作動させる必要があります。

3. ドレンプラグとレベルプラグの周辺を清掃します。

⚠ 注意

ギヤボックスおよびギヤボックスオイルは、非常に高温になることがあります。



1. ドレンプラグ
2. オイルレベルプラグ
4. ドレンプラグとレベルプラグの下にドレンパンを置きます。
5. マグネット式ドレンプラグを取り外します。
6. シーリングリングを廃棄します。
7. オイルレベルプラグとそのOリングを取り外します。
8. ギヤボックスからオイルが流れ出るまで待ちます。

注記：

ギヤボックスからオイルを完全に抜くため、左フットレストの下にジャッキを置き、車両を右側に傾けます。ギヤボックスが空になったら、ドレンプラグを取り付けて車両を地面に降ろします。

9. 磁石付きドレンプラグに付着した金属の切粉や残渣を除去します。

注意

ごみの付着はギヤボックス内部の損傷を示すものです。

10. 新品のシーリングワッシャーをマグネットドレンプラグに取り付けます。

注意

シーリングワッシャーは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換してください。

11. マグネットドレンプラグを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク

磁気ドレンプラグ

20 ± 2
N·m (15 ± 1
lbf-ft)

12. 現地の環境規制に基づいてオイルを処分してください。

ギヤボックスオイルの補充

1. オイルレベルプラグを外した状態で、オイルが穴の下側に達するまで、オイルレベル穴から推奨ギヤボックスオイルを充填します。
2. オイルレベルプラグをOリングとともに取り付けます。

締め付けトルク

オイルレベルプラグ

5 ± 0.6 Nm
(44 ± 5 lbf-in)

スロットルケーブル

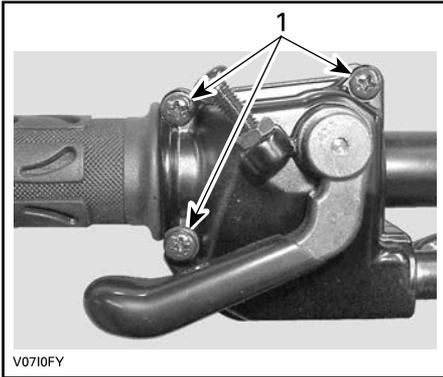
スロットルケーブルの潤滑

スロットルケーブルは、シリコンベースの潤滑剤または同等品で潤滑する必要があります。

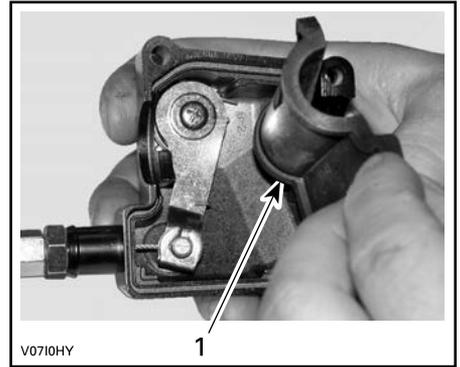
⚠ 警告

必ずシリコンベースの潤滑剤を使用してください。他の潤滑剤（水溶性潤滑剤など）を使用すると、スロットルレバー/ケーブルが固着したり硬くなる可能性があります。

1. ハウジングを分離します。

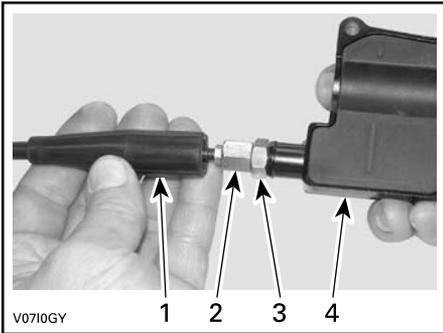


1. これらのスクリューを取り外します
2. ラバープロテクターをスライドさせて、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。

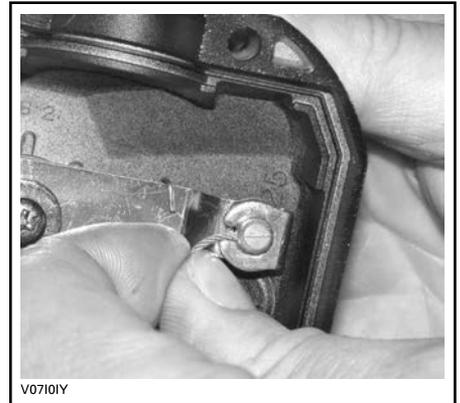


1. インナーハウジングプロテクター
5. スロットルレバーハウジングからケーブルを取り外します。

注記：
ケーブルをクリップスロットにスライドさせて入れ、クリップからケーブル端部を取り外します。



1. ケーブルプロテクター
2. スロットルケーブルアジャスター
3. ロッキングナット
4. スロットルレバーハウジング
3. スロットルケーブルアジャスターをねじ込みます。
4. インナーハウジングプロテクターを取り外します。



6. スロットルボディサイドカバーを取り外します。



1. スロットルボディ
2. サイドカバーのねじ
7. 潤滑剤缶のニードルをスロットルケーブルアジャスターの端部に挿入します。
8. スロットルケーブルアジャスター周辺に布をおいて、潤滑剤が飛び散るのを防ぎます。

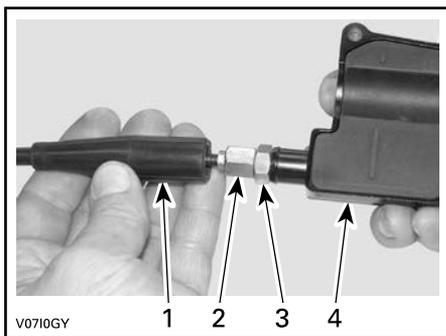


代表的な例

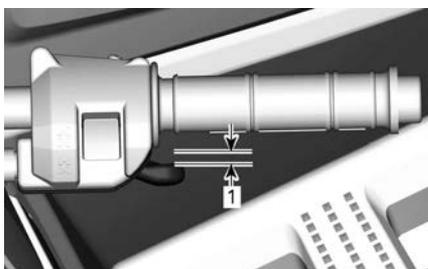
9. スロットルケーブルのスロットルボディ端から流れ出るまで、潤滑剤を加えます。
10. ケーブルを再び取り付け調整します。

スロットルケーブルの調整

1. ラバープロテクターをスライドさせて、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。



1. ケーブルプロテクター
2. スロットルケーブルアジャスター
3. ロッキングナット
4. スロットルレバーハウジング
2. ロックナットを緩めてからアジャスターを回し、スロットルレバーの適切な遊びが得られるようにします。
3. スロットルレバー先端でスロットルの遊びを測定します。



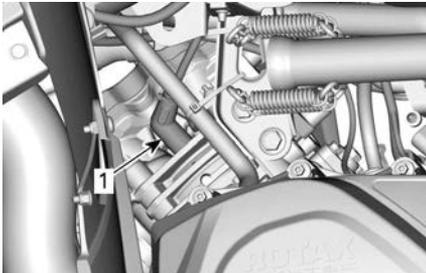
1. 2 mm (0.079 in)
4. ロックナットを締め付けてプロテクターを取り付けます。
5. シフトレバーがパーキング位置の状態、エンジンを始動します。
6. ハンドルバーを右いっぱいに戻し、その後左いっぱいに戻すことで、スロットルケーブルが正しく調整されているか確認します。エンジン回転数が増えた場合は、スロットルレバーの遊びを再度調整します。

スパークプラグ

スパークプラグの取り外し

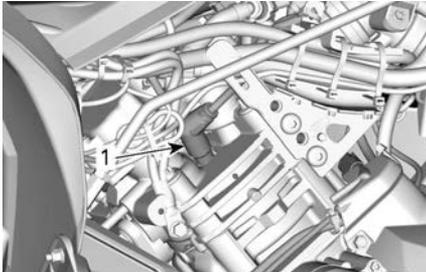
パネルを取り外し、スパークプラグ部分に手が届くようにします。

1. スパークプラグケーブルを外します。
2. スパークプラグを1回転回して緩めます。
3. 可能な場合は、圧縮エアでスパークプラグとシリンダーヘッドを清掃します。
4. スパークプラグソケットを使用してスパークプラグを完全に緩めて、取り外します。



右側ーリアシリンダー

1. スパークプラグ



左側ーフロントシリンダー

1. スパークプラグ
スパークプラグの取り付け

1. 取り付ける前に、シリンダーヘッドやスパークプラグの接触面に汚れが付いていないことを確認します。
2. 隙間ゲージを使用して、技術仕様に記載されているように電極ギャップを設定します。
3. 潤滑剤をスパークプラグのねじ部に少量塗布して、焼き付きを防止します。

銅ベースの焼き付き防止潤滑剤

4. スパークプラグをシリンダーヘッドに手でねじ込み、トルクレンチ

と適切なソケットを使用して締め付けます。

注意

スパークプラグを締め付けすぎないでください。エンジンが損傷する場合があります。

締め付けトルク

| | |
|-----------------|--------------------------------|
| 650 エンジン | 20 ± 2 Nm (15 ± 2 lbf-ft) |
| 850および1000Rエンジン | 11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in) |

CVT カバー

一部のイラストは、分かりやすいようにエンジンが車両から取り除かれた状態で表示されています。手順の中には、実行する際にエンジンを車両から取り外す必要がないものもあります。

⚠ 警告

決してエンジン作動中に CVT には触れないでください。CVT カバーを取り外した状態では絶対に車両を運転しないでください。

⚠ 注意

エンジンが冷めてからカバーを取り外してください。

注意

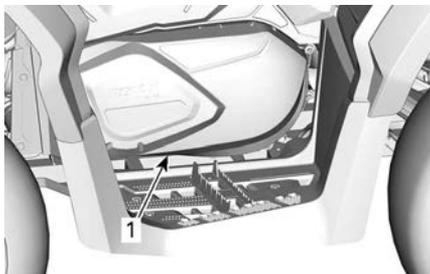
この CVT には潤滑剤は塗布されていません。ドライブプーリーベアリング以外のコンポーネントには絶対に潤滑剤を塗布しないでください。

CVTカバーへのアクセス

CVTカバーは車両の左側にあります。

次の部品を取り外します。

- 左側パネルおよび拡張パネル
- 左側フットボードパネル



代表的な例

1. CVTカバー

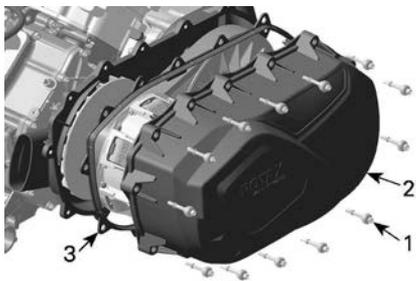
CVTカバーの取外し

1. CVTカバーのインレットおよびアウトレットエアクーリングダクトを切り離します。
2. すべてのCVTカバー固定ボルトを取り外します。
3. 取り外し作業の間カバーを支えておくため、中央上部のねじは最後に取り外します。

注意

CVTカバーボルトを取り外そうとして、インパクトツールを使用しないでください。

4. CVTカバーとそのガスケットを取り外します。



1. CVTカバーボルト
2. CVTカバー
3. ガスケット

CVTカバーの取り付け

1. カバーをエンジンに配置します。
2. 中央上部のねじを最初に取り付けます。

注意

CVTカバーボルトの取り付けにインパクト工具を使用しないでください。

3. 次の順序に従って、CVTカバーボルトを締め付けます。



締め付けトルク

| | |
|-----------|-------------------------------|
| CVTカバーボルト | 7 ± 0.8 Nm (62 ± 7 lbf-in) |
|-----------|-------------------------------|

4. インレットおよびアウトレットエアクーリングダクトを取り付けます。

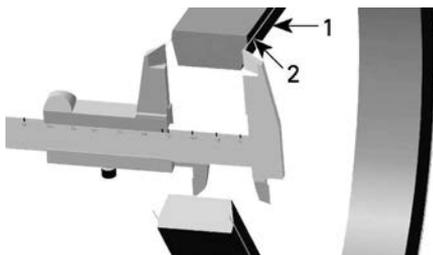
駆動ベルト

ドライブベルトの点検

1. ドライブベルトに割れ、ほころび、または異常な摩耗がないか点検します。必要に応じて交換します。
2. コードレベルでドライブベルト幅を確認します。ベルトが仕様範囲外であれば交換します。

ドライブベルトの幅

| | |
|------|---------------------|
| 使用限度 | 30 mm (1.181 in) |
|------|---------------------|



1. 駆動ベルト
2. ドライブベルト内のコード

ドライブベルトの取り外し

注意

ドライブベルトに不具合が生じた場合は、CVT、カバー、ドレンリザーバーおよびエアアウトレットを必ず清掃し、異物がないか点検してください。

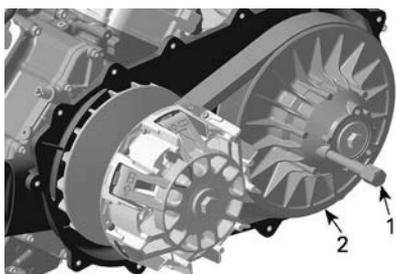
1. CVTカバーを取り外します。
2. ドリブプーリーを開きます。

プーラー/ロック用具

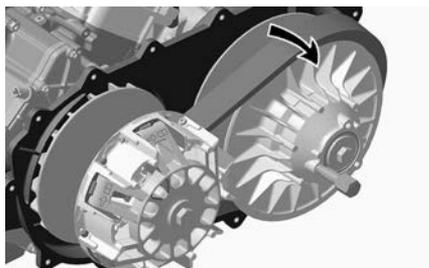
(529036098)



3. ドリブプーリーのねじ付き穴に工具をねじ込んで締め付け、プーリーを開きます。



1. プーラー/ロック用具
2. ドリブプーリーの固定シーブ
4. ベルトを、固定シーブの上端の上をスライドさせて取り外します。

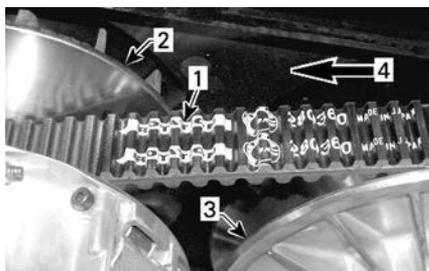


ドライブベルトの取り付け

取り付けは取り外し手順の逆です。次の点に注意を払ってください。

ドライブベルトを適切な回転方向で取り付けると、ドライブベルトの寿命が最長になります。

1. ベルトの矢印が上から見たときに車両前方を指すように、ドライブベルト取り付けてください。



1. ベルトの矢印
2. ドライブプーリー (フロント)
3. ドリブプーリー (リヤ)
4. 回転方向
2. ドライブベルトの外面にある歯の一番低い部分が、ドリブプーリーの端部と面一になるまで、ドリブプーリーを回します。



1. 歯の一番低い部分がドライブベルト外面と面一になっている状態

ドライブおよびドリブnpリー

ドライブおよびドリブnpリーの点検

この点検は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または担当整備士が実施しなければなりません。

ドライブプリー

ドライブプリーのスライディングシーブのブッシングを点検し、摩耗した部品を交換します。

ドリブnpリー

ドリブnpリーのスライディングシーブのブッシング、およびカムのブッシングを点検し、摩耗した部品を交換します。

バッテリー

⚠ 注意

車両に取り付けたままで絶対にバッテリーを充電しないでください。

これらの車両にはVRAバッテリー (Valve Regulated Lead Acid、「制御弁式鉛蓄電池」) が搭載されています。これはメンテナンスフリーのバッテリーであり、電解液レベルを調整するために水を追加する必要がありません。

注意

バッテリーシーリングキャップを取り外さないでください。

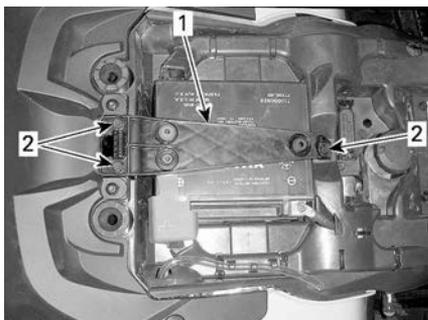
バッテリーの取り外し

- 最初に黒 (-) のケーブルを、そして赤 (+) のケーブルを外します。

注意

最初に黒 (-) のバッテリーケーブルを外します。

- 固定ボルトとバッテリー固定ストラップを取り外してから、バッテリーをフレームから引き出します。



- バッテリー固定ストラップ
- 留めネジ

バッテリーの清掃

- 重曹と水の溶液で、バッテリー、バッテリーケース、ケーブルおよびバッテリーポストを清掃します。
- 硬いワイヤーブラシを使ってバッテリーケーブルターミナルおよびバッテリーポストの腐食を取り除きます。

バッテリーの取り付け

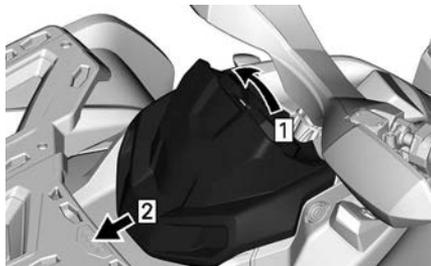
- 取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

注意

必ず赤の (+) バッテリーケーブルを最初に接続します。

ヒューズ**ヒューズの位置**

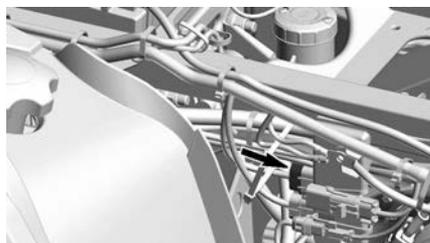
メインヒューズボックスは、ゲージサポートの下にあります。



1. 引く
2. スライドさせる

次のヒューズのホルダーは、右側パネル後部の後方にあります。

| | |
|---------------------|------|
| バッテリー/電圧レギュレーターヒューズ | 40 A |
| DPS ヒューズ | 40 A |
| ABS | 40 A |

**注記：**

ヒューズボックスカバーの内部を確認して、ヒューズの位置を把握します。

メインヒューズボックス詳細**メカニカル式スロットル制御 (MTC) 装備モデル**

| いいえ。 | 説明 | 定格 |
|------|--------------------|----|
| RY1 | 冷却ファンリレー | — |
| RY2 | メインリレー | — |
| RY3 | アクセサリリレー | — |
| RY4 | 燃料ポンプリレー | — |
| RY5 | ライトリレー | — |
| RY8 | ブレーキ | — |
| F4 | クラスター/リレー/DPS | 5A |
| F5 | インジェクター/イグニッションコイル | 5A |

| | | |
|-----|----------------------|-----|
| F6 | インターコネクター | 5A |
| F7 | ウィンチ | 5A |
| F8 | D.E.S.S | 5A |
| F9 | クーリングファン (リセット可能) | 25A |
| F11 | ライト | 30A |
| F12 | DCアウトレット | 15A |
| F14 | アクセサリ | 15A |
| F15 | 燃料ポンプ | 5A |

電子式スロットル制御 (ETC) 装備モデル

| いいえ。 | 説明 | 定格 |
|------|---------------------------------------|-----|
| RY1 | 冷却ファンリレー | — |
| RY2 | メインリレー | — |
| RY3 | ライトリレー | — |
| RY5 | アクセサリリレー | — |
| RY6 | ブレーキリレー | — |
| F1 | スタートスイッチ/クラ スター | 10A |
| F2 | ライト | 30A |
| F3 | ACC 1 | 20A |
| F4 | ACC2 | 20A |
| F5 | 燃料ポンプ/インジェク ター/イグニッションコ イル/EVAP | 10A |
| F6 | クラスター/リレー/ DPS/スピードリミッタ ー | 10A |
| F7 | ブレーキライト/テール ライト | 10A |
| F8 | D.E.S.S/ECM | 10A |

| | | |
|-----|----------------------|-----|
| F9 | 2WD / 4WD | 10A |
| F12 | クーリングファン (リセット可能) | 25A |

ライト

⚠ 注意

必ずD.E.S.S.ポストからD.E.S.S.キーを取り外すが、イグニッションスイッチをOFF位置にしてから、不具合のあるバルブを交換してください。

取り換え後に必ずライトの動作を確認します。

ヘッドライトバルブの交換

⚠ 警告

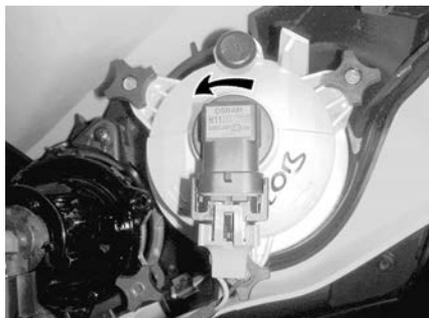
不適切なバルブの取り付けは、ヘッドライトハウジングからの脱落の原因となる場合があります。こうした状況では、この部分にあるヘッドライトハウジング、レンズなどの部品とバルブが接触し、部品の溶解や火災などの危険を引き起こす場合があります。

注意

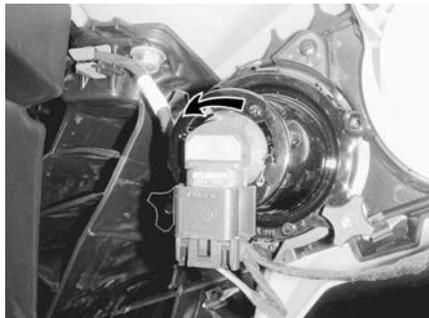
寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さないですみます。

バルブからコネクターを外します。

ライトバルブを反時計方向に回して、ライトハウジングから外します。



フロントフェンダー内部



バルブを抜き取ります。

取り外した順序の逆で部品を適切に取り付けます。

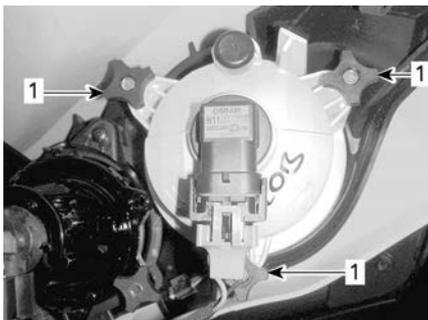
ヘッドライトの動作を確認します。

ヘッドライトビームの光軸調整

調整ノブを回して、希望のビーム高さに調整します。

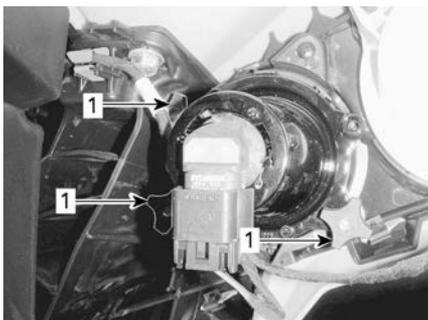
注記：

ヘッドライトを均等に調整します。



ロービーム調整

1. 調整ノブ



ハイビーム調整

1. 調整ノブ

テールライトバルブの調整

テールライトを反時計方向に回して、テールライトハウジングから取り外します。



テールライトをその位置から引き抜きます。

バルブからコネクタを外します。

ライトバルブを反時計方向に回して、テールライトから外します。



バルブソケットをテールライトから取り外します。

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

ドライブシャフトベローズおよびプロテクター

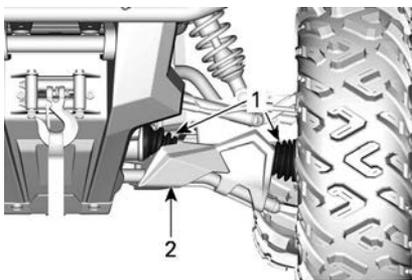
ドライブシャフトベローズおよびプロテクターの点検

ドライブシャフトプロテクターとベローズの状態を目視点検します。

プロテクターに損傷やシャフトとの擦れがないか確認します。

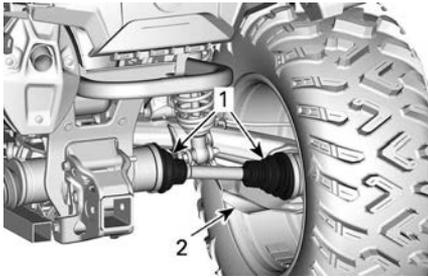
ベローズに亀裂、裂け、グリス漏れなどが確認します。

必要に応じて損傷した部品を修理または交換します。



代表例 - 車両前部

1. ドライブシャフトベローズ
2. プロテクター



代表例 - 車両後部

1. ドライブシャフトベローズ
2. ブロテクター

ホイールベアリング

ホイールベアリングの点検

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げ、支えます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. 上端からホイールを押し引きして、遊びを確認します。
6. 異常な遊びがある場合は、認定 Can-Am Off-Road ディーラーにご相談ください。



代表的な例

車輪およびタイヤ

タイヤ空気圧

⚠ 警告

タイヤ空気圧は、車両のハンドリング性能および安定性に大きく影響します。タイヤの空気圧が不十分な場合はタイヤが収縮する原因となり、ホイールを中心に回転する場合があります。過度の圧力は、タイヤの破裂につながる可能性があります。常に推奨圧力に従ってください。タイヤ空気圧を絶対に最低圧力未満にしないでください。タイヤがリムから外れる原因となります。

車両を使う前にタイヤが冷たい状態で空気圧を確認します。タイヤ圧は、温度と高度で変化します。これらの条件のうちひとつでも変更した場合は、圧力を再確認します。

適切なタイヤの空気圧については、タイヤ圧力と最大荷重のラベルを参照してください。

注記：

タイヤはオフロード専用設計されたものですが、パンクする可能性があります。そのため、タイヤゲージ、空気入れ、および修理キットを携行するよう推奨します。

タイヤの点検

タイヤに損傷や摩耗がないか確認します。必要に応じて交換します。

⚠ 警告

タイヤの位置は交換しないでください。フロントタイヤとリアタイヤはサイズが異なります。左側および右側のタイヤのトレッドパターンは、方向性が異なります。

タイヤの交換

タイヤの交換は、認定 Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または担当整備士に依頼してください。

⚠ 警告

元のタイヤと同じ種類およびサイズのタイヤとのみ交換します。一方方向スレッドパターンのタイヤの場合は、タイヤが正しい方向に回転するよう取り付けます。タイヤは、熟練した整備士がタイヤ業界の基準と工具に基づいて交換する必要があります。

ホイールの取外し

1. 水平面に車両を置いてください。
2. 4WDモードにします。
3. パーキングブレーキをかけます。
4. ラグナットを緩めてから車両を持ち上げます。
5. 車両をジャッキスタンドに固定します。
6. ラグナットを取り外してからホイールを取り外します。

ホイールの取付け

1. 取り付け時は、ねじ部に焼き付き防止潤滑剤を塗布するよう推奨します。
2. タイヤが一方方向性のものである場合は、タイヤの回転に合わせてホイールを取り付けてください。
3. ラグナットを対角順に慎重に締め付けてから、規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク

| | |
|------------|--------------------------------|
| ホイール ラグナット | 80 ± 5 Nm (59 ± 4 lbf-ft) |
|------------|--------------------------------|

注記：
場合によっては、今後の取り外しを容易にするために、ホイールラグナットを取り外して焼き付き防止剤を塗布する必要があります。これは、車両を塩水環境や泥地で使用するとき特に重要です。一度に1つのナットを取り外し、潤滑してから再度締め付けます。

注意

必ずホイールに対して推奨されているホイールラグナットを使用します。別のラグナットを使用するとリムまたはスタッドが損傷する可能性があります。

ホイールビードロックの点検

ホイールビードロックの締め直し

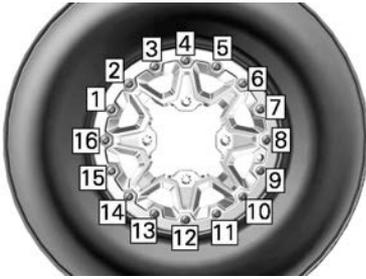
注意

ビードロックのねじの取り付けにインパクトレンチは使用しないでください。インパクトレンチを使用するとねじが損傷する、またはねじ山が潰れるリスクが高くなります。

1. 下記の締め付け順に従って、すべてのボルトを規定トルクで締め付け直します。

締め付けトルク

| | |
|-----------|--------------------------------|
| ビードロックボルト | 11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in) |
|-----------|--------------------------------|



代表例 - 最後の締め付け順序

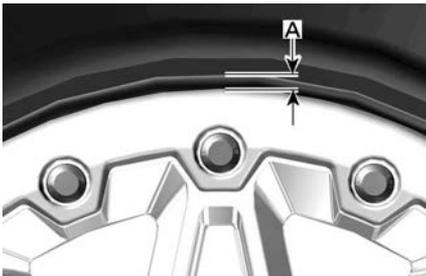
2. ビードロッククランプリングの圧力を均一にするために、一度に数回ずつボルトを締めます。

注記：

ビードロックのクランプリングがタイヤビードに合うようにわずかに撓むのは正常な反応です。

ホイールビードロックギャップの検証

1. タイヤとビードロッククランプリング間のギャップを確認します。ギャップはリング全周で均一なはずです。



代表的な例

1. タイヤとリング間のギャップ
ギャップが不適切な場合は、ビードロックホイールへのタイヤの取り付けのセクションを参照してください。

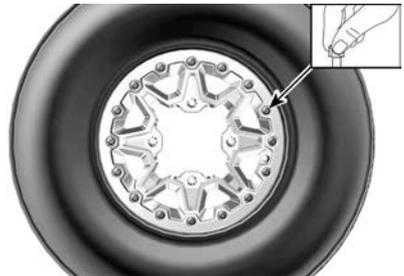
ビードロックホイールにマウントされたタイヤ

1. ビードロックの反対側で、タイヤ取り付け用潤滑剤をタイヤとホイールのインナービードに塗布して、空気を入れたときに正しく接するようにします。

2. インナービードをノーマルなどのホイールに取り付けます。
3. タイヤを、ビードロックインナーリングのショルダー部に配置して、タイヤの中心位置を合わせます。
4. すべてのビードロックスクリューを手で取り付けます。斜めにねじ込まないようにしてください。

注意

ビードロックのねじの取り付けにインパクトレンチは使用しないでください。インパクトレンチを使用するとねじが損傷する、またはねじ山が潰れるリスクが高くなります。



代表的な例

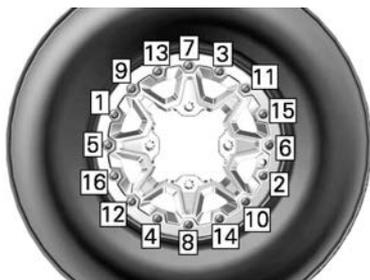
5. 次の順序およびトルクでビードロックねじを締め付けます。

注記：

ビードロッククランプリングに均一に圧力がかかるように、ねじを一度に数回転ずつ締め付けます。

締め付けトルク

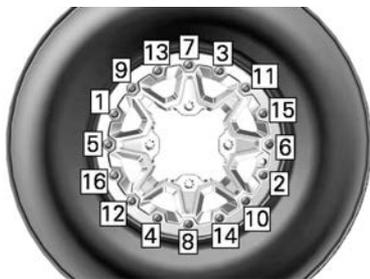
| | |
|-------------------|-------------------------------|
| ビードロックボルト (最初の順序) | 3 ± 1 Nm (27 ± 9 lbf-in) |
|-------------------|-------------------------------|



代表例 - 締め付け順序

6. この時、タイヤがホイールの中心にあるか確認します。必要に応じて位置を正します。
7. ビードロックのねじを2度目のトルクで同じ順序で締め付けます。

| 締め付けトルク | |
|--------------------|-------------------------------|
| ビードロックボルト (2度目の順序) | 8 ± 1 Nm (71 ± 9 lbf-in) |

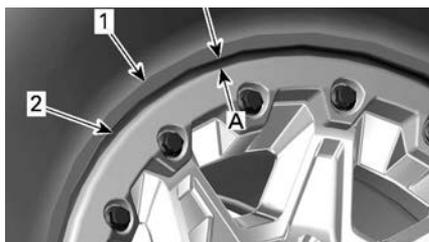


代表例 - 締め付け順序

注記：

ビードロックランプリングはタイヤビードに合うよう若干収縮します。これは正常な状態です。

8. タイヤとビードロックランプリング間のギャップを確認します。ギャップはリング全周で均一なはずです。



1. タイヤ
 2. ビードロックランプリングの端
1. ビードロックランプリング全周で均一なギャップ
隙が許容できない場合は、
- ねじをすべて緩めます。
 - ホイールに対するタイヤの位置を確認し、必要に応じて調整します。
 - 示されている順序で再び締め付け始めます。
9. 示されている順序に従って、ビードロックボルトの最後の締め付けを行います。

| 締め付けトルク | |
|-------------------|--------------------------------|
| ビードロックボルト (最後の順序) | 11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in) |



代表例 - 最後の締め付け順序

10. インナービードがホイールに着座するまでタイヤに空気を入れます。タイヤ安全かごを使用するな

ど、安全に作業を行ってください。

⚠ 警告

ビードが取り付けのためのタイヤの最大推奨圧力を絶対に超えないようにしてください。

ステアリング

タイロッドエンドの点検

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. タイロッドベローズに亀裂がないか点検します。
6. 前側エッジまたは後ろ側エッジからホイールを押し引きして、遊びを確認します。
7. 異常な遊びがある、またはベローズに亀裂がある場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。

⚠ 警告

ベローズに亀裂があったり異常な遊びがある場合は、タイロッドエンドを交換しなければなりません。

サスペンション

フロントサスペンションの潤滑

1. グリスフィッティングからフロントスタビライザーバープッシュとサスペンションアームを潤滑します。

XPS合成サスペンショングリース

リアサスペンションの潤滑

1. グリスフィッティングからリアスタビライザーバーリンクとピボットプッシュを潤滑します。

XPS合成サスペンショングリース

サスペンションの点検

問題が見つかった場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または担当整備士にご相談ください。

ショックアブソーバー

1. ショックアブソーバーにオイル漏れやその他の損傷がないか点検します。
2. ファスナーが固く締まっているか点検します。
3. 必要に応じて認定 Can-Am Off-Road デイラーまでお問い合わせください。

ボールジョイント

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. ボールジョイントベローズに亀裂がないか点検します。
6. 上端および下端からホイールを押し引きして、遊びを確認します。
7. 異常な遊びがある、またはブーツに亀裂がある場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。



代表的な例

⚠ 警告

ベローズに亀裂があったり異常な遊びがある場合は、ボールジョイントを交換しなければなりません。

フロントサスペンションアーム

1. サスペンションアームに亀裂、曲がり、またはその他の損傷がないか点検します。
2. 必要に応じて認定 Can-Am Off-Road デイラーまでお問い合わせください。

リアトレーリングアーム

1. トレーリングアームにひずみ、亀裂または曲りがないか確認します。
2. 問題が見つかった場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。

ブレーキ

フロントブレーキリザーバーレベルの確認

1. ステアリングを直線位置にしてリザーバーを水平にします。
2. ブレーキオイルのレベルの液面を確認します。オイルが窓の上部に達するとリザーバーが満杯であることを意味します。
3. レバーの起動状態を目視検査します。

4. 亀裂、裂け目などがいないか確認してください。損傷している場合は交換します。



代表的な例

リアリザーバーレベルの確認

1. シートを取り外します。
2. 車両が水平になっている状態で、ブレーキオイルはブレーキオイルリザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。



**1. 後部ブレーキオイルリザーバー
ブレーキ液の継ぎ足し**

1. フィラーキャップを清掃します。

⚠ 警告

ブレーキシステムの汚れを防止するため、フィラーキャップを清掃してから取り外します。

2. リザーバーキャップを取り外します。

3. 必要に応じてきれいなじょうごを使用してオイルを追加します。燃料を入れすぎてはいけません。

注意

ブレーキオイルは、プラスチックや塗装表面に損傷を与える可能性があります。こぼれたオイルは拭き取ってください。

4. リザーバーキャップを元通りに取り付けます。

注記：
ファイラーキャップダイアフラムがキャップの中に押し込まれていることを確認してからブレーキ液リザーバーを閉めます。

5. フロントリザーバーに、スクリューを規定のトルクで締め付けます。

| 締め付けトルク | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| ブレーキオイルリザーバー スクリュー | 1.3 ± 0.1 Nm (12 ± 1 lbf-in) |

推奨されるブレーキ液

必ず DOT 4 の仕様を満足するブレーキオイルだけを使用してください。

警告

ブレーキシステムへの重大な損傷を避けるため、補充の際に推奨オイル以外のオイルを使用したり、異なるオイルを混合したりしないでください。

ブレーキシステムの点検

警告

ブレーキオイルの交換、またはブレーキシステムのメンテナンスや修理は、認定 Can-Am Off-Road ディーラーが実施しなければなりません。

注意

車両を長時間使用した後はブレーキが非常に熱くなっているため、やけどを負う可能性があります。ブレーキが冷めるまで待ってください。

ブレーキの点検、メンテナンスおよび修理は、認定 Can-Am Off-Road ディーラーが実施しなければなりません。

- ただし、ディーラーを訪れる前に下記のことを確認してください。
 - ブレーキ液レベル
 - ブレーキシステムのオイル漏れ
 - ブレーキの汚れ

車両のお手入れ

使用後のお手入れ

車両を塩水環境（海岸地域、ポートの積み降ろしなど）で使用したときは、車両とそのコンポーネントを保護するために、車両を真水ですすぐ必要があります。

1. 運転した日の最後に、金属部品を潤滑します。

防錆潤滑剤

2. また、車両を泥条件の中で使用したときも、車両とそのコンポーネントを保護するために、車両を真水ですすぐてください。

車両の清掃と保護

注意

車両の洗浄に高圧洗浄機は絶対に使用しないでください。水圧を低めて使用してください（散水用ホースのように）。

泥や異物が堆積したり、摩耗や干渉、腐食を促進させる可能性がある特定の部位に注意してください。

車両を石鹼水で洗います。

注意

ポリプロピレン製部品を石油系の洗浄剤で洗わないでください。艶仕上げ部分に変質します。

適合しない清掃用品

| 素材タイプ | 適合しない清掃用品 |
|---------|---|
| ポリプロピレン | <ul style="list-style-type: none">- 石油ベース清掃用品すべて- XPS ATV仕上げスプレー- XPS ATVクリーニングキット（上記のXPS ATV仕上げスプレーが含まれています） |

適合清掃用品

| 素材タイプ | 適合清掃用品 |
|---------|--|
| ポリプロピレン | <ul style="list-style-type: none">- XPS ATV洗浄剤- 石鹼水 |

保管およびシーズン前の準備

4ヶ月を超えて車両を使用しないときは、適切に保管する必要があります。

車両を21日以上動かさない場合は、バッテリーの黒 (-) のケーブルを切り離します。

バッテリーを完全に充電するには、低電流トリクル充電器の使用を推奨します。

保管後に車両を使用するときは、準備が必要です。

車両の準備を正しく行うには、認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士にご依頼ください。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。



指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

空白ページ

技術情報

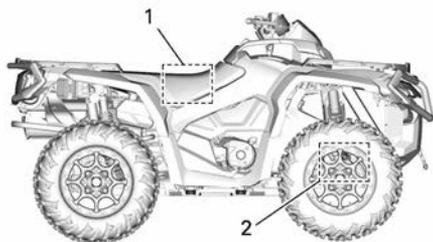
車両識別表示

車両の主要な構成要素（エンジンとフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探すときなどに、これらの番号を確認する必要があります。これらの番号は、認定 Can-Am Off-Road ディーラーが正しく保証請求を行うときに必要です。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号



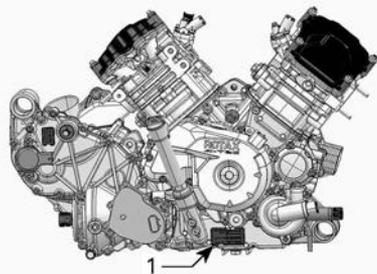
代表例 - VINラベル



代表的な例

1. VINラベル - シート下側のフレーム上
2. VIN番号の刻印 - 右側のフロントディファレンシャルの下

エンジン識別番号(EIN)



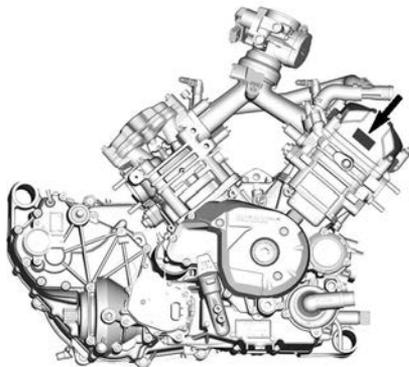
代表例 - エンジン右側

1. エンジン識別番号(EIN)

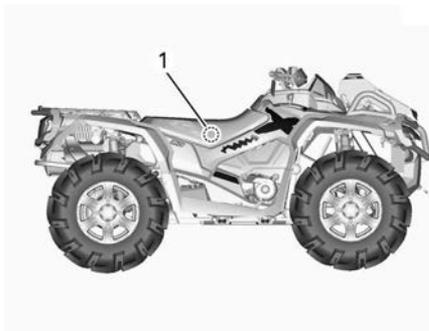
適合ラベル

ノンロード機械に適用される規制 (EU) 2016/1628

規制 (EU) 2016/1628 (NRMM) に準拠している車両は、エンジンバルブカバーおよびシート下側のフレーム上を見て特定できます。



代表的な例



代表的な例

1. NRMMラベル - シート下側のフレーム上

| | |
|---------------------------------|--------------|
| Rotax NRSC G1 CO2 g/kWh: | XXXX |
| # | MXXXXXXX |
| 製造日: | MM-YYYY |
| ファミリータイプ: | XXXXXX |
| e13 | AT1/P V-#### |

代表例 - NRMMの識別ラベル

注記：
エンジンまたはそのコンポーネントを改造すると、特定のエンジンに対するEUの型式認証が無効になります。

蒸気ガスエミッションコントロールシステム

蒸発ガス制御システムを装備したカリフォルニアモデル

2018年式の車両から、一部のカリフォルニアモデルでは、カリフォルニア州大気資源局 (CARB) のTP-933の認証を取得しています。これらのモデルには、低浸透性燃料タンク (LPFT)、低浸透性燃料ライン (LPFL)、およびアクティブパージカーボンキャニスターで構成される、蒸発ガス制御システムが搭載されています。

カリフォルニア州規則 (CCR) により、次の声明に従うことが求められています：後付けまたは改造部品は、適用されるARB蒸発ガス規制に準拠していなければなりません。この要求事項に違反した場合は、民事罰または刑罰が科せられます。

無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー)

この装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 第15部およびIndustry Canada (カナダ産業省) ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC (カナダ産業省) 登録番号 : 12006A-M01456

FCC ID: 2ACERM01456

私は、コンプライアンス責任者として、この機器は以下の欧州委員会指令に準拠していることを、全責任をもって宣言します。2014/53/EU。この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。無線装置指令(RED) 2014/53/EUおよび整合規格 : EN 300 330-2 & EN 60950-1

騒音放出制御システム規制 (カナダ/米国)

騒音制御システムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の可動部品、またはエキゾーストまたはインテークシステムの部品を、メーカー指定部品以外の部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

騒音放出と振動値 (すべての国、ただしカナダ/米国を除く)

| モデル | | 650 | 850 | 1000R |
|---|-----------------------|--|--|--|
| 騒音放出および振動値 ¹ | | | | |
| 騒音 | 音圧 (L _{pA}) | 3600 rpmで 78 dB (不確 定性 (K _{pA}) 3 dB(A)) | 4000 rpmで 80 dB (不確 定性 (K _{pA}) 3 dB(A)) | 4000 rpmで 80 dB (不確 定性 (K _{pA}) 3 dB(A)) |
| 振動 | 手腕系 | 3.5 m/s ² @ 3600 rpm (不 確定性 1.715 m/s ²) | 3.5 m/s ² @ 4000 rpm (不 確定性 1.715 m/s ²) | 2.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時 |
| | 着座時の身体 全体 | 0.5 m/s ² 未 満、3600 rpm時 | 0.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時 | 0.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時 |
| 1: 騒音放出および振動値は、舗装面上でニュートラルの状態、規格EN 15997:2011に準拠して測定されます。 | | | | |



565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

www.brp.com

EU適合宣言書

正式代表者: BRP Europe N.V., Skaldenstraat 125, Gent, Belgium, 9042

この適合宣言書は、製造者の単独の責任において発行されたものです。

以下に署名する者は、製造者を代表し、**CE** マークおよび**3JBxxxxxxNxxxxxxx**の17桁の車両識別番号 (VIN) が表示された、商品名を**Can-Am Outlander**または**Can-Am Renegade**とする**2022**年式**全地形対応車 (ATV)**が、次の指令および規制に記載されているすべての関連規定に適合していることをここに宣言します。

| | |
|---|---|
| 機械指令2006/42/EC (規制2019/1243/EUで改正されたとおり) | ISO 12100:2010 および EN 15997:2011 |
| ガス状汚染物質に関する非道路移動機械 (NRMM) 規則 (EU) 2016/1628 | カテゴリ-ATS、 Stage V排出制限 |
| 電磁両立性 (EMC) 指令2014/30/EU (規制 (EU) 2018/1139で改正されたとおり) | CISPR 12:2007/A1:2009 および IEC 61000-6-1:2005または UN R10.04以降のバージョン |
| 電池指令2006/66/EC ((EU) 2018/849で改正された とおり) | |
| 無線機器 (RED) 指令2014/53/EC (規制2018/1139で 改正されたとおり) (無線周波数 (RF) D.E.S.S. キーを装備している場合) | EN 300 330-2 & EN 60950-1 |

Renald Plante
ディレクター、製品開発部門、Can-Am ATV & Spyder
Bombardier Recreational Products Inc.

Valcourt, QC, Canada

2021年2月22日

ski-doo LYNX SEA-DOO Evinrude ROTAX CAN-AM

ユーラシア経済連合のマークのための
空白ページ (該当の場合)

空白ページ

技術仕様

技術仕様

| エンジン | | |
|------------|--------|---|
| エンジンタイプ | | ROTAX®, 4ストローク、2気筒 (Vツイン)、水冷 |
| バルブトレイン | | 4バルブ/シリンダー (機械式調整)、シングルオーバーヘッドカムシャフト (SOHC)、タイミングチェーン付き |
| バルブクリアランス | インテーク | 0.06 ~ 0.14 mm (0.0024 ~ 0.0055 in) |
| | エキゾースト | 0.11 ~ 0.19 mm (0.0043 ~ 0.0075 in) |
| ボア | 650 | 82 mm (3.23 in) |
| | 850 | 94 mm (3.7 in) |
| | 1000R | 91 mm (3.58 in) |
| ストローク | 650 | 61.5 mm (2.42 in) |
| | 850 | 61.5 mm (2.42 in) |
| | 1000R | 75 mm (2.95 in) |
| 排気量 | 650 | 650 cm ³ (39.7 in ³) |
| | 850 | 854 cm ³ (52.1 in ³) |
| | 1000R | 976 cm ³ (59.6 in ³) |
| エキゾーストシステム | | USDA森林局承認のスパークアレスター NRMMモデルの触媒 |
| エアフィルター | | フォーム付き合成ペーパーフィルター |

| 潤滑システム | | | |
|----------|-------------------------|---------------------------|----------------------------|
| タイプ | | ウェットサンプ交換式カートリッジ式オイルフィルター | |
| オイルフィルター | | BRP Rotaxペーパータイプ、交換式 | |
| エンジンオイル | 容量 (フィルターを付けた状態でのオイル交換) | | 2.0 l (2.1 qt (liq.,US)) |
| | 推奨XPSオイル | 一般用 | XPS 4T 5W40合成ブレンドオイル |
| | | 低温用 | XPS 4T 0W40合成オイル |

| 潤滑システム | | | |
|--------|----------------------|-----|--|
| | | 高温用 | XPS 4T 10W50合成オイル |
| | XPS製品が入手できない場合の代替オイル | | APIサービス等級 SJ、SL、SMまたはSNの要件を満足する5W40または10W50モーターオイル |

| 冷却システム | | | |
|--------------|--------------------|-----------------------------|--|
| クーラント | 推奨XPSクーラント | | ロングライフプレミックスクーラント |
| | XPS製品が入手できない場合の代替品 | | エチルグリコール/水の混合物 (50%/50%)。 またはアルミ製エンジン専用調整されたクーラント |
| | 定員 | 650 | 3.4 l (0.9 gal(liq.,US)) |
| 850 1000R | | 3.5 l (0.92 gal(liq.,US)) | |

| トランスミッション | |
|-----------|--|
| タイプ | CVT (無段変速機)、サブトランスミッション (L/H/N/R/P)、標準エンジンブレーキ |
| 締結回転数 | 1800 RPM |

| ギアボックス | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| タイプ | パーキング、ニュートラルおよびリバースを有するデュアルレンジ (ハイ/ロー) | |
| ギヤボックスオイル | 定員 | 450 ml (15.22 fl oz (US)) |
| | 推奨XPSオイル | 75W140合成ギヤオイル |
| | XPS製品が入手できない場合の代替品 | 75W140 API GL-5合成ギヤオイル |

| 電気システム | | |
|----------------|------------|---------------------------------|
| マグネトージェネレーター出力 | DPSなし | 400 W @ 6000 RPM |
| | DPSあり | 650 W @ 6000 RPM |
| イグニッションシステム形式 | | IDI (誘導放電点火) |
| イグニッションタイミング | | 調整不可 |
| スパークプラグ | 量 | 2 |
| | メーカーと型式 | 650 |
| | ギャップ | 0.8 ~ 0.9 mm(0.031 ~ 0.035 in) |
| | 量 | 2 |
| | メーカーと型式 | 850 1000R |
| | ギャップ | 0.7 ~ 0.9 mm(0.028 ~ 0.035 in) |
| エンジン回転リミッターの設定 | 前進 | 8000 RPM |
| | リバース | 15 km/h (9 MPH) (オーバーライドなし) |
| バッテリー | タイプ | メンテナンスフリー |
| | 電圧 | 12ボルト |
| | 公称定格 | 18 A・h |
| | パワースターター出力 | 0.7 kW |
| ヘッドライト | 高い | 2 x 60 W (HB3) |
| | 低い | 2 x 55 W (H11) |
| テールライト | | 2 x 5/21 W |
| ヒューズ | | メンテナンスのヒューズのセクションを参照してください |

| 燃料システム | | |
|--------|--------------|--|
| 燃料供給 | 650 | 電子フュエルインジェクション (EFI)、46 mmスロットルボディ、シリンダー当たりインジェクター1個 |
| | 850 1000R | 電子フュエルインジェクション (EFI)、54 mmスロットルボディ、シリンダー当たりインジェクター1個 |

| 燃料システム | | | |
|-------------------------|-------------|------------|--|
| 燃料ポンプ | タイプ | | 電動 (料タンク内) |
| アイドルスピード | 650 (MTC装備) | | 1400 ± 100 RPM (調整不可) |
| | その他 | | 1250 ± 100 RPM (調整不可) |
| 燃料 | タイプ | 650 850 | レギュラー無鉛ガソリン 燃料要件のセクションを参照してください。 |
| | 最低オクタン価 | | AKI (ポンプオクタン価) 87 (RONオクタン価 92またはRONオクタン価95のE10) |
| | タイプ | 1000R | 無鉛プレミアムガソリン 燃料要件のセクションを参照してください。 |
| | 推奨オクタン価 | | 91 ポンプ表示AKI (95 E10 RON) |
| | 最低オクタン価 | | AKI (ポンプオクタン価) 87 (RONオクタン価 92またはRONオクタン価95のE10) |
| 燃料タンク容量 | | | 20.5 l (5.4 gal(liq.,US)) |
| 燃料低下インジケーターが点灯したときの燃料残量 | | | ± 5 l (1.3 gal(liq.,US)) |

| 駆動システム | | |
|-------------|---|--|
| 駆動システムのタイプ | | 選択式2WD/4WD |
| フロントドライブ | Outlander Base Outlander MAX Base | Visco-Lok ⁺ オートロック ングフロントディ ファレンシャル |
| | その他の全モデル | Visco-Lok ⁺ QEオート ロックフロントデ イナルドライブ |
| フロントドライブレシオ | | 3.6:1 |
| リアドライブ | | ストレートベベルギヤ/ シャフトドリブン イナルドライブ |
| リアドライブレシオ | | 3.6:1 |

| 駆動システム | | |
|------------------|--------------------|------------------------------|
| フロントディファレンシャルオイル | 定員 | 500 ml (17 fl oz(US)) |
| | 推奨XPSオイル | 75W90合成ギヤオイル |
| | XPS製品が入手できない場合の代替品 | 75W90 API GL-5合成ギヤオイル |
| リアファイナルドライブ | 定員 | 250 ml (8.45 fl oz (US)) |
| | 推奨XPSオイル | 75W140合成ギヤオイル |
| | XPS製品が入手できない場合の代替品 | 75W140 API GL-5合成ギヤオイル |
| CV ジョイントグリース | | CVジョイントグリースまたは同等品 |
| プロペラシャフトグリース | | プロペラシャフトグリースまたは同等品 |

| フロントサスペンション | | | |
|-------------|-------------------------|--|---|
| サスペンションタイプ | | ドライブコントロールジオメトリおよび外部スタビライザー付きダブルサスペンションアーム | |
| サスペンショントラベル | | 23.3 cm (9.2 in) | |
| ショックアブソーバ | 数量 | 2 | |
| | タイプ | XT-P Limited | Fox QS3+ショック、ピギーバックリザーバー、3点クイックスイッチ付き |
| | | X xc | Fox RC2ショック、ピギーバックリザーバー、デュアルスピード圧縮ダンパー調整および伸側調整付き |
| | | その他の全モデル | オイル |
| プリロード調整タイプ | XT-P X xc Limited | ねじ式 | |
| | その他の全モデル | 5ポジションカム | |

| リアサスペンション | | | |
|-------------|-------------------------------|--------------|---|
| サスペンションタイプ | 外部スタビライザーバー付き独立トーショントレーリングアーム | | |
| サスペンショントラベル | 25.1 cm (9.9 in) | | |
| ショックアブソーバ | 数量 | 2 | |
| | タイプ | XT-P Limited | Fox QS3+ショック、ピギーバックリザーバー、3点クイックスイッチ付き |
| | | X xc | Fox RC2ショック、ピギーバックリザーバー、デュアルスピード圧縮ダンパー調整および伸側調整付き |
| | その他の全モデル | オイル | |
| プリロード調整タイプ | XT-P X xc Limited | ねじ式 | |
| | その他の全モデル | 5ポジションカム | |

| ブレーキ | | |
|----------------|------------------------------|---------------------------------------|
| フロントブレーキ | 数量 | 2 |
| | タイプ | 214 mmクロスドリルディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き |
| リアブレーキ | 数量 | 1 |
| | タイプ | 214 mmクロスドリルディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き |
| ブレーキ液 | 定員 | 260 ml (8.8 fl oz(US)) |
| | タイプ | DOT 4 |
| キャリパー | フローティングツインピストン (2 x 26 mm) | |
| ブレーキパッドの材料 | 650 XU | 金属 |
| | その他の全モデル | オーガニック |
| 最小ブレーキディスク厚 | 1 mm (0.04 in) | |
| 最小ブレーキパッド厚 | 4.0 mm (0.157 in) | |
| ブレーキディスクのねじれ最大 | 0.2 mm (0.01 in) | |

| タイヤ | | | |
|----------|------|---|------------------------------|
| 圧力 | | 推奨タイヤ圧は、タイヤラベルに示されています。ラベルの位置については、該当する重要な製品ラベルのセクションを参照してください。 | |
| 最小タイヤ溝深さ | | 3 mm (0.118 in) | |
| サイズ違い | フロント | Base Mossy Oak Hunting edition XU | 26x8-12 (205/90-12) |
| | | MAXリミテッド | 27x9R14 (240/70R14) |
| | | その他の全モデル | 26x8R14 (205/75R14) |
| | リア | Base Mossy Oak Hunting edition XU | 26x10-12 (255/70-12) |
| | | MAXリミテッド | 27x11R14 (280/60R14) |
| | | その他の全モデル | 26x10R14 (255/65R14) |
| ホイール | | | |
| タイプ | | Base DPS XU | スチール |
| | | XT-P X xc | ビードロック付きアルミ |
| | | その他の全モデル | 鋳造アルミ |
| リムサイズ | フロント | Base DPS XU XT | 30.5 x 15,2 cm (12 x 6 in) |
| | | XT-P X xc Northエディション Mossy Oak Huntingエディション | 35,5 x 16,5 cm (14 x 6.5 in) |

| ホイール | | | |
|---------------|------|---|------------------------------|
| | リア | Base DPS XU XT | 30.5 x 19.1 cm (12 x 7.5 in) |
| | | XT-P X xc Northエディション Mossy Oak Huntingエディション | 35,6 x 20,3 cm (14 x 8 in) |
| ホイールオフセット | フロント | | 41.2 mm (1.62 in) |
| | リア | | 51 mm (2.01 in) |
| ホイールラグナットのトルク | | | 80 ± 5 Nm (59 ± 4 lbf-ft) |

| 寸法 | | | |
|---------|------|---------------------|----------------------|
| 全長 | | 1-UP | 218.4 cm (86 in) |
| | | 2-UP | 238.8 cm (94 in) |
| 全幅 | | | 121.9 cm (48 in) |
| 全長 | | 1-UP、ウインド シールドなし | 126 cm (49.5 in) |
| | | 2-UP、ウインド シールドなし | 135 cm (53 in) |
| | | 全モデル、ウインド シールドあり | 156.4 cm (61.6 in) |
| ホイールベース | | 1-UP | 129.5 cm (51 in) |
| | | 2-UP | 149.9 cm (59 in) |
| 輪距 | フロント | | 104.2 cm (41 in) |
| | リア | | 98 cm (38.6 in) |
| 地上高 | | | 27.9 cm (11 in) |

| 重量および積載量 | | | |
|----------|------|-------|-------------------|
| 乾燥重量 | 1-UP | 650 | 341 kg (749 lb) |
| | | 850 | 363 kg (800 lb) |
| | | 1000R | 375 kg (826 lb) |
| | 2-UP | 650 | 375 kg (827 lb) |
| | | 850 | 396 kg (873 lb) |
| | | 1000R | 408 kg (900 lb) |

| 重量および積載量 | | |
|--|----------|--|
| フロントラック容量 | X xc | 積載禁止 |
| | その他の全モデル | 45 kg (100 lb) |
| リアラック容量 | | 90 kg (200 lb) |
| リアストレージコンパートメント積載量 | | 21.4 l (5.7 gal(liq.,US)) または 10 kg (22 lb) |
| 許容される車両総積載量 (運転者、その他すべての貨物、追加されたアクセサリーを含む) | 1-UP | 235 kg (517 lb) |
| | 2-UP | 272 kg (600 lb) |
| 牽引荷重 | | 750 kg, 1,654 lb |
| 垂直荷重 | | 75 kg (165 lb) |
| ウィンチ能力 (装備されている場合) | | 1588 kg (3,500 lb) |

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン

エンジンが回らない

1. **D.E.S.S. キーが D.E.S.S. ポストに取り付けられていない。**
 - D.E.S.S.キーをしっかりD.E.S.S.ポストに取り付けてください。
2. **エンジンストップスイッチ。**
 - エンジンストップスイッチがオン位置になっていることを確認してください。
3. **トランスミッションがパーキングまたはニュートラルに入っていない。**
 - トランスミッションをパーキングまたはニュートラルのいずれかに入れるか、ブレーキレバーを引いてください。
 - ブレーキレバーを押してください。
4. **ヒューズ切れ。**
 - メインヒューズの状態を確認してください。
5. **バッテリーが弱いまたは接続不良。**
 - 充電システムを点検してください。
 - コネクターおよび端子の状態を点検してください。
 - バッテリーを点検してください。
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。
6. **BAD KEYがデジタルディスプレイに表示されている。**
 - 異なるD.E.S.S.キーが使用されています。この車両の正しいキーを使用してください。
7. **スターターが弱いまたは接続不良。**
 - スターターの接続を点検します。
 - スターターリレーを点検してください。

エンジンを回しても始動しない

1. **エンジンに水が浸入している (スパークプラグを取り外すと濡れている) 。**
 - 特殊な手順の水を吸い込んだエンジンのセクションを参照してください。
2. **エンジンに燃料が供給されない (スパークプラグを取り外すと乾燥している) 。**
 - 燃料タンクレベルを確認してください。
 - 燃料ポンプのヒューズとリレーを点検します。
 - 燃料ポンプの故障が起きている可能性があります。
 - エンジンが始動しない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼して

ください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

3. スパークプラグ / イグニッション (点火しない) 。

- インジェクター/イグニッションのヒューズの状態を点検します。
- スパークプラグを取り外して、イグニッションコイルに再び接続してください。
- スパークプラグをエンジンにアースして、スパークプラグ穴から離してエンジンを始動します。火花が見えない場合は、スパークプラグ穴を交換してください。
- 問題が解消されない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

4. CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、ディスプレイに「CHECK ENGINE」と表示されます。

- 認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

5. エンジンが保護モードになっている (応急帰還モード) 。

- CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンの加速力やパワーが不足している

1. スパークプラグが汚れている、またはプラグ不良。

- エンジンを回しても始動しないのセクションを参照してください。

2. エンジンへの燃料の不足

- エンジンを回しても始動しないのセクションを参照してください。

3. エンジンがオーバーヒートしている。(CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに HI TEMP と表示されている。)

- エンジンのオーバーヒートのセクションを参照してください。

4. エアフィルター/ハウジングが詰まっているか汚れている。

- エアフィルターを確認し、必要に応じて清掃してください。
- エアフィルターハウジングのドレンに堆積物がないか確認します。
- エアインテークチューブの位置を確認します。

5. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

6. エンジンが保護 (リンプホーム) モードになっている。

- デジタルディスプレイのメッセージを確認します。
- CHECK ENGINEインジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」または「LIMP HOME」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンのオーバーヒート

1. クーリングシステムのクーラントが少ない。

- エンジンクーラントを点検します。メンテナンスの手順のセクションのエンジンクーラントレベルの検証を参照してください。

2. ラジエーターフィンが汚れている。

- ラジエーターフィンを清掃します。メンテナンスの手順のセクションのラジエーターを参照してください。

3. クーリングファンが作動しない。

- クーリングファンのヒューズまたはリレーを点検します。メンテナンスの手順のセクションのヒューズを参照してください。ヒューズに問題がある場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンバックファイア

1. 排気システムの漏れ。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

2. エンジンの動作中の温度が高すぎる。

- エンジンの加速力または出力不足のセクションを参照してください。

3. 点火タイミングが正しくない、またはイグニッションシステムが故障している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンの失火

1. スパークプラグがかぶっている/プラグの異常/電極の摩滅。

- スパークプラグを点検し、熱範囲を確認します。必要に応じて取り換えます。

2. 燃料に水が混入。

- 燃料システムの抜き取りを行い、新品の燃料を充填します。

車両が最高速度に達しない

1. エンジンの問題

- エンジンの加速力または出力不足のセクションを参照してください。

2. パーキングブレーキがかかっている。

- パーキングブレーキが完全に解除されていることを確認します。

3. エアフィルター/ハウジングが詰まっているか汚れている。

- エアフィルターを確認し、必要に応じて清掃してください。
- エアフィルターハウジングのドレンに堆積物がないか確認します。
- エアインテークチューブの位置を確認します。

4. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

5. エンジンが保護モードになっている (応急帰還モード) 。

- デジタルディスプレイのメッセージを確認します。
- CHECK ENGINEインジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」または「LIMP HOME」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

シフトレバーが動きにくい

1. トランスミッションオイルギヤが、シフトレバーの動作を妨げる位置になっています。

- 車両を前後に揺すってトランスミッションのギヤを動かし、シフトレバーをセットできるようにします。

2. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

回転数は上昇するが、車両が動かない

1. トランスミッションがパーキングかニュートラル位置になっています。

- R、HIまたはLO位置を選択してください。

2. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

3. CVTハウジングに水が混入している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

パワーステアリングアシスト機能の低下

1. **DPSが、過酷で連続したステアリング条件にさらされている場合は、システムを保護するためにDPSによるアシスト機能が低下します。**
 - 負荷が一旦下がると、通常のステアリングアシストが戻ります。
2. **CHECK ENGINEインジケータランプが点灯し、ディスプレイに「CHECK DPS」と表示されます。**
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。

多機能ゲージ (LCD) メッセージ

| メッセージ | パイロットランプオン | 説明 |
|---|---|---|
| 不良なキー |  | 間違ったイグニッションキーまたはD.E.S.S.キーを使用したことを示します。この車両の正しいキーを使用してください。キーの接触不良である可能性もあります。キーを取り外して清掃してください。 |
| DESS KEY NOT RECOGNIZED (D.E.S.S.キーが認識されていない) |  | 接触不良の可能性を示しています。キーを取り外して清掃してください。 |
| パーキングブレーキ | なし | (走行中に) パーキングブレーキが15秒以上かかっているときにメッセージが表示されます。 |
| LO BATT (バッテリー低圧) |  | バッテリー電圧が低下しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。 |
| HI BATT (バッテリー高圧) |  | バッテリー電圧が上昇しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。 |
| LOW OIL (オイル残量少) (1) |  | エンジンのオイル圧低下。直ちにエンジンを停止してください。 |
| 高温 |  | エンジンがオーバーヒート状態です。トラブルシューティングのセクションのエンジンのオーバーヒートを参照してください。 |
| 応急帰還 |  | エンジンの通常動作に影響し得るエンジンの重大な故障です。CHECK ENGINEインジケータランプも点滅します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。 |
| エンジン点検の必要あり(CHECK ENGINE) |  | エンジンの故障。CHECK ENGINEインジケータランプも点灯します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。 |
| NO ECM COMMUNICATION (ECM通信なし) |  | スピードメーターとエンジンコントロールモジュール (ECM) 間の通信エラー |
| DPS点検 |  | ダウナミックパワーテアリング (DPS) が正常に機能していないことを示しています |

| | | |
|---|---|--|
| | | す。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。 |
| メンテナンスが必要 (MAINTENANCE REQUIRED) | なし | メンテナンスの時期が来たときに表示されます |
| TPS FAULT PRESS OVERRIDE BUTTON TO LIMP HOME (TPS故障、オーバーライドボタンを押してリンプモードに切り替え) |  | スロットル位置センサーが正常に機能していません。メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。 |

注意

(1) エンジン始動後、メッセージとエンジン点検のライトが点灯した場合はエンジンを停止してください。エンジンオイルのレベルを点検します。必要があれば補充します。オイルレベルが良好である場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。修理されるまで車両を使用しないでください。

デジタルディスプレイメッセージ

| メッセージ | パイロットランプオン | ブザー | 説明 |
|---|---|----------------|---|
| 不良なキー |  | なし | 間違ったイグニッションキーまたはD.E.S.S.キーを使用したことを示します。この車両の正しいキーを使用してください。キーの接触不良である可能性もあります。キーを取り外して清掃してください。 |
| DESS KEY NOT RECOGNIZED (D.E.S.S.キーが認識されていない) |  | なし | 接触不良の可能性を示しています。キーを取り外して清掃してください。 |
| パーキングブレーキ |  | なし | (走行中に)パーキングブレーキが15秒以上かかっているときに表示されます。 |
| LO BATT (バッテリー低圧) |  | なし | バッテリー電圧が低下しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。 |
| HI BATT (バッテリー高圧) |  | なし | バッテリー電圧が上昇しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。 |
| LOW OIL (オイル残量少) ⁽¹⁾ |  | 長いブザーが1回 | エンジンのオイル圧低下。直ちにエンジンを停止してください。 |
| No oil (オイルなし) |  | 15分間隔で2秒間のブザー音 | エンジンにオイルがありません。直ちにエンジンを停止してください。 |
| 高温 |  | 長いブザーが1回 | エンジンがオーバーヒート状態です。トラブルシューティングのセクションのエンジンのオーバーヒートを参照してください。 |
| 応急帰還 |  | 長いブザーが1回 | エンジンの通常動作に影響し得るエンジンの重大な故障です。CHECK ENGINEインジケータランプも点滅します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。 |
| エンジン点検の必要あり (CHECK ENGINE) |  | なし | エンジンの故障。CHECK ENGINEインジケータランプも点灯します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。 |

| | | | |
|---|--|----------|---|
| NO ECM COMMUNICATION (ECM 通信なし) |  | なし | スピードメーターとエンジンコントロールモジュール (ECM) 間の通信エラー |
| DPS点検 |  | なし | ダウンミックパワーテアリング (DPS) が正常に機能していないことを示しています。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。 |
| メンテナンスが必要 (MAINTENANCE REQUIRED) |  | なし | メンテナンスの時期が来たときに表示されます |
| TPS FAULT PRESS OVERRIDE BUTTON TO LIMP HOME (TPS 故障、オーバーライドボタンを押してリンプモードに切り替え) |  | なし | スロットル位置センサーが正常に機能していません。メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。 |
| FRONT DIFFERENTIAL LOCK -LOCK ACTIVATION (フロントディファレンシャルロック -ロック 作動) |  | 短いブザーが1回 | フロントディファレンシャルロックが作動しています。 |
| FRONT DIFFERENTIAL LOCK -UNLOCK (フロントディファレンシャルロック -ロック解除) | なし | 短いブザーが2回 | フロントディファレンシャルロックが解除されています。 |

| | | | |
|--|---|--------------|------------------------|
| SPORT MODE ACTIVE (ス ポーツモード 有効) | <i>SPORT</i> | 短いブザー が1回 | スポーツモードが選択されていま す。 |
| SPEED LIMITER ACTIVE (ス ピードリミッ ター作動) |  | 短いブザー が1回 | スピードリミッターが作動してい ます。 |

注意

(1) エンジン始動後、メッセージとエンジン点検のライトが点灯した場合はエンジンを停止してください。エンジンオイルのレベルを点検します。必要があれば補充します。オイルレベルが良好である場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。修理されるまで車両を使用しないでください。

空白ページ

保証

BRP限定保証 米国およびカナダ: 2022 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)は、下記の期間中および条件下で、アメリカ合衆国(「米国」)およびカナダの正規Can-Am ATVディーラー(以下で定義する)が販売した2022年型Can-Am ATVに、部材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合、この限定保証は無効になります: (1) ATVがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合(前の所有者による競技活動も含む)、または、(2) ATVが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。

該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾され、それが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらは所有者には適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRPあるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。

BRPはこの限定保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更しないことに同意します。

3) 除外規定

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、もしくはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、または整備を行う認定Can-Am ATVディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、またはCan-Am ATVのオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;

- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーターズガイド』を参照) ;
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 水や雪が入ったことによる損傷
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それら のみに限定されないその種の損害。

4) 保証対象期間

この限定的保証は、(1) 最初に購入した消費者に納入された日、または(2)その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の該当する期間有効です。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間。
- 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された「米国EPA排出ガス関連保証」も参照してください。
- カリフォルニア州での販売を目的としてBRPにより製造され、元々カリフォルニア州の住民に販売される、または販売後カリフォルニア州の住民への保証が登録される、蒸発ガス制御システムを装備したカリフォルニアモデルの蒸発ガス関連部品については、本書に記載されているカリフォルニア州蒸発ガス処理システム保証規定もご覧ください。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用され
ます。

- 2022年型Can-Am ATVは、その販売が行われた国においてCan-Am ATVの販売を許可されているCan-Am ATVディーラー (「Can-Am ATVディーラー」) から、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRP が指定した納品前点検を完了し、納品前点検チェックリストを作成し、購入者が署名していること。
- 2022年型Can-Am ATVが、認定Can-Am ATVディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2022年型Can-Am ATVが、購入者が居住する国で購入されていること。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にCan-Am ATVの使用を中止しなければなりません。

お客様は瑕疵の発現から3日以内に、整備を行う BRP ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーに与えなければなりません。

また、お客様は製品の購入を証明するものを BRP ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理 / 作業注文書に署名しなければなりません。

この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7) BRPが行うこと

この保証に基づく BRP の義務は、本保証に記載される条件の下で、保証期間中に、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、BRP 認定ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと新品の純正 Can-Am ATV 部品と交換することのいずれか一方に限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対する Can-Am ATV の販売の取り消しの理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) サプライヤーによる追加保証

GPS受信機は、特定の2022年型Can-Am ATVの標準装備としてBRPによって供給される場合があります。このGPSレシーバーは、BRPの限定保証ポリシーの対象となっています。BRPの限定保証より期間が長い追加保証の範囲(GPSレシーバーの「サプライヤー」が提供している場合)については、ディーラーまたは消費者がGPSレシーバーの「サプライヤー」と直接連絡を取り合うものとします。

9) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

10) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

米国EPA排出ガス関連保証

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気ガス制御システムおよび蒸発ガス制御システムのすべての部品を含むこの新しい車両は、下記の2つの事項を満たしていることを保証します。

1. 最終購入者への販売時に、40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
2. 40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件への準拠を妨げるような部材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

すべての排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を正規Can-Amディーラーに制限します。ただし、以下のリストの第2項目により要求される緊急修理を除きます。

認証メーカーとして、BRPは下記事項を理由として排出ガス関連保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPまたはBRP認定工場が行ったメンテナンスまたはその他のサービス。
2. 運転者になるべく早くエンジン/機器を適切な構成を復元するために行った、BRPに起因する危険で緊急な状態を矯正するためのエンジン/設備の修理。
3. 補償請求とは無関係な、運転者による処置の有無。
4. BRPが指定する回数よりも頻繁に行われたメンテナンス。
5. BRPの過失または責任であることすべて。
6. 機器を稼働させる場所で一般に入手可能な燃料を使用すること(ただし、BRPのメンテナンス注意事項にその燃料が機器の排出ガス制御システムを損傷すると記載され、運転者が適切な燃料を簡単に入手できる場合を除く)。メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

排出ガス関連の保証期間

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

| | 運転時間 | 月 | 走行距離 |
|----------------|------|----|------|
| 排出ガス関連コンポーネント: | 500 | 30 | 5000 |
| 蒸発ガス関連コンポーネント | 該当なし | 24 | 該当なし |

保証が適用されるコンポーネント

排出ガス関連の保証は、以下に挙げるコンポーネントを含め、故障した場合にエンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させるコンポーネントのすべてを対象とします。

1. 排出ガスについては、以下のシステムに関連するエンジン部品を含む排出ガス関連のコンポーネント

- 吸気システム
 - 燃料システム
 - イグニッションシステム
 - 排気ガス再循環システム
2. 以下の部品も排出ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
- 後処理装置
 - クランクケースベンチレーションバルブ
 - センサー
 - 電子制御ユニット
3. 以下の部品は蒸発ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
- 燃料タンク
 - 燃料キャップ
 - 燃料ライン
 - 燃料管路フィッティング
 - クランプ*
 - プレッシャーリリーフバルブ*
 - 制御バルブ*
 - 制御ソレノイド*
 - 電子制御*
 - 真空制御ダイヤフラム*
 - 制御ケーブル*
 - コントロールリンクージ*
 - パージバルブ
 - 蒸気ホース
 - 液体/蒸気セパレータ
 - カーボンキャニスター
 - キャニスターのマウンティングブラケット
 - キャブレターパージポートコネクタ

注記： *蒸発ガス制御システム関連。

4. 排出ガス関連のコンポーネントには、排出ガスを減少させることだけが目的の他の部品や、故障してもエンジン/機器の性能を大きく低下させずに排出ガスを増加させる部品も含まれています。

適用範囲制限

認証メーカーとして、BRPは所有者または運転者の不適切なメンテナンスや使用、メーカーには一切責任がない事故、または天災や不可抗力によって生じた故障の排出ガス関連の保証請求を拒否する場合があります。例えば、運転者によるエンジン/機器の酷使、または運転者による設計目的以外の使用方法が直接の原因で発生し、メーカーは全く原因に関与していない故障に関しては、排出ガス関連の保証請求は付与されません。

保証権利と責任に関する質問、または最寄りの認定BRPディーラーの名称と位置に関する質問がある場合は、www.brp.comにあるお問い合わせフォームに記入するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているアドレスの1つにメールを送付するか、1-888-272-9222に電話してBRPにご連絡ください。

カリフォルニア州蒸発ガス処理保証規定

お客様の保証の権利と義務

カリフォルニア州大気資源委員会は、2022年式全地形対応車両に関する蒸発ガス処理システムの保証について説明を行います。カリフォルニアでは、新しいレクリエーション用オフハイウェイビークルは、州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備されてなければなりません。Bombardier Recreational Products Inc.は、ご使用の全地形対応車両について酷使、懈怠、不適切なメンテナンスがあった場合を除き、下記の期間にわたり、全地形対応車両の蒸発ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、キャブレター、燃料噴射装置、燃料タンク、燃料ホース、カーボンキャニスター、エンジンコンピューターなどの部品が含まれている場合があります。また、ホース、ベルト、コネクタなどの蒸発ガス関連のアセンブリーが含まれている場合もあります。保証の対象となるものがある場合、Bombardier Recreational Products Inc.は、診断、部品および労働費を含めて無料で、ご使用の全地形対応車両を修理します。

OHRV製造元による保証範囲

このOHRVの保証期間は、購入後60カ月、5,000マイルの走行距離、または500運転時間に達するまでとします（いずれか早い方）。

対象部品

- キャニスターのマウンティングブラケット
- カーボンキャニスター
- パージポートコネクタ
- クランプ*
- 電子制御装置*
- 燃料キャップ
- フィラーネック
- フィラーネックホース
- 燃料ライン
- 燃料ラインフィッティング
- 燃料タンク
- 圧カリリーフバルブ*
- パージバルブ
- チェックバルブ*
- 蒸気ホース
- フローリデューサー
- フィルター*
- 蒸発ガス処理システムに影響を与える可能性がある、ここに記載されていないその他のすべての部品

注記：*蒸発ガス制御システム関連。

ご使用の全地形対応車両の蒸発ガス関連部品に不具合がある場合は、Bombardier Recreational Products Inc.が部品の修理または交換を行います。

オーナーの保証責任

全地形対応車両の所有者として、お客様はオーナーズマニュアルに記載された必要なメンテナンスを実施する責任を負っています。Bombardier Recreational Products Inc.は、全地形対応車両の保証に関するすべての受領書を安全な場所

に保管しておくことを推奨しますが、Bombardier Recreational Products Inc. は、お客様が受領書を紛失したり定期メンテナンスを行わなかったとしても、保証の提供をいたしません。

問題が発生した場合、お客様は所有者として、車両をBombardier Recreational Products Inc.にできるだけ早く搬入する責任があります。保証修理期間は、30日以下とする妥当な時間を要します。

ただし、酷使、懈怠、不適切なメンテナンス、または不適切な改造により全地形対応車両またはその部品が故障した場合、Bombardier Recreational Products Inc.は保証適用を拒否できることにご注意ください。

保証の権利や責任についてご質問がある場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

- Bombardier Recreational Products Inc. (電話 : 1-888-272-9222)
- The California Air Resources Board at 9528 Telstar Avenue, El Monte, CA 91731.

BRP 国際限定保証: 2022 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、米国、カナダ、欧州経済地域(「EEA」)の国々(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)およびトルコ以外の地域にCan-Am ATVを供給するためにBRPが認定したCan-Am ATVディストリビューターまたはディーラー(以下「Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー」)によって販売された2022年型Can-Am ATVについて、指定された期間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。

該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合、この限定保証は無効になります：(1)ATVがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合(前の所有者による競技活動も含む)、または、(2)ATVが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。(オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項をご参照ください)。

Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。

BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3) 除外規定(以下は保証修理の対象とはなりません)

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。

- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造の結果として生じた損傷、または製品に適合していない、またはその動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与えるとは合理的に判断される、BRPが製造もしくは認定していない部品もしくはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、または整備をする正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損傷;
- 事故、水没、火災、雪もしくは水の吸入、盗難、破壊行為またはあらゆる天変地異の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーターズガイド』を参照);
- エレメントへのさび、腐食または露出から生じた損傷。
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、交通費、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失、またはメンテナンス作業に関わる作業停止時間による収入および時間の損失を含むがそれらだけに限定されないその種の損害。

4) 保証対象期間

この保証は、(1)最初の小売消費者に納品された日と、(2)その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間。

オーストラリアおよびニュージーランドのみ：この保証は、(1)最初の小売消費者に納品された日と、(2)その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します：個人使用または業務使用の所有者の場合は、(1)連続する24ヶ月間、または(2)合計で15,000キロメートルの使用のいずれか早い方。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争・消費者法)によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。もし違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用され

ます。

- 2022年型Can-Am ATVは、その販売が行われた国においてCan-Am ATVの販売を許可されているCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーから、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません。
- 製品が、認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2022年型Can-Am ATVが、購入者が居住する国または連邦国で購入されていること。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にATVの使用を中止しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から2日以内に、整備を行うCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター/ディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正Can-Am ATV部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対するCan-Am ATVの販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険料、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、BRPまたは認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証：2022 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)*は、米欧州経済地域(「EEA」)の加盟国(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)、およびトルコの地域に、Can-Am ATVを供給するためにBRPが認定したディストリビューターまたはディーラー(以下「Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー」)によって販売された2022年型のCan-Am ATVについて、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。

該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合、この限定保証は無効になります：(1)ATVがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合(前の所有者による競技活動も含む)、または、(2)ATVが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されません。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。

BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3) 除外規定(以下は保証修理の対象とはなりません)

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。

- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造の結果として生じた損傷、または製品に適合していない、またはその動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与えると合理的に判断される、BRPが製造もしくは認定していない部品もしくはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、または整備をする正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、水没、火災、雪もしくは水の吸入、盗難、破壊行為またはあらゆる天変地異の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）;
- エレメントへのさび、腐食または露出から生じた損傷。
- 二次的もしくは間接的な損害、または牽引、輸送費、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害

4) 保証対象期間

この保証は、(1)最初の小売消費者に納品された日と、(2)その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

1. 個人使用の場合は、連続する24ヶ月間。
2. 業務使用およびレンタル用途の場合は、連続する6ヶ月間。

保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます:

- 2022年型Can-Am ATVは、その販売が行われた国においてCan-Am ATVの販売を許可されているCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーから、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません;
- 製品が、認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2022年型Can-Am ATVが、EEA域内ではEEA居住者、CIS域内ではCIS居住者、およびトルコではトルコ居住者によって購入されていること。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP

は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にATVの使用を中止しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から2ヶ月以内に、整備を行うCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター/ディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正Can-Am ATV部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対するCan-Am ATVの販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

EEA、CISまたはトルコの外で整備が必要である場合は、所有者は、輸送、保険、税金、ライセンス料、輸入税、ならびに、政府、州、準州およびそれらの各官庁が課す手数料など、あらゆるその他の金融費用を含むがそれらに限定されない、現地の地域の慣行や状況によるすべての追加料金について責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、BRPまたは認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

10) 追加利用規約 (フランスのみに適用)

次の利用規約はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約を遵守する製品を配送し、配送時に認められる欠陥の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 同等品の通常動作を行うことができ、該当する場合、次の条件もクリアする必要があります。
 - 製品の特性は販売者の説明と一致し、特性はサンプルまたはモデルにより購入者に説明されていること。
 - 製品は、広告やラベルを含めた販売者および製造業者の公共宣言により合法的に購入者によって期待される特性を持っていること。
2. 製品は、当事者間で相互に合意をとること、または購入者が事前に販売者に製品の使用目的を相談し、販売者が使用を満たせると販売者が承諾をすることが必要です。

仕様不遵守に対する処置は、配送から2年間有効です。販売者は、製品に購入者の使用目的が満たせられなくなるほどの隠された欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていたらより低い値段で買っていた場合、その隠れた欠陥に対する保証の責任を負います。そのような隠れた欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

メンテナンス記録

必要に応じて、メンテナンス記録のコピーをBRPにお送りください。

納入前

| | |
|---|--------------------|
| シリアル番号 : _____ 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ _____ | 署名 (活字体) : _____ |
|---|--------------------|

取り付け手順詳細については、車両のブリデリバリープリテンを参照してください。

最初の点検

| | |
|---|--------------------|
| 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ _____ | 署名 (活字体) : _____ |
|---|--------------------|

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

| | |
|--|--------------------|
| 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ | 署名 (活字体) : _____ |
|--|--------------------|

サービス

| | |
|--|--|
| サービス | |
| | |
| メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。 | |

サービス

| | |
|---|--------------|
| サービス | |
| 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ _____ | 署名 (活字体) : |
| メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。 | |

サービス

| | |
|---|--------------|
| サービス | |
| 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ _____ | 署名 (活字体) : |
| メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。 | |

サービス

| | |
|--------------------------------------|--------------|
| サービス | |
| 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ | 署名 (活字体) : |

サービス

| | |
|--|--|
| 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ _____ | |
| メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。 | |

サービス

| | |
|---|--------------------|
| 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ _____ | 署名 (活字体) : _____ |
| メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。 | |

サービス

| | |
|---|--------------------|
| 走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ メモ : _____ _____ | 署名 (活字体) : _____ |
| メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。 | |

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

サービス

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

署名 (活字体) :

サービス

ディーラー番号

:

メモ:

:

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離

(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号

:

メモ:

:

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

顧客情報

個人情報

お客様の連絡先情報は、安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。また、BRPおよびその子会社は、顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータについて相談、訂正する、あるいはダイレクトマーケティング用の宛先人リストからの削除を希望される場合は、BRPまでご連絡ください。

Eメール :

privacyofficer@brp.com

郵便 :

BRP Legal Service
726 St-Joseph
Valcourt QC
Canada
J0E 2L0

お問い合わせ先

www.brp.com

アジア

Room 4609, Tower 2,
Grand Gateway 3 Hong Qiao
Road Shanghai,
China 200020

〒108-0075東京都港区
港南2丁目16-1
品川イーストワンタワー21階

ヨーロッパ

Oktrooiplein 1/402
9000 Gent
Belgium

Itterpark 11
D-40724 Hilden
Germany

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
France

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Tronheim
Norway

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

Spinnvägen 15
903 61 Umeå
Sweden

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne
Switzerland

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

Sa De Cv, Av. Ferrocarril 202
Parque Ind. Querétaro, Lote2-B
76220
Santa Rosa Jáuregui, Qro., Mexico

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive

Sturtevant, Wisconsin
53177
U.S.A.

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
Australia

3B Echelon Place, East Tamaki,
Auckland 2013,
New Zealand

南米

Rua James Clerck Maxwell, 230
TechnoPark Campinas SP 13069-380
Brazil

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 認定Can-Amディーラーに連絡する。
- 北米のみ: 1 888 272-9222までお電話ください。
- このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: 車両が盗難にあった場合は、BRPまたは認定Can-Amディーラーにご連絡ください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

| 住所の変更 <input type="checkbox"/> | 所有権の変更 <input type="checkbox"/> |  |
|--------------------------------|---------------------------------|---|
| 車両識別番号 | | |
| モデル番号 | 車両識別番号 (V.I.N.) | |
| 以前の住所 または以前のオーナー: | 氏名 | |
| | 番地 | 町村 アパート |
| | 市/郡 | 都道府県 郵便番号 |
| | 国 | 電話番号 |
| 新しい住所 または新しいオーナー: | 氏名 | |
| | 番地 | 町村 アパート |
| | 市/郡 | 都道府県 郵便番号 |
| | 国 | 電話番号 |
| | Eメールアドレス | |

| 住所の変更 <input type="checkbox"/> | 所有権の変更 <input type="checkbox"/> |  |
|--------------------------------|---------------------------------|---|
| 車両識別番号 | | |
| モデル番号 | 車両識別番号 (V.I.N.) | |
| 以前の住所 または以前のオーナー: | 氏名 | |
| | 番地 | 町村 アパート |
| | 市/郡 | 都道府県 郵便番号 |
| | 国 | 電話番号 |
| 新しい住所 または新しいオーナー: | 氏名 | |
| | 番地 | 町村 アパート |
| | 市/郡 | 都道府県 郵便番号 |
| | 国 | 電話番号 |
| | Eメールアドレス | |

このページは
意図的に空白です

| 住所の変更 <input type="checkbox"/> | 所有権の変更 <input type="checkbox"/> |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 車両識別番号 | |
| モデル番号 | 車両識別番号 (V.I.N.) |
| 以前の住所 または以前のオーナー: | 氏名 |
| | 番地 |
| | 町村 |
| | アパート |
| | 市/郡 |
| | 都道府県 |
| | 郵便番号 |
| | 国 |
| | 電話番号 |
| 新しい住所 または新しいオーナー: | 氏名 |
| | 番地 |
| | 町村 |
| | アパート |
| | 市/郡 |
| | 都道府県 |
| | 郵便番号 |
| | 国 |
| | 電話番号 |
| | Eメールアドレス |

| 住所の変更 <input type="checkbox"/> | 所有権の変更 <input type="checkbox"/> |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 車両識別番号 | |
| モデル番号 | 車両識別番号 (V.I.N.) |
| 以前の住所 または以前のオーナー: | 氏名 |
| | 番地 |
| | 町村 |
| | アパート |
| | 市/郡 |
| | 都道府県 |
| | 郵便番号 |
| | 国 |
| | 電話番号 |
| 新しい住所 または新しいオーナー: | 氏名 |
| | 番地 |
| | 町村 |
| | アパート |
| | 市/郡 |
| | 都道府県 |
| | 郵便番号 |
| | 国 |
| | 電話番号 |
| | Eメールアドレス |

このページは
意図的に空白です

注記： _____

注記： _____

モデル番号 _____

車両

識別番号 (V.I.N.) _____

エンジン

識別番号 (E.I.N.) _____

オーナー: _____

氏名

郵便番号

都道府県

市/郡

町村

番地

アパート

購入日 _____

年

月

日

保証有効期限 _____

年

月

日

販売時にディーラーが記入すること。

ディーラー押印箇所

空白ページ

⚠ 警告

運転には危険が伴います。

十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

以下の指示に従わない場合、**重傷や死亡事故**につながるおそれがあります。

- **本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオをご覧ください。**
- **適切な説明を受けることなく本車両を絶対に運転しないでください。**認定されたトレーニングコースを修了してください。
- **車両の定員を超えないようにしてください。**
- **1UPモデルでは絶対に同乗者を乗せないでください。**同乗者を乗せると制御不能に陥る危険が高くなります。



- **本車両を舗装面で絶対に運転しないでください。**本車両を舗装面で運転すると制御不能に陥る危険が高くなります。
- **本車両を公道で絶対に運転しないでください。**本車両を公道で運転すると、別の車両と衝突する可能性があります。
- **オペレーターおよび同乗者（MAXモデルの場合）は、使用が認められたヘルメット、ゴーグル、および防護服を必ず着用してください。**
- **薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。**それは反応時間を遅らせ、判断力を損ないます。
- **絶対に速度を出しすぎないでください。**地形、視界条件、またはご自分の経験に適さない過剰な速度で運転すると、制御不能に陥る危険が高くなります。
- **絶対にウィリーやジャンプなどのスタント操作を行わないでください。**

®TMおよびBRPのロゴは、BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.または
またはその子会社の商標です。

©2021 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
無断複写・転載を禁じます。

www.brp.com

SKI-DOO®

SEA-DOO®

CAN-AM®

LYNX®

EVINRUDE®

ROTAX®